平成１８年度

乳幼児健康診査報告書

平成１９年６月

社団法人沖縄県小児保健協会

は じ め に

本協会は、地域のすべての親と子が健やかでたくましく生きていくことを基本理念とし、諸々の活動を展開しております。

主要事業の乳幼児健康診査は、離島を含む全県の乳幼児を対象に、小児科医、歯科医師、保健師、検査技師、看護師、栄養士、歯科衛生士、母子保健担当者、母子保健推進員などがチームで健康診査と相談に対応し早３４年が経過しました。その間に健康診査も疾病の早期発見から育児支援型へと大きく変化してきております。

平成１８年度の健康診査結果をまとめましたのが本報告書です。今回で１０回目の発行となりますが、健康診査から得られる種々の情報を多角的に分析し、関係機関や関係者へ提供しております。

地域で母子保健活動に携わる皆様の育児支援の一助になればと編纂に努めました。皆様の忌憚ないご意見やご要望が寄せられることを期待しております。

これからの乳幼児健康診査につきましては、受診率を高める諸対策が求められています。本協会としても、乳幼児健康診査や諸調査をとおしてスタッフの資質向上を図って参りたいと存じます。

これまで、本協会の小児保健活動並びに健康診査事業が継続推進してこれましたのは、市町村はじめ関係機関など多くの関係者のご支援ご協力の賜でございます。関係者へ心より感謝申しあげますとともに、今後とも益々のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成１９年６月

社団法事沖縄県小児保健協会会長　玉那覇榮一

目　　次

平成１８年度乳幼児健康診査から …… 1

＜ 乳児一般健康診査の部 ＞

1　実施状況 …… 3
2　乳児一般健康診査受診状況（回数・月齢別） …… 3
3　乳児の栄養法（２回目受診時）
　3-1　月齢別栄養法と離乳食の開始 …… 6
　3-2　月齢別離乳食回数 …… 7
4　出生直後の状況 …… 8
5　健診同伴者（前期　生後６か月まで） …… 9
6　育児環境
　6-1　保育状況（主な保育者） …… 10
　6-2　妊娠中の喫煙（１回目受診時） …… 11
　6-3　子育てについて（１回目受診時） …… 12
　6-4　チャイルドシート使用状況（後期　生後７～12か月） …… 16
7　乳児の発達について …… 17
8　健診結果の異常内訳 …… 18
　8-1　検査結果の異常
　　①尿検査結果 …… 19
　　②貧血検査結果 …… 20
　8-2　診察による有所見（診察所見について） …… 23
9　総合判定（ＩＣＤ-１０分類） …… 30
　9-1　要助言について …… 31
　9-2　要経過観察について …… 32
　9-3　要精密検査について …… 33
　9-4　要治療について …… 34
　9-5　現在治療中について …… 35
　9-6　現在観察中について …… 36

＜ １歳６か月児健康診査の部 ＞

Ｉ 一般健診の部
1　実施状況 …… 37
2　受診状況 …… 37
3　健診同伴者 …… 39
4　育児環境
　4-1　保育状況（主な保育者） …… 40
　4-2　両親の喫煙 …… 41
　4-3　子育てについて …… 42
5　運動・発達について …… 46
6　生活習慣について …… 47
7　予防接種の状況 …… 48
8　健診結果の異常内訳 …… 50
　8-1　検査結果の異常
　　①尿検査結果 …… 51
　　②貧血検査結果 …… 52
　8-2　診察による有所見（診察所見について） …… 53

9　総合判定（ＩＣＤ-１０分類）…… 56
9-1　要助言について …… 57
9-2　要経過観察について …… 57
9-3　要精密検査について …… 58
9-4　要治療について …… 58
9-5　要心理相談について …… 59
9-6　現在治療中について …… 59
9-7　現在観察中について …… 60

Ⅱ 歯科健診の部
受診状況 …… 61
1　う蝕有病者率とう蝕の型別分類 …… 62
2　歯の状況 …… 63
3　歯口清掃状態 …… 64
4　軟組織の疾患 …… 65
5　不正咬合 …… 66
6　口腔習癖 …… 66
7　その他の異常 …… 67
8　指示事項 …… 68
9　歯科保健相談 …… 69
10　１歳６か月児う蝕有病者率 …… 70

＜　３歳児健康診査の部　＞

Ⅰ 一般健診の部
1　実施状況 …… 71
2　受診状況 …… 71
3　健診同伴者 …… 73
4　育児環境
4-1　保育状況 …… 74
4-2　両親の喫煙 …… 75
4-3　子育てについて …… 76
5　発育（やせと肥満）について …… 80
6　発達について …… 81
7　生活習慣について
7-1　食習慣について …… 82
7-2　睡眠について …… 84
7-3　その他の習慣 …… 85
8　予防接種の状況 …… 86
9　健診結果の異常内訳 …… 88
9-1　視力聴力検査結果の異常 …… 89
9-2　尿検査結果の異常 …… 90
9-3　診察による有所見（診察所見について） …… 91
10　総合判定（ＩＣＤ-１０分類） …… 100
10-1　要助言について …… 101
10-2　要経過観察について …… 101
10-3　要精密検査について …… 102
10-4　要治療について …… 102
10-5　要心理相談について …… 103
10-6　現在治療中について …… 103
10-7　現在観察中について …… 104

Ⅱ 歯科健診の部

受診状況 …… 105
1　う蝕有病者率とう蝕の型別分類 …… 106
2　う蝕有病歯率 …… 107
3　歯口清掃状態 …… 108
4　軟組織の疾患 …… 109
5　不正咬合 …… 110
6　口腔習癖 …… 111
7　その他の異常 …… 112
8　母親のむし歯や抜いた歯について …… 112
9　指示事項 …… 113
10　歯科保健相談 …… 114
11　３歳児う蝕有病者率 …… 115
12　フッ素塗布経験率 …… 116
13　生活習慣とむし歯
　13-1　おやつの時間とむし歯の関係 …… 117
　13-2　よく飲む飲み物とむし歯の関係 …… 117
　13-3　仕上げ磨きとむし歯の関係 …… 117
（付録）　う蝕（むし歯）についての主な用語 …… 118

＜ 平成１８年度統計資料 ＞

乳児一般健康診査《対象外除く実績》

乳児一般健康診査月齢別統計（診察所見分類） …… №1 …… 119
乳児一般健康診査市町村別統計（診察有所見分類） …… №2 …… 120
乳児一般健康診査月齢別統計（ＩＣＤ-１０分類） …… №3 …… 122
乳児一般健康診査市町村別統計（ＩＣＤ-１０分類） …… №4 …… 124
乳児総合判定（ＩＣＤ-１０分類）結果その他に分類された内容 …… №5 …… 126
乳児一般健康診査における血色素値分類（県統計） …… №6 …… 127
乳児一般健康診査における血色素値分類（市町村別統計） …… №7 …… 128
育児環境
　保育状況（主な保育者） …… №8, 9 …… 130
　両親の喫煙（１回目受診時） …… №10 …… 134
　子育てについて（１回目受診時）（１）～（３） …… №11～13 …… 136
　チャイルドシートを使用していますか(後期受診時) …… №14 …… 141

１歳６か月児健康診査

１歳６か月児健康診査市町村別統計（診察有所見分類） …… №15 …… 142
１歳６か月児健康診査市町村別統計（ＩＣＤ-１０分類） …… №16 …… 144
１歳６か月児総合判定（ＩＣＤ-１０分類）結果その他に分類された内容
…… №17 …… 146
１歳６か月児健康診査における血色素値分類（県統計） …… №18 …… 147
１歳６か月児健康診査における血色素値分類（市町村別統計） …… №19 …… 148
１歳６か月児健康診査の市町村別受診月齢 …… №20 …… 150
１歳６か月児健康診査市町村別統計（歯科） …… №21～23 …… 152
育児環境
　保育状況（主な保育者） …… №24 …… 158
　両親の喫煙 …… №25 …… 160
　子育てについて（１）～（２） …… №26, 27 …… 162

運動発達
運動機能 …… №28 …… 166
視聴覚 …… №29 …… 168
言葉 …… №30 …… 170
精神発達 …… №31, 32 …… 172
社会性 …… №33, 34 …… 176
生活習慣 …… №35～38 …… 180
１歳６か月児の予防接種実施状況（１）～（３） …… №39～41 …… 188

３歳児健康診査

３歳児健康診査市町村別統計（診察有所見分類） …… №42 …… 194
３歳児健康診査市町村別統計（ＩＣＤ-１０分類） …… №43 …… 196
３歳児総合判定（ＩＣＤ-１０分類）結果その他に分類された内容 …… №44 …… 198
３歳児健康診査の市町村別受診月齢 …… №45 …… 200
３歳児健康診査市町村別統計（歯科） …… №46～48 …… 202
３歳児健康診査のフッ素塗布経験率 …… №49 …… 207
育児環境
保育状況（主な保育者） …… №50 …… 208
両親の喫煙 …… №51 …… 210
子育てについて（１）～（２） …… №52, 53 …… 212
発育
３歳児の市町村別肥満度並びにＢＭＩ …… №54 …… 216
発達
運動機能 …… №55 …… 218
ことば・言語理解 …… №56, 57 …… 220
精神発達 …… №58, 59 …… 224
社会性・自立性 …… №60 …… 227
その他 …… №61 …… 228
生活習慣
食欲と偏食の有無 …… №62 …… 230
よく飲んでいる飲み物 …… №63 …… 232
おやつの時間を決めている …… №63 …… 233
食事はよく噛んで食べる …… №64 …… 234
歯磨きは仕上げみがきをしている …… №64 …… 234
ほとんど自分で食事、手洗いができる …… №64 …… 235
ファーストフードを利用する …… №65 …… 236
就寝時間 …… №66 …… 238
起床時間 …… №67 …… 240
睡眠時間 …… №68 …… 242
排尿／排便は自立している …… №69 …… 244
テレビ／ビデオ　１日　分 …… №70 …… 246
チャイルドシートを使用していますか …… №71 …… 248
３歳児の予防接種実施状況（１）～（５） …… №72～76 …… 250

＜参考資料《実績》＞

乳児一般健康診査月齢別統計（診察所見分類） …… №1 …… 259
乳児一般健康診査市町村別統計（診察有所見分類） …… №2 …… 260
乳児一般健康診査月齢別統計（ＩＣＤ-１０分類） …… №3 …… 262
乳児一般健康診査市町村別統計（ＩＣＤ-１０分類） …… №4 …… 264
乳児一般健康診査における血色素値分類（県統計） …… №5 …… 266

＜　５年間の統計資料　＞・・・年次資料

乳幼児健康診査年次受診率 …… №1 …… 267
乳児一般健康診査市町村別受診率推移 …… №2 …… 268
乳児一般健康診査受診率推移（概算出生数による算出） …… №3 …… 270
乳児の母乳栄養法の年次推移（２回目受診時） …… №4 …… 271
乳児の光線療法の有無（１回目受診時）の年次推移 …… №5 …… 272
乳児の健診同伴者（前期　６か月まで）の年次推移 …… №6 …… 272
乳児の主な保育者（昼間）状況年次推移 …… №7 …… 273
乳児の両親の年齢別喫煙状況年次推移（１回目受診時） …… №8 …… 274
乳児の子育ての状況年次推移（１回目受診時の保護者対象） …… №9 …… 275
乳児健康診査の総合判定の年次推移 …… №10 …… 276
１歳６か月児健康診査市町村別受診率推移（一般） …… №11 …… 278
１歳６か月児健康診査の総合判定の年次推移 …… №12 …… 280
１歳６か月児健康診査市町村別受診率推移（歯科の部） …… №13 …… 282
１歳６か月児健康診査市町村別う蝕有病者率の推移 …… №14 …… 284
１歳６か月児の健診同伴者の年次推移 …… №15 …… 286
１歳６か月児の主な保育者（昼間）状況年次推移 …… №16 …… 286
１歳６か月児の両親の年齢別喫煙状況年次推移 …… №17 …… 287
１歳６か月児の子育ての状況年次推移 …… №18 …… 288
１歳６か月児健康診査時における
　麻疹接種率状況 …… №19 …… 290
　風疹接種率状況 …… №20 …… 292
３歳児健康診査市町村別受診率推移（一般） …… №21 …… 294
３歳児健康診査総合判定の年次推移 …… №22 …… 296
３歳児健康診査市町村別受診率推移（歯科の部） …… №23 …… 298
３歳児健康診査市町村別う蝕有病者率の推移 …… №24 …… 300
３歳児の健診同伴者の年次推移 …… №25 …… 302
３歳児の主な保育者（昼間）状況年次推移 …… №26 …… 302
３歳児の両親の年齢別喫煙状況年次推移 …… №27 …… 303
３歳児の子育ての状況年次推移 …… №28 …… 304
３歳児健康診査時の肥満度とＢＭＩの年次推移 …… №29 …… 305
３歳児健康診査時における
　ＢＣＧ接種率状況 …… №30 …… 306
　ポリオ接種率状況 …… №31 …… 308
　ＤＰＴ接種率状況 …… №32 …… 310
　麻疹接種率状況 …… №33 …… 312
　風疹接種率状況 …… №34 …… 314
　日本脳炎接種率状況 …… №35 …… 316
３歳児フッ素塗布経験率の推移 …… №36 …… 318
乳幼児のチャイルドシート使用の年次推移 …… №37 …… 319

＜　添付資料　＞

乳児一般健康診査受診票 …… 321
１歳６か月児健康診査受診票 …… 322
３歳児健康診査受診票 …… 323

＜　ワンポイント　＞

（１）乳児、１歳６か月児健康診査時の貧血検査結果 …… 21
（２）乳児健康診査時の貧血検査について …… 22

（３）歯科健診診う蝕有病 …… 157

＜ 平成１８年度乳幼児健康診査報告書作成委員名簿 ＞
＜ 編 集 後 記 ＞

平成１８年度乳幼児健康診査から

沖縄県内４１市町村より、乳幼児健康診査の受託を受けている小児保健協会では、平成１８年４月１日から平成１９年３月３１日までに実施された健康診査結果を「平成１８年度乳幼児健康診査報告書」としてまとめた。乳児と３歳児は４１市町村すべて、１歳６か月児については３７市町村の結果をまとめた。

この報告書は、沖縄県内乳幼児の健康と育児環境等について市町村別に詳細に集計した。

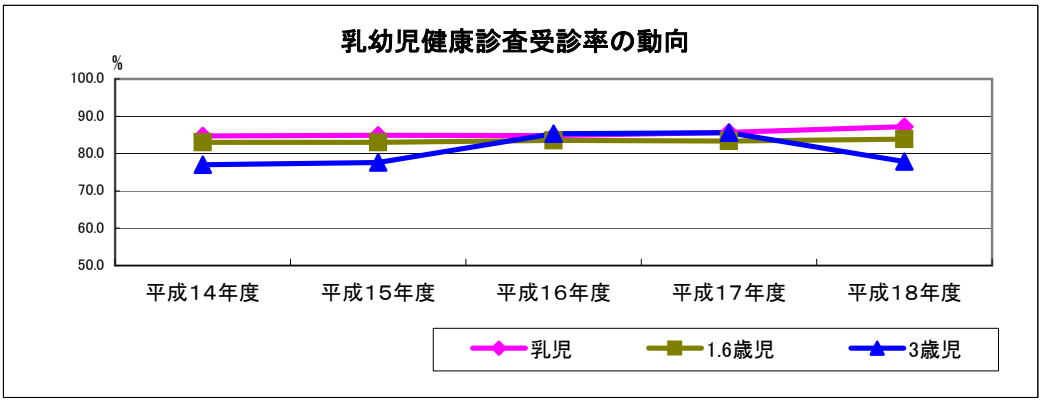
（１）一般健康診査の受診率状況について

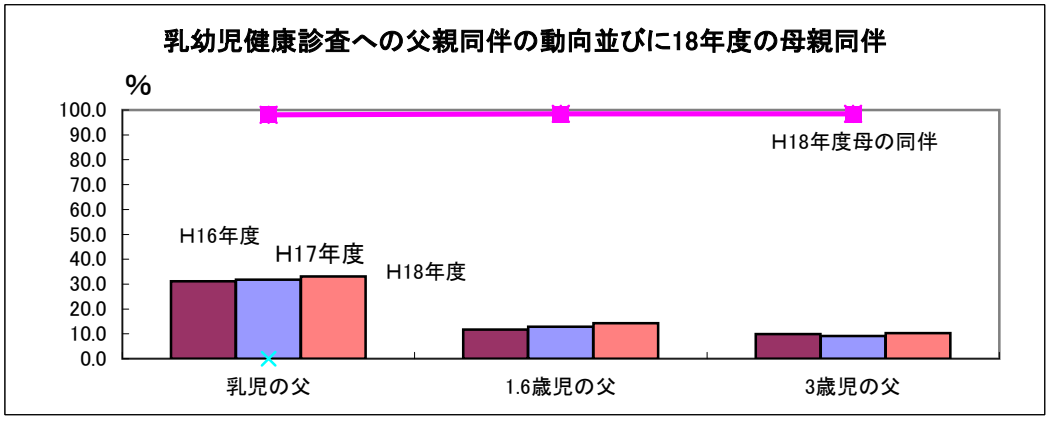
全市町村とも健康診査の対象者を、健診連絡者数としている。それを基に平成１８年度の各々受診率を算出すると、乳児は８７．２％、１歳６か月児は８３．９％、３歳児は７７．９％となっている。５年間の受診率推移を以下の表に示す。

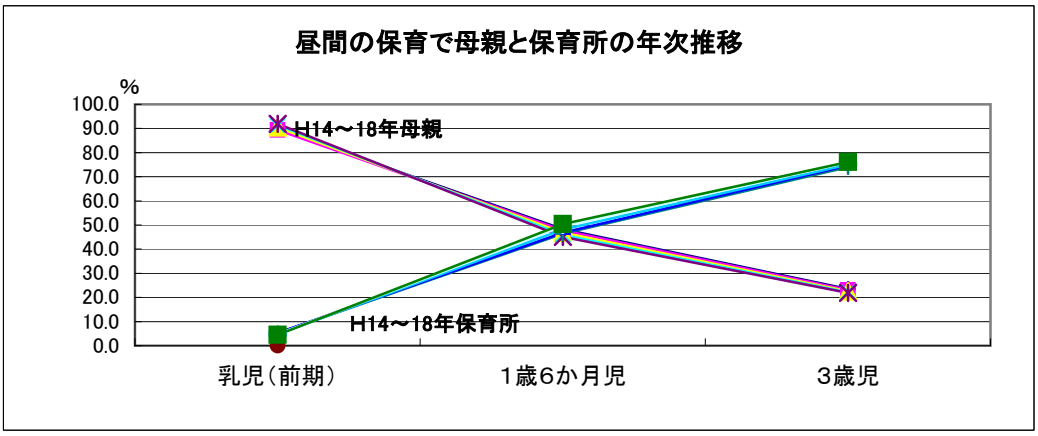
乳児と１歳６か月児は８０％台であるが、わずかに上昇傾向が見られる。３歳児は平成１７年度までは上昇傾向にあったが、平成１８年度は７０％台に落ちている。今後受診率を上げるための諸対策が求められ、本協会としても健康診査スタッフの資質向上や諸調査等をとおして、市町村の受診率向上対策事業への支援が必要と考える。

（２）乳幼児の育児環境

乳幼児の健康診査時の同伴者をみると、乳児の前期で母親が９８．５％、父親が３３．１％となっている。乳児健康診査の父親同伴が多いのは、健康診査が土曜日午後と日曜日に実施されていることが、大きな要因に考えられるが、それでも年々増加傾向にある。幼児健康診査は週日実施のため、父親の同伴は乳児に比較しその率は低いが、増加傾向にはある。祖父母の同伴も各健康診査とも増加傾向にある。







乳幼児の昼間の保育状況は、母親の保育が乳児（前期）は９０％台であるが、児の年齢が高くなるにつれ減少し、保育所（園）に預ける傾向にある。過去５年間同様な傾向が見られるが、保育所保育は年々増加傾向にある。

乳児の栄養法について、２回目受診児を対象に見ると、０か月時は年々母乳栄養が増加している。３か月を経過する頃には、人工栄養へと移行傾向にある。また、長期に母乳を与えていることもわかる。

（３）総合判定結果の傾向

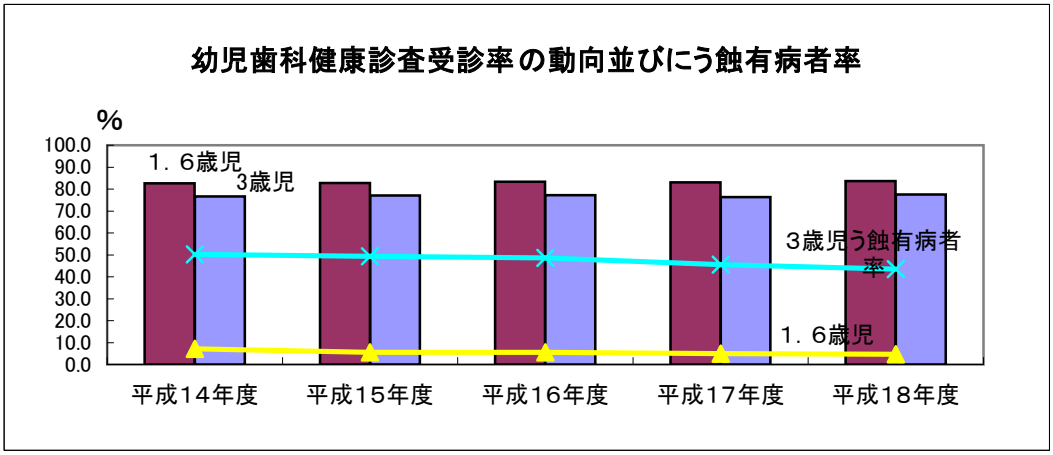
今回は、総合判定結果分類の年次推移を追加掲載した。それをみると要助言や要精密検査が増加傾向にある。要助言の内容には、栄養指導や予防接種のすすめに関する内容が増加している。要精密検査の内容については、貧血や尿検査異常が多く見られ、３歳児については聴力障害や耳鼻科的疾患が多く見られる。１歳6か月児や３歳児においては、要心理相談も増加傾向にあり、特に、言語発達遅滞に関する内容が多い。

（４）歯科健康診査の受診率状況

１歳６か月児と３歳児の歯科健康診査の受診率をみると、一般健診同様わずかながら増加傾向にある。特に目立つのは、う蝕有病者が年々減少傾向にある。

おわり

平成１８年度乳幼児健康診査の概要を紹介したが、詳細については健康診査別に記載した。



〈　乳児一般健康診査の部　〉

１　実施状況

沖縄県内４１市町村において、平成１８年４月１日から平成１９年３月３１日までに、延べ２８，４７８人が乳児一般健康診査を受けた。

乳児一般健康診査の実施形態としては、町村が土曜日（午後）の半日で年に４～８回の実施、市は主に日曜日（午前・午後）の健診で月に１～３回の実施となっている。

小規模離島町村の健康診査は年２回の実施がほとんどで、健診日の設定により受診月齢１か月～２か月の児や１２か月以降になることもある。

対象者とは、乳児期に２回市町村から健診通知された合計数である。市町村により、未受診児に対し再通知しているところも多い。

１２か月以上の受診者は４１人であるが、離島の児１人は集計に含めることとし、残り４０名は対象から除き、２８，４３８人で集計する。

以下に、平成１８年度の乳児一般健康診査の結果をまとめる。

（参照）統計資料№. 1～4、6～7

（参照）参考資料№. 1～5

注）１２か月以降の対象外児４０人（集計から除く）

国頭村　３人　　大宜味村　３人　　本部町　５人　　うるま市　４人

沖縄市　１人　　嘉手納町　５人　　北谷町　７人　宜野湾市　２人

西原町　５人　　糸満市　３人　　南城市　２人

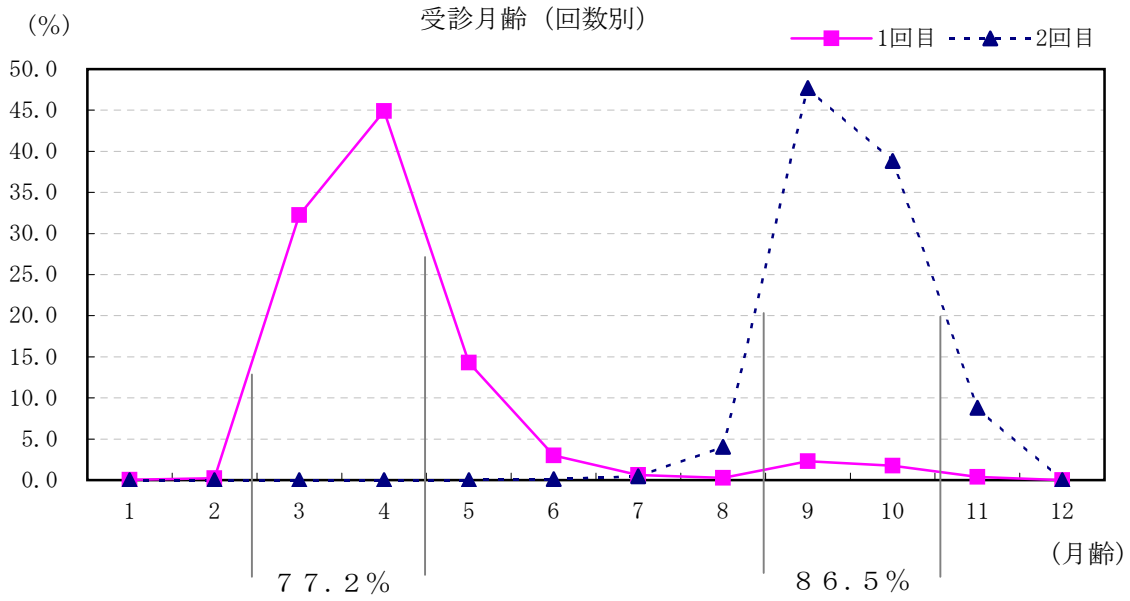
２　乳児一般健康診査受診状況

受診状況（　回数・月齢別　）　　単位：人

月齢		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
1回目	男	2	22	2,574	3,573	1,128	252	48	21	185	137	31	－	7,973
	女	2	12	2,417	3,375	1,084	211	47	20	168	136	29	－	7,501
	小計	4	34	4,991	6,948	2,212	463	95	41	353	273	60	－	15,474
2回目	男	－	－	－	－	－	10	28	285	3,149	2,555	609		6,636
	女	－	－	－	－	－	4	33	242	3,036	2,481	531	1	6,328
	小計	－	－	－	－	－	14	61	527	6,185	5,036	1,140	1	12,964
合計	男	2	22	2,574	3,573	1,128	262	76	306	3,334	2,692	640	－	14,609
	女	2	12	2,417	3,375	1,084	215	80	262	3,204	2,617	560	1	13,829
	総計	4	34	4,991	6,948	2,212	477	156	568	6,538	5,309	1,200	1	28,438
受診数に対する割合(%)		0.0	0.1	17.6	24.4	7.8	1.7	0.5	2.0	23.0	18.7	4.2	0.0	100.0

乳児一般健康診査の望ましい受診月齢は、１回目３～４か月、２回目が９～１０か月とされている。沖縄県全体をみると、１回目３～４か月の受診は１１，９３９人（77.2%）、２回目９～１０か月は１１，２２１人（86.6%）となっており、ほぼ適正な月齢に実施されている。実施回数の少ない離島や乳児の少ない町村では、実施月齢にばらつきがみられた。

受診児（延べ）を性別にみると、男１４，６０９人、女１３，８２９人である。



乳児健康診査の受診率は、市町村の平成１８年度連絡者数３２，６５０人で算出すると、全体として８７．２%となっている。

ちなみに、沖縄県の平成１８年（H18.1.1～H18.12.31）概算出生数１６，５７０人（男8,534人、女8,036人）の単純対象数で算出すると、１回目が９３．４%で、２回目が７８．２%となる。

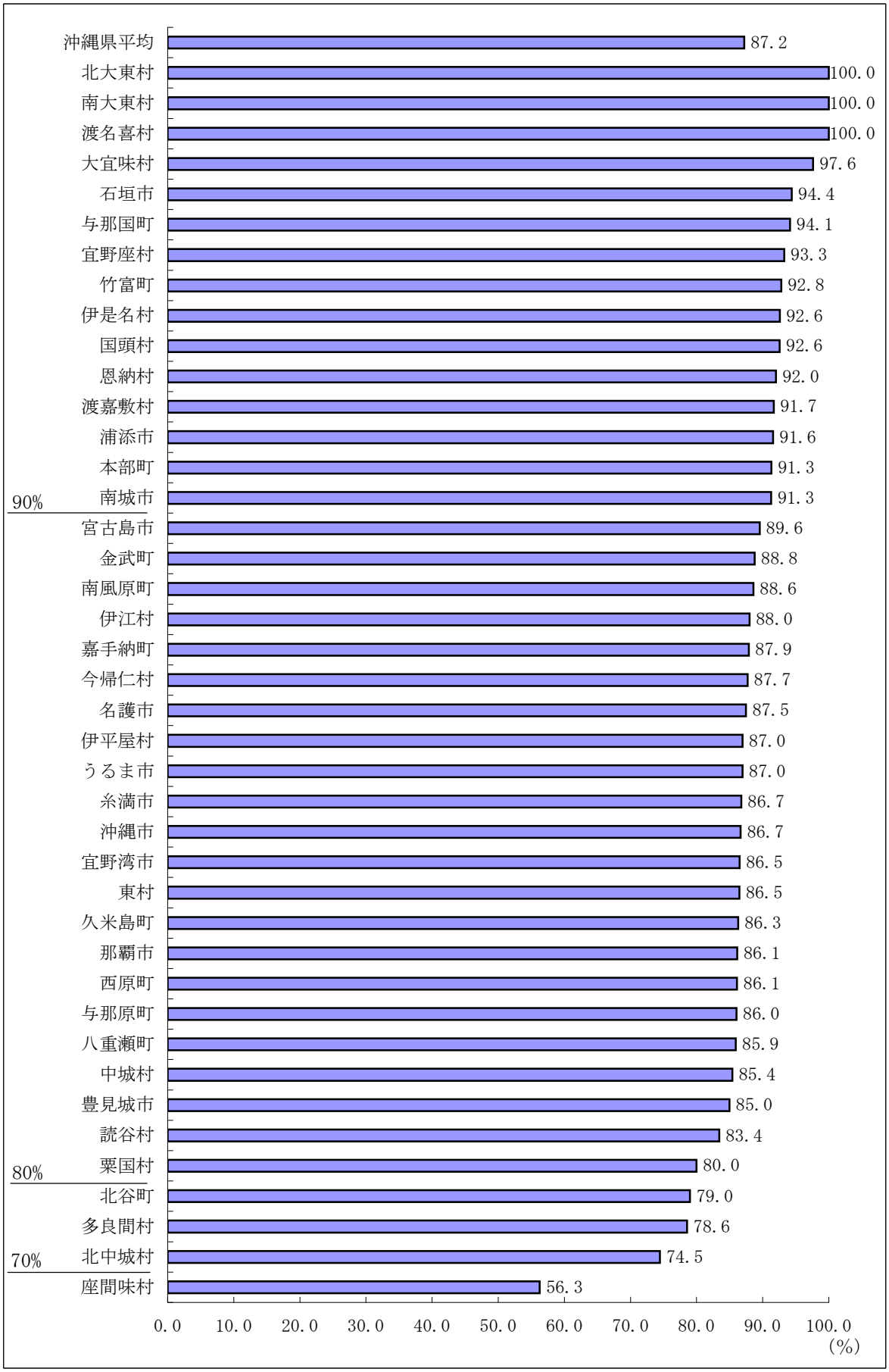
乳児一般健康診査受診率（回数別）

	対象者数（概算出生数）	受診者数	受診率（%）
１回目	16,570	15,474	93.4
２回目	16,570	12,964	78.2
計	33,140	28,438	85.8

注）乳児期で、１人２回の受診機会が提供される

（参照）年次資料№. 1、3

１８年度　乳児一般健康診査受診率



（参照）参考資料№. 2

（参照）年次資料№. 2

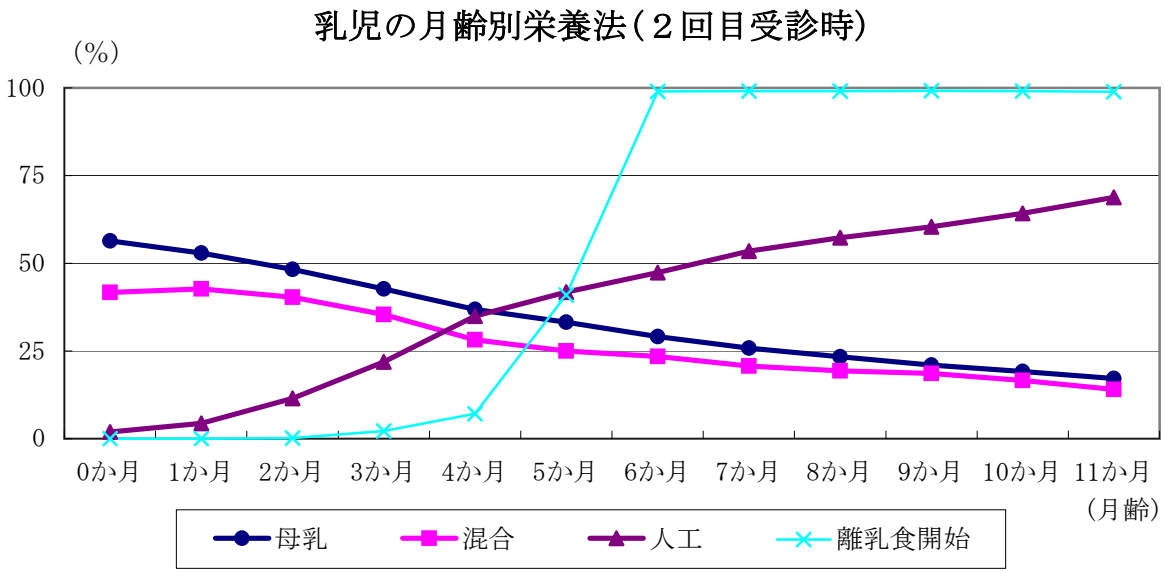
３　乳児の栄養法（２回目受診時）

３－１　月齢別栄養法と離乳食の開始

受診２回目の１２，９６４人の乳児を対象に栄養法を分類すると、生後３か月を経過した頃から、母乳栄養から人工栄養への移行傾向がみられる。昨年に比較すると０か月児の母乳栄養の２．７ポイント（H17年度53.7%）の増加をはじめ、全体的に母乳栄養が長く継続している傾向にある。

注）月齢別栄養法の分類とは、月齢ごとに栄養法を単純に分類したものである。

月齢（時）	対象数（人）	母乳（%）	混合（%）	人工（%）	離乳食開始（%）
0か月	12,964	56.4	41.7	1.9	0.0
1か月	12,964	52.9	42.7	4.4	0.0
2か月	12,964	48.2	40.3	11.5	0.2
3か月	12,964	42.7	35.4	21.9	2.2
4か月	12,964	36.9	28.2	34.9	7.1
5か月	12,964	33.2	25.0	41.8	40.9
6か月	12,964	29.1	23.5	47.4	99.0
7か月	12,950	25.8	20.8	53.4	99.1
8か月	12,889	23.4	19.3	57.3	99.1
9か月	12,362	21.0	18.6	60.4	99.2
10か月	6,177	19.2	16.6	64.2	99.1
11か月	1,141	17.2	14.0	68.8	98.9
12か月	1	0.0	0.0	100.0	100.0
割合	－	36.1	28.9	35.0	



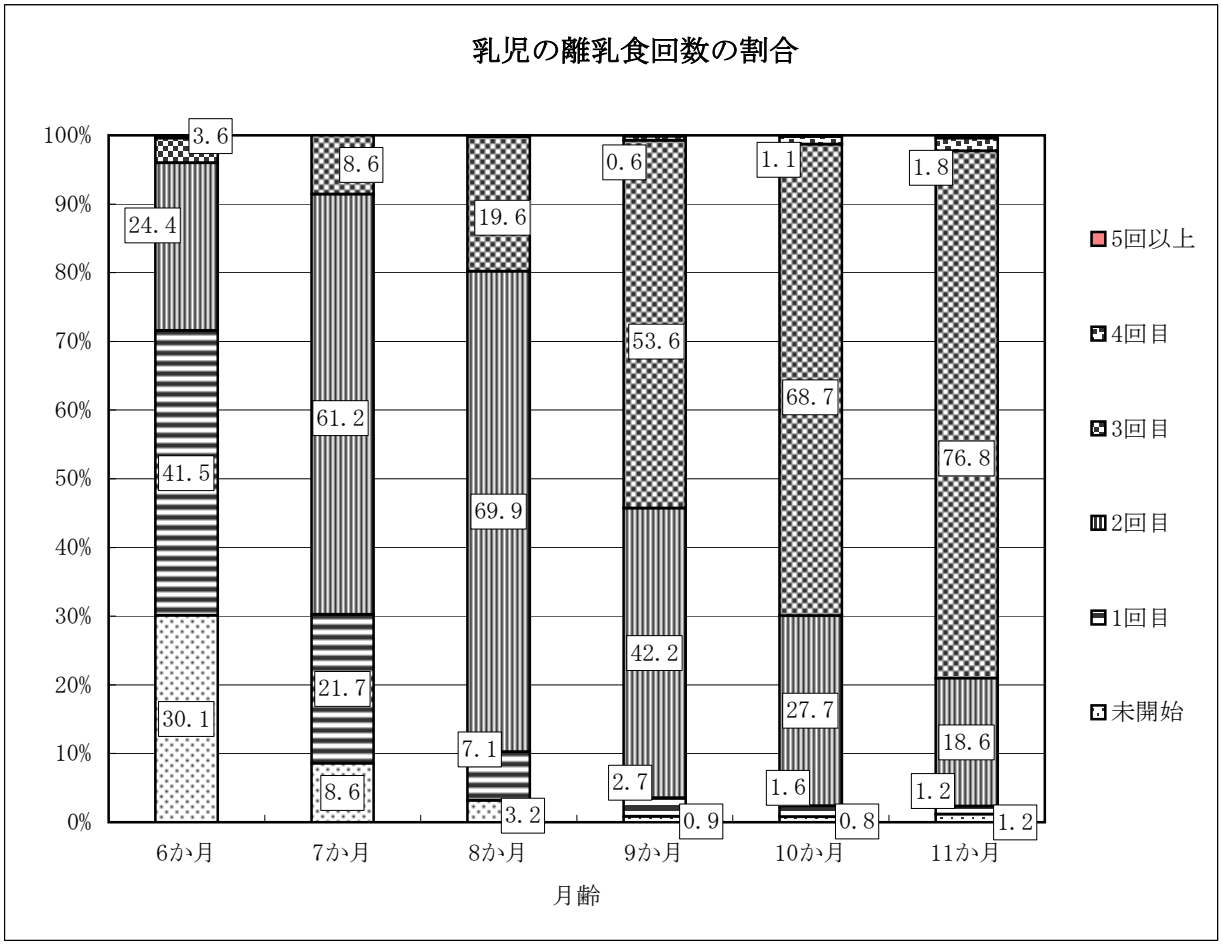
（参照）年次資料№. 4

３－２　月齢別離乳食回数

離乳食が開始されるのは４か月からである。その離乳食回数について、６か月から１１か月までを示した。

未開始が６か月で３０．１％、７か月で８．６％になっている。

１回をみると、６か月で４１．５％、９か月になると２．７％となり、月齢が高くなるにつれ減少している。２回では、１０か月の２７．７％、１１か月で１８．６％となっている。

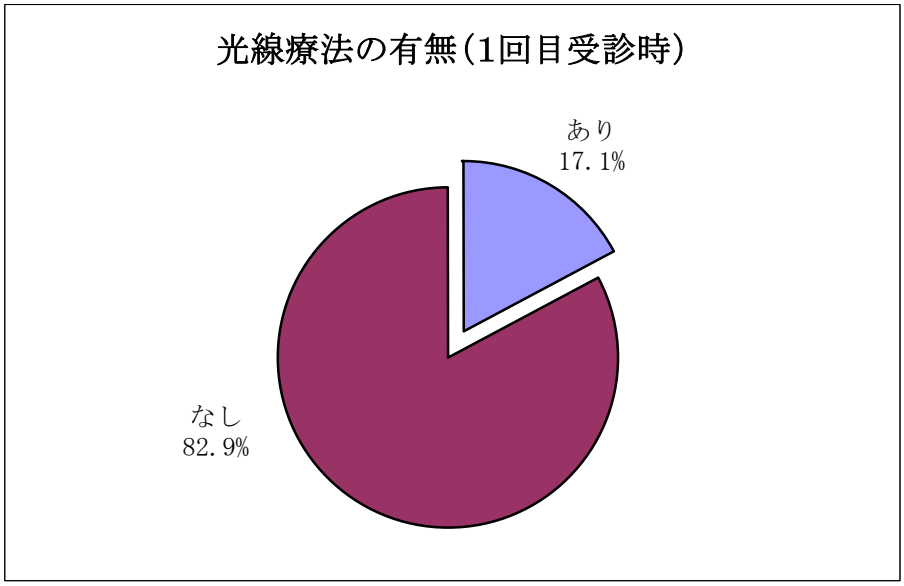


４　出生直後の状況

光線療法について「あり」を前年度と比較すると、平成１８年度１７．１％（H17年度17.0%）と、前年度より０．１ポイント増加している。

光線療法（１回目受診時）　　単位：人

	あり	なし	小計	記入なし	計
	2,367	11,435	13,802	1,672	15,474
%	17.1	82.9	100.0	－	



（参照）年次資料№. 5

５　健診同伴者（前期　生後６か月まで）

乳児健康診査における児の同伴者について、母の同伴があった児１４，３６２件(98.5%)、父の同伴があった児４，８２７件(33.1%)となっている。

（参照）年次資料№. 6

乳児の健診同伴者

単位：人

	母	父	祖父母	その他	集計対象数	記入なし	受診総数
件数	14,362	4,827	609	780	14,579	87	14,666
全体にしめる割合（%）	98.5	33.1	4.2	5.4	－	－	

同伴内訳	母	父	祖父母	その他	記入なし	計
母親	**8,382**	4,683	541	756		14,362
父	4,683	**126**	13	5		4,827
祖父母	541	13	**54**	1		609
父、祖父母	36					36
父、兄弟姉妹	335					335
父、おじ、おば等	9					9
祖父母、兄弟姉妹	27					27
祖父母、おば	8					8
兄弟姉妹	241	4	1			246
兄弟姉妹、おば	2					2
おじ、おば等	64	1		7		72
施設職員等				5		5
その他	34			6		40
記入なし					87	87
計	14,362	4,827	609	780	87	20,665

※複数の同伴者あり

６　育児環境

６－１　保育状況

乳児の保育状況において、前期（生後1～6か月児14,666人）における昼間の保育をみると９１．９％が母親の保育となっているが、後期（生後7～12か月児13,772人）には、７２．９％となり１９．０ポイント減少している。

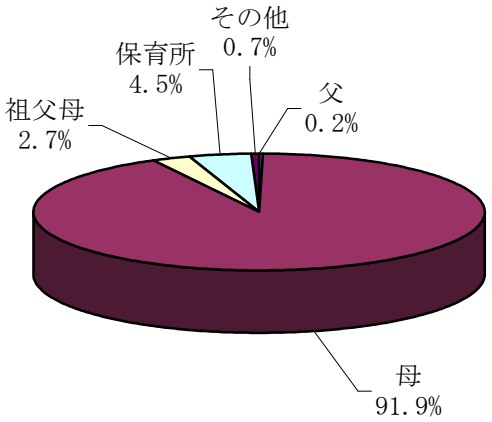
ちなみに、保育所の傾向をみると前期４．５％（H17年度4.7％）、後期には２２．０％（H17年度22.5％）となり、平成１８年度は前期と後期で減少していることがわかる。

（参照）統計資料№. 8～9　年次資料№. 7

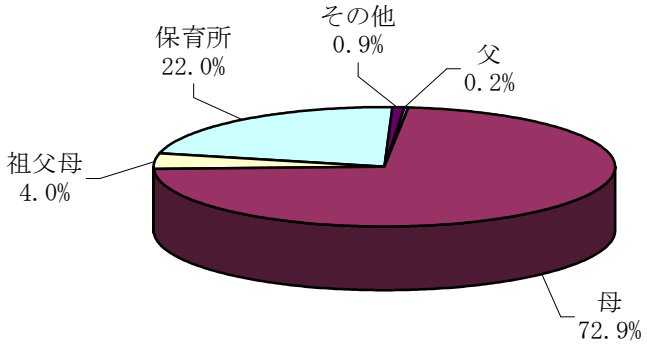
乳児の昼間の主な保育者　　単位：人

	父	母	祖父母	保育所	その他	小計	記入もれ	合計
前期	34	13,463	394	652	100	14,643	23	14,666
%	0.2	91.9	2.7	4.5	0.7	100.0	－	－
後期	34	10,028	544	3,028	125	13,759	13	13,772
%	0.2	72.9	4.0	22.0	0.9	100.0	－	－

前期（生後６か月まで）



後期（生後７～１２か月）

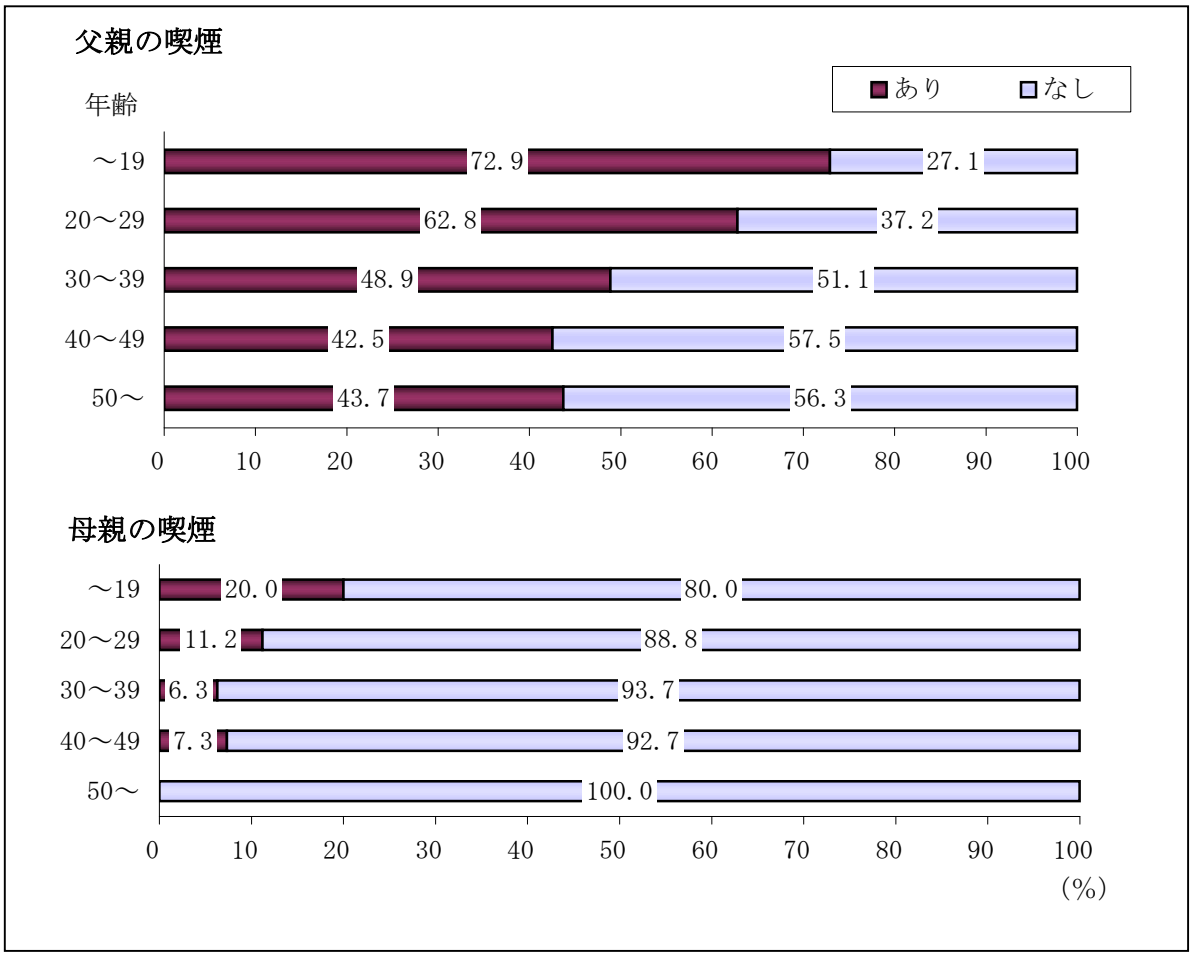


6－2　妊娠中の喫煙（１回目受診時）

妊娠中の喫煙率については、喫煙ありを総数から記入もれを除いた数で算出すると父親５３．２％（H17年度55.7%）、母親８．７％（H17年度9.4%）となり、両親とも前年度に比較し減少している。

乳児の両親の妊娠中の喫煙（１回目受診時）　　単位：人

年齢	父親の喫煙				母親の喫煙			
	あり	なし	記入もれ	総計	あり	なし	記入もれ	総計
～19	78	29	19	126	54	216	52	322
20～29	3,022	1,792	442	5,256	674	5,349	612	6,635
30～39	3,445	3,606	788	7,839	444	6,625	880	7,949
40～49	568	768	177	1,513	33	417	65	515
50～	66	85	21	172	－	2	－	2
	7,179	6,280	1,447	14,906	1,205	12,609	1,609	15,423
%	53.2	46.8	－	－	8.7	91.3	－	－
記入もれ	88	102	378	568	1	33	17	51
総計	7,267	6,382	1,825	15,474	1,206	12,642	1,626	15,474



※　喫煙率は、記入もれを除いて算出

（参照）統計資料№. 10

（参照）年次資料№. 8

６－３　子育てについて（１回目受診時）

○育児不安の有無と子育ての楽しさとの関係

育児に不安がないと回答した人は、あると回答した人より子育ての楽しさを感じている割合が２２．４ポイント高くなっている。

（参照）統計資料№. 11～12

（参照）年次資料№. 9

育児に不安	回答者数	子育ては（記入もれ除く）		
		計	楽しい、楽しい・大変の両方	どちらともいえない・大変
ある	3,507	3,504	2,091	1,413
	%	100.0	59.7	40.3
ある・ないの両方	66	66	49	17
	%	100.0	74.2	25.8
ない	11,740	11,730	9,627	2,103
	%	100.0	82.1	17.9

注）１回目受診時に対する割合

○育児不安の有無と育児疲れとの関係

育児に不安があると回答した人は、ないと回答した人より、育児の疲れの割合が高く、特に精神的な面の疲れが高くなっている。

育児に不安	回答者数	育児は疲れが多い（記入もれ除く）				
		計	肉体的	肉体的・精神的の両方	精神的	いいえ
ある	3,507	3,474	1,279	686	673	836
	%	100.0	36.8	19.7	19.4	24.1
ある・ないの両方	66	65	31.0	12	10.0	12
	%	100.0	47.7	18.5	15.3	18.5
ない	11,740	11,658	4,033	565	668	6,392
	%	100.0	34.6	4.9	5.7	54.8

注）１回目受診時に対する割合

○身近な相談者の有無と子育ての楽しさとの関係

身近に相談者がいると回答した人は、いないと回答した人より子育ての楽しさを感じている割合が１９．７ポイント高くなっている。

（参照）統計資料№. 11～12

（参照）年次資料№. 9

身近に相談者	回答者数	子育ては（記入もれ除く）		
		計	楽しい、楽しい・大変の両方	どちらともいえない・大変
いる	14,660	14,647	11,408	3,239
	%	100.0	77.9	22.1
いない	761	761	443	318
	%	100.0	58.2	41.8

注）１回目受診時に対する割合

※　身近に相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

○身近な相談者の有無と育児不安との関係

身近に相談者がいると回答した人は、いないと回答した人より子育てに不安を感じている割合が２３．１ポイント低くなっている。

身近に相談者	回答者数	育児に不安（記入もれ除く）			
		計	ある	ある・ない両方	ない
いる	14,660	14,529	3,155	57	11,317
	%	100.0	21.7	0.4	77.9
いない	761	753	337	9	407
	%	100.0	44.8	1.2	54.0

注）１回目受診時に対する割合

※　身近に相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

○育児不安有無と育児疲れ、子育ての楽しさについて

子育てについて、育児に不安があるかないかを基に、育児の疲れと楽しさがどうかについて分類した。

育児に不安	育児は疲れが多い	回答数	計	子育ては（記入もれ除く） 楽しい	楽しい・大変の両方	どちらともいえない	大変
ある	肉体的	1,279	1,278	659	177	208	234
	肉体的・精神的の両方	673	685	116	184	141	244
	精神的	836	672	193	59	192	228
	いいえ	686	836	627	61	102	46
	記入もれ	33	33	8	7	8	10
	小計	3,507	3,504	1,603	488	651	762
	%	22.7	100.0	45.8	13.9	18.6	21.7
ある・ない両方	肉体的	31	31	19	7	1	4
	肉体的・精神的の両方	10	12	2	3	3	4
	精神的	12	10	2	4	2	2
	いいえ	12	12	10	1	1	－
	記入もれ	1	1	－	1	－	－
	小計	66	66	33	16	7	10
	%	0.4	100.0	50.0	24.2	10.6	15.2
ない	肉体的	4,033	4,031	2,711	387	419	514
	肉体的・精神的の両方	668	565	180	116	98	171
	精神的	6,392	667	291	54	140	182
	いいえ	565	6,387	5,622	205	354	206
	記入もれ	82	80	54	7	12	7
	小計	11,740	11,730	8,858	769	1,023	1,080
	%	75.9	100.0	75.5	6.6	8.7	9.2
不明	肉体的	50	50	27	13	7	3
	肉体的・精神的の両方	27	27	4	6	5	12
	精神的	12	12	4	2	3	3
	いいえ	34	34	28	3	3	－
	記入もれ	38	25	15	6	2	2
	小計	161	148	78	30	20	20
	%	1.0	100.0	52.7	20.3	13.5	13.5
合計		15,474	15,448	10,572	1,303	1,701	1,872
	%	100.0	%	68.5	8.4	11.0	12.1

注）回答者の率は１回目受診児15,474件に対する割合　　（参照）統計資料№. 11～12

○身近に相談者の有無と子育て支援センターの認知、子育ての楽しさについて

子育てについて、身近に相談者がいるかいないかを基に、子育ては楽しいかについて分類した。

身近に相談者	子育て支援センターを知っている	回答者数	計	子育ては（記入もれ除く） 楽しい	楽しい・大変の両方	どちらとも言えない	大変
いる	はい	10,518	10,508	7,322	891	1,073	1,222
	いいえ	4,025	4,022	2,777	325	463	457
	記入もれ	117	117	76	17	14	10
	小計	14,660	14,647	10,175	1,233	1,550	1,689
	%	94.7	100.0	69.5	8.4	10.6	11.5
いない	はい	421	421	209	37	83	92
	いいえ	334	334	164	29	64	77
	記入もれ	6	6	4	−	1	1
	小計	761	761	377	66	148	170
	%	4.9	100.0	49.5	8.7	19.5	22.3
不明	はい	23	20	10	1	−	9
	いいえ	9	9	4	1	2	2
	記入もれ	21	11	6	2	1	2
	小計	53	40	20	4	3	13
	%	0.4	100.0	50.0	10.0	7.5	32.5
合計		15,474	15,448	10,572	1,303	1,701	1,872
	%	100.0	%	68.5	8.4	11.0	12.1

注）回答者の率は１回目受診児15,474件に対する割合

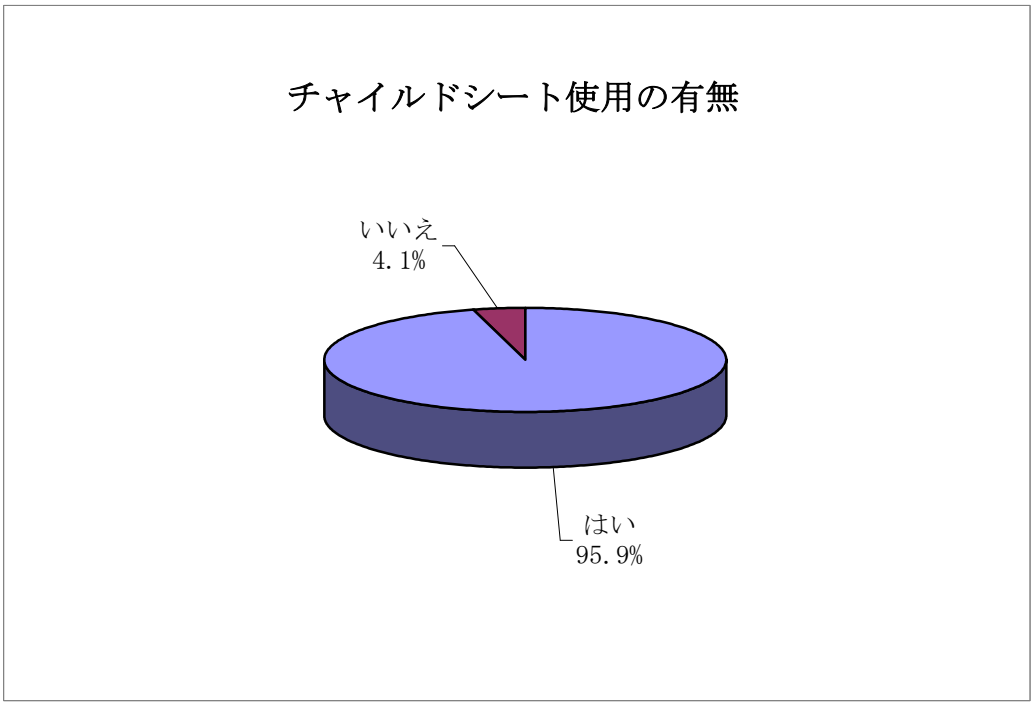
※　身近に相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

（参照）統計資料№. 11～13

６−４　チャイルドシート使用状況（後期　生後７～１２か月）

チャイルドシート使用については、使用している９５．９％（H17年度95.1%）となり、０．８ポイントの増加がみられる。

チャイルドシート使用	はい	いいえ	小計	記入もれ	総計
	13,129	555	13,684	88	13,772
%	95.9	4.1	100.0	−	−

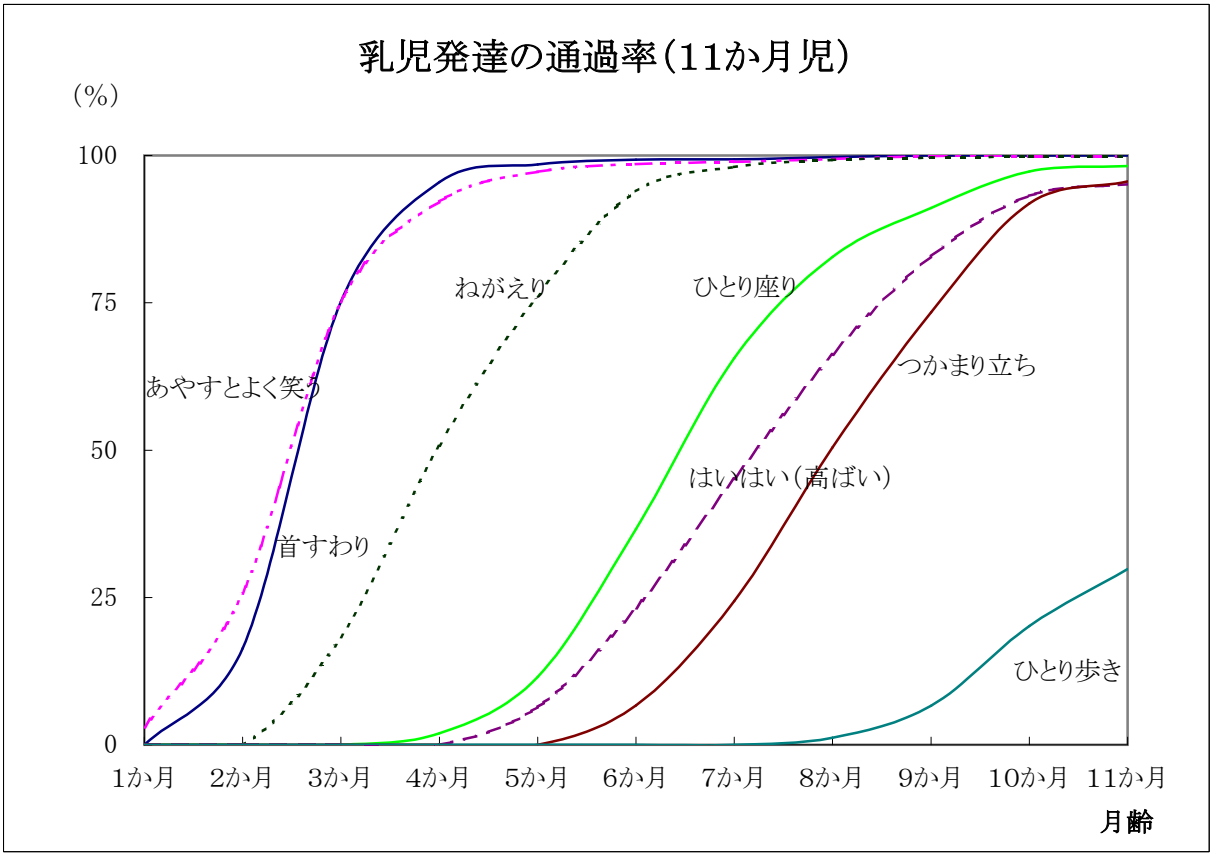


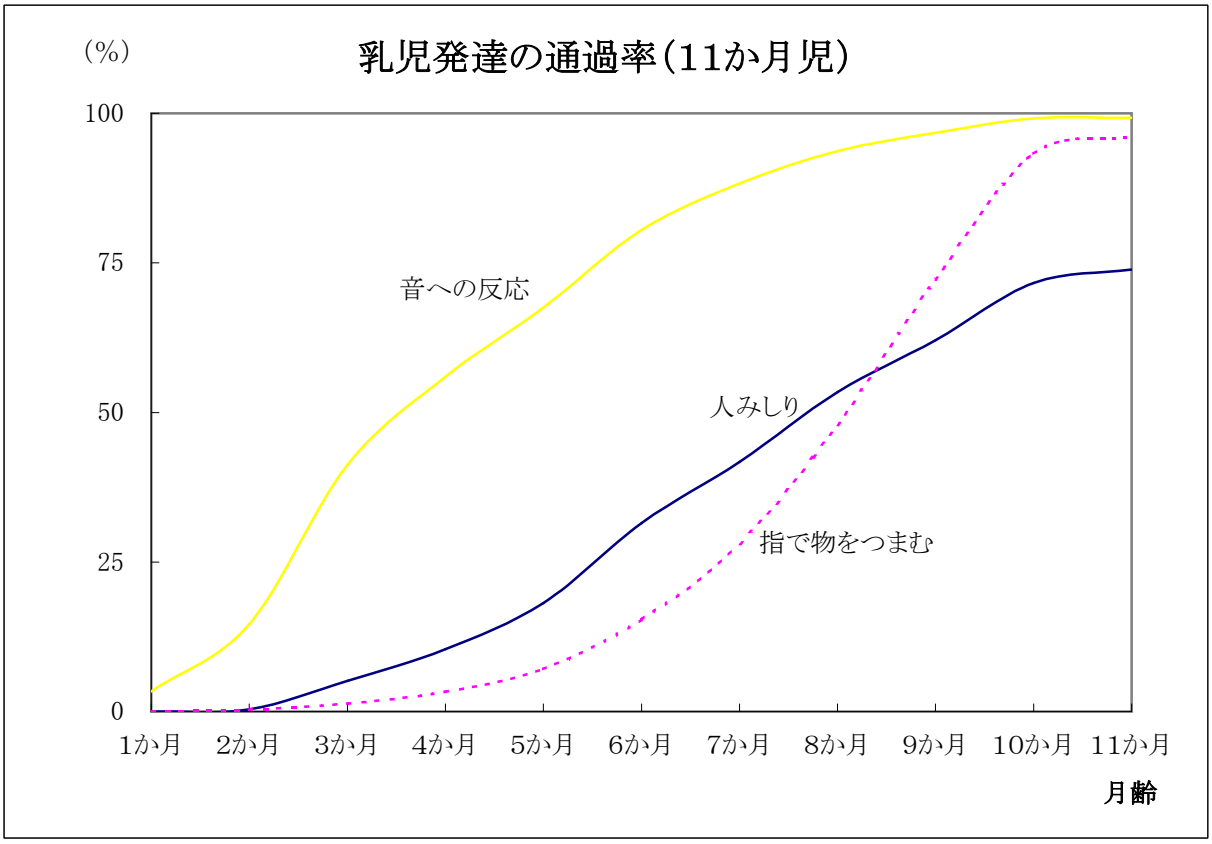
（参照）統計資料№. 14

（参照）年次資料№. 37

7　乳児の発達について

乳児の発達について、受診時の月齢が１１か月児１，２００名を対象に分類した。





８　健診結果の異常内訳

平成１８年度の乳児一般健康診査の受診総数は２８，４７８人となっているが、１２か月以降の受診児４０人を除く、２８，４３８人について総合判定を分類したものを以下に示す。

（総合判定）　　単位:人

	受診総数	問題なし	要助言	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中
平成１８年度受診総数	28,478	20,665	4,187	1,307	1,210	190	411	508
１２か月以降の受診児	40	25	9	3	2	－	1	－
統計分類する乳児数	28,438	20,640	4,178	1,304	1,208	190	410	508

*実人員

（異常等の内訳）

合計	(1) 検査結果の異常	(2) 診察有所見(延べ)
8,630	4,585	4,045

*実人員7,798人

（１）検査結果の異常

小計	尿検査	貧血検査
4,585	172	4,413

*尿蛋白、潜血の項目で＋以上
尿糖の項目で±以上の実人員

（２）有所見（延べ件数）　　（有所見内訳）

小計	発育	皮膚	頭頚部	顔面口腔	眼	耳鼻咽喉
4,045	597	1,443	179	157	131	82

（有所見内訳）

胸部	腹部	そけい外陰部	背部	四肢	発達神経
646	128	219	20	207	236

（参照）統計資料№. 2

８－１　検査結果の異常

①尿検査結果

尿検査結果の異常（蛋白・潜血は＋以上、糖は±以上）は、合計で１９６件となるが、 実人員は１７２人である。

前期（生後1～6か月児）、後期（生後7～12か月児）に分けて分類した。

尿蛋白	前期	後期	合計	%
－	13,529	11,443	24,972	87.8
±	76	109	185	0.6
＋ 以上	40	35	75	0.3
未検査	1,021	2,185	3,206	11.3
合計	14,666	13,772	28,438	100.0

尿潜血	前期	後期	合計	%
－	8,666	7,316	15,982	56.2
±	66	87	153	0.5
＋ 以上	53	61	114	0.4
未検査	5,881	6,308	12,189	42.9
合計	14,666	13,772	28,438	100.0

尿糖	前期	後期	合計	%
－	8,780	7,460	16,240	57.1
±	3	3	6	0.0
＋ 以上	-	1	1	0.0
未検査	5,883	6,308	12,191	42.9
合計	14,666	13,772	28,438	100.0

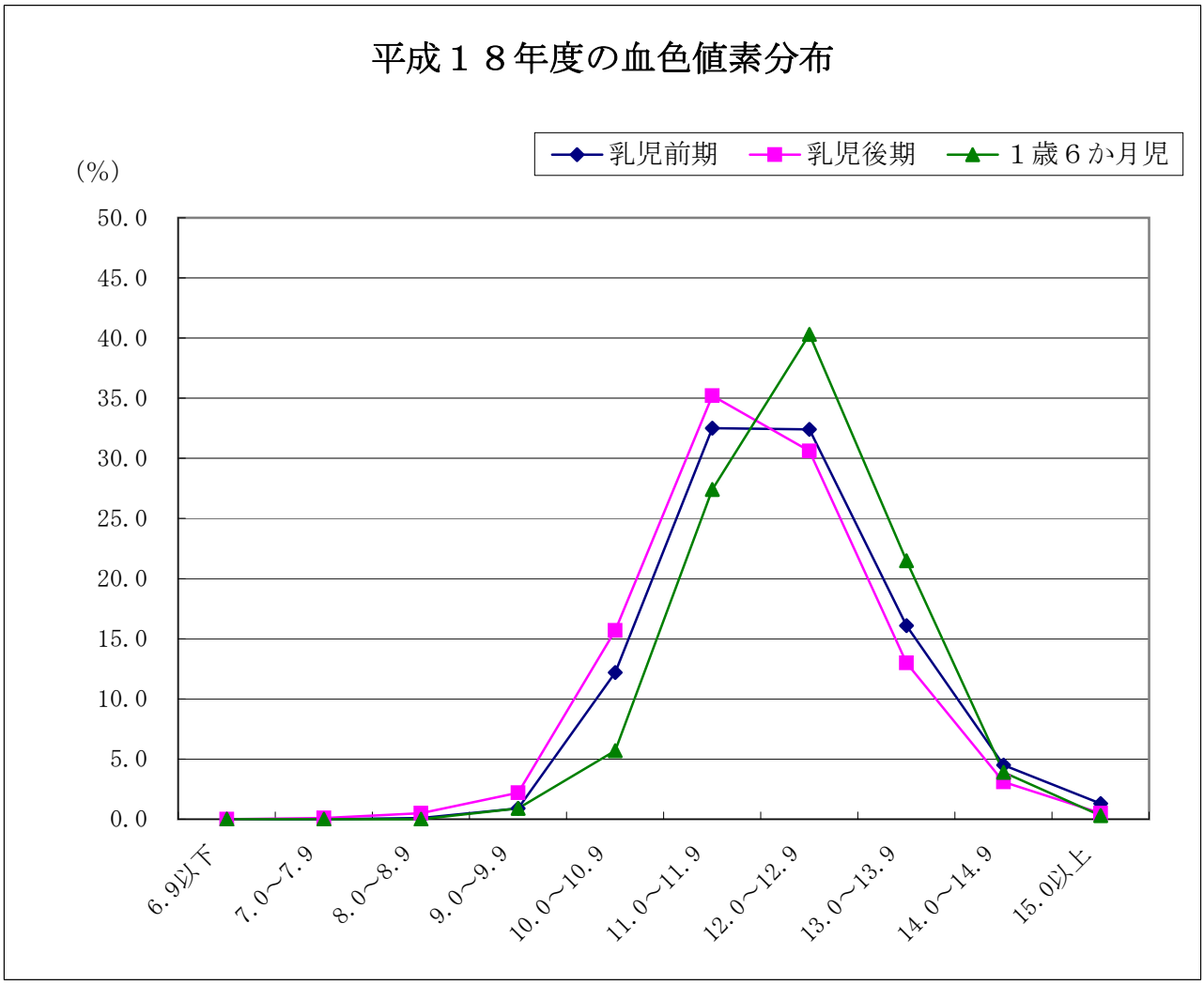
②貧血検査結果

貧血検査においては、要精査は５３２人、栄養助言が必要な児３，８８１人で計４，４１３人がフォローされている。未検査は３５人となっている。

		要精査 9.9ｇ/dl以下	栄養助言 10.0～10.9ｇ/dl以下	正常 11.0ｇ/dl以上	未検査	計
前期	男	101	918	6,526	16	7,561
	女	50	798	6,251	6	7,105
後期	男	234	1,107	5,697	10	7,048
	女	147	1,058	5,516	3	6,724
計	男	335	2,025	12,223	26	14,609
	女	197	1,856	11,767	9	13,829
	全体	532	3,881	23,990	35	28,438
%		1.9	13.6	84.4	0.1	100.0

（参照）統計資料 №. 6～7

乳児、１歳６か月児健康診査時の貧血検査結果

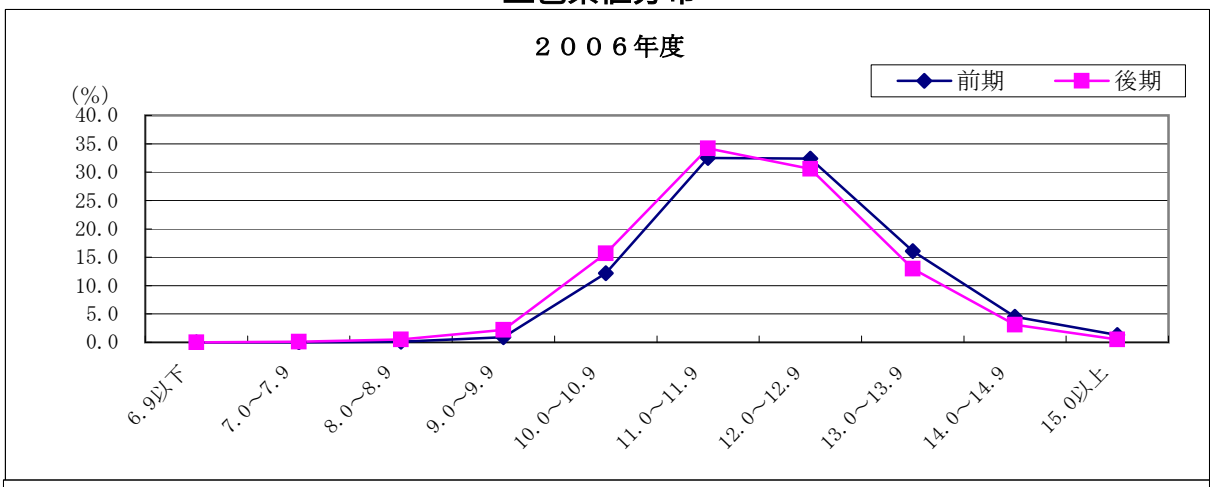


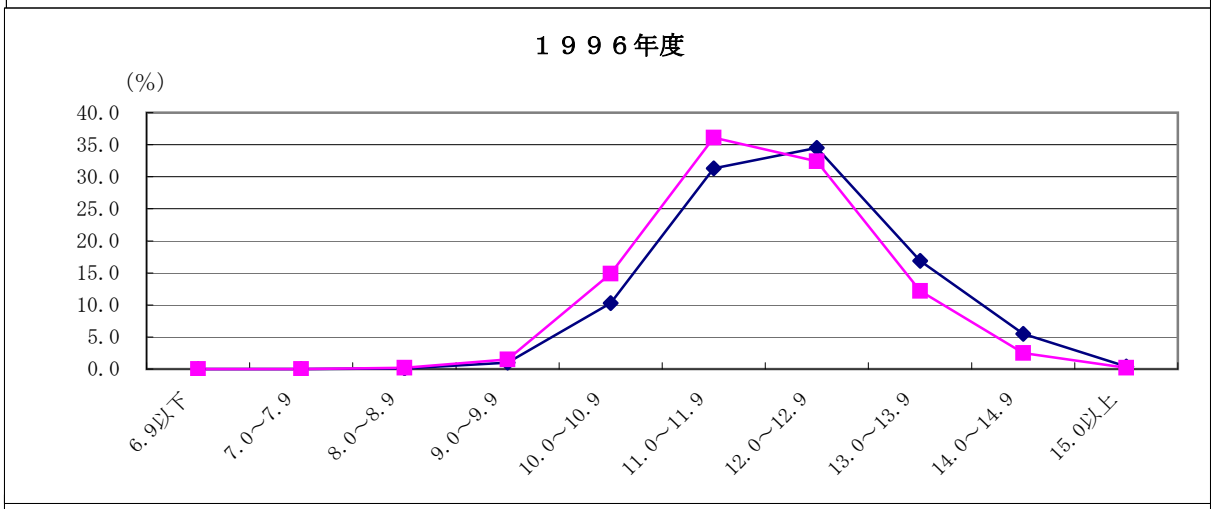
乳児健康診査時の乳児貧血は、乳児期前期より後期が貧血傾向が見られた。しかし、1歳６か月児健康診査時ではかなり改善されている。

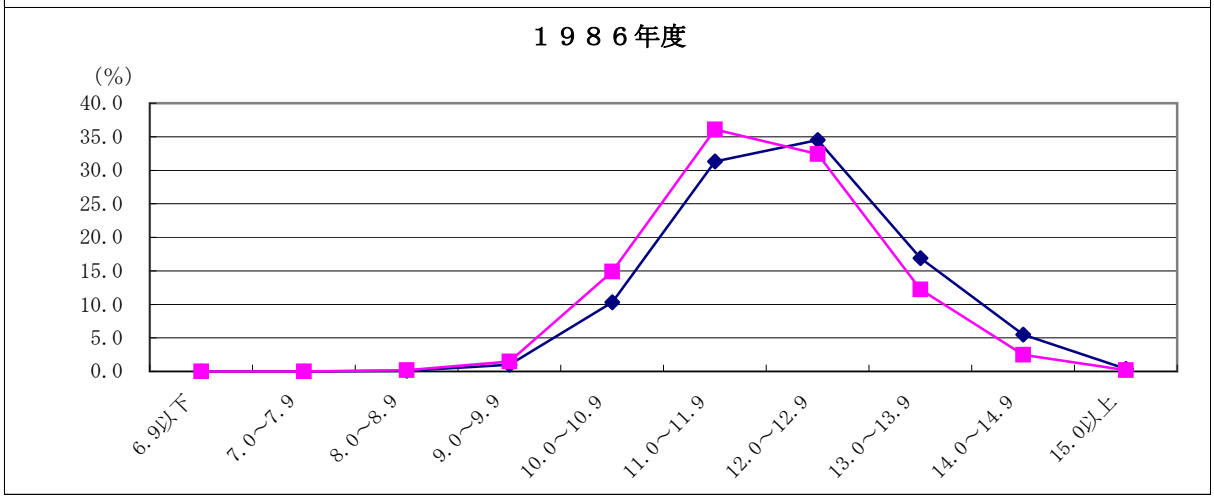
乳児健康診査時の貧血検査について

乳児の月齢を前期（３か月～６か月）と後期（７か月～１１か月）に分類して、１０年間隔で比較した。

血色素値分布







８－２　診察による有所見（診察所見について）

有所見の内訳

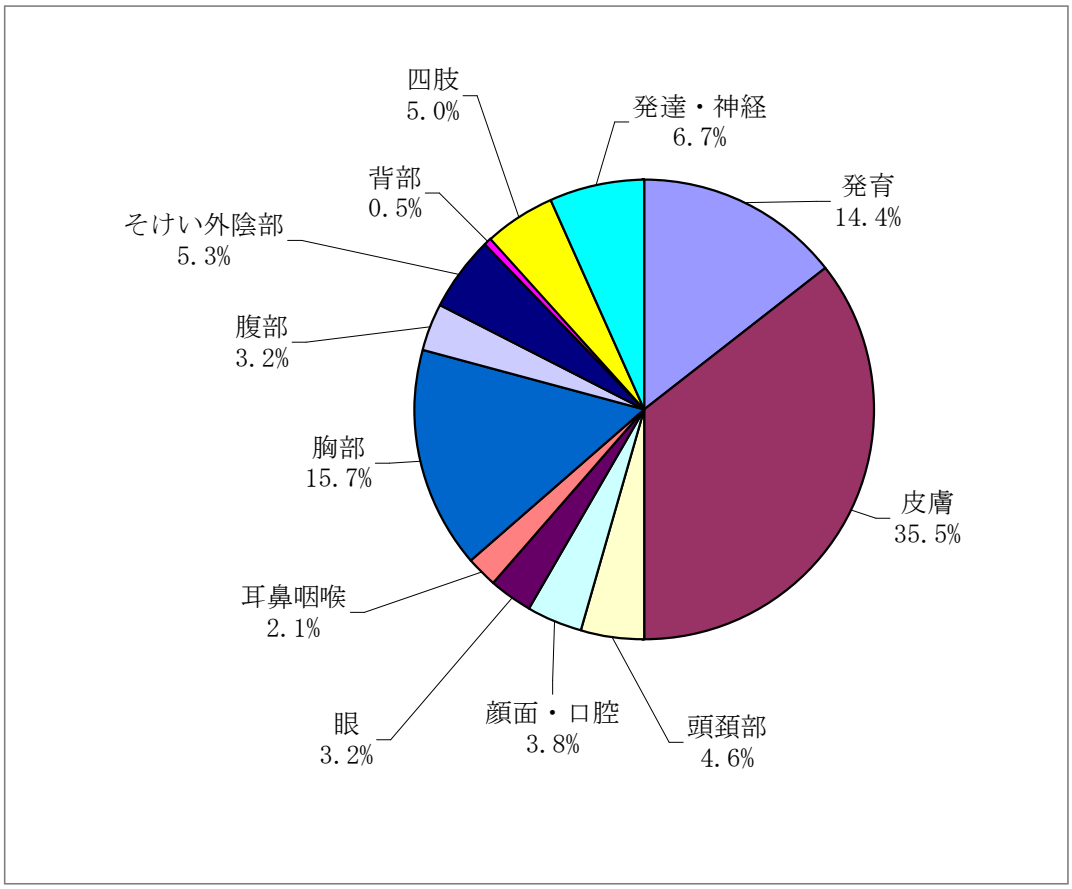
受診実績２８，４３８人、うち問題なしが２０，６４０人、異常等あり児が７，７９８人となっている。異常等ありのなかで診察所見の異常は４，０４５件である。

診察所見は複数の記入がある場合、同部位内においては件数にカウントされていないが、再分類件数は、有所見内訳を部位別・部位内の複数記入も含め分類したものである。

	合計	発育	皮膚	頭頚部	顔面・口腔	眼	耳鼻咽喉
件数	4,045	597	1,443	179	157	131	82
再分類件数	4,140	598	1,469	189	157	133	85
%	100.0	14.4	35.5	4.6	3.8	3.2	2.1

	胸部	腹部	そけい外陰部	背部	四肢	発達・神経
件数	646	128	219	20	207	236
再分類件数	649	132	221	20	209	278
%	15.7	3.2	5.3	0.5	5.0	6.7

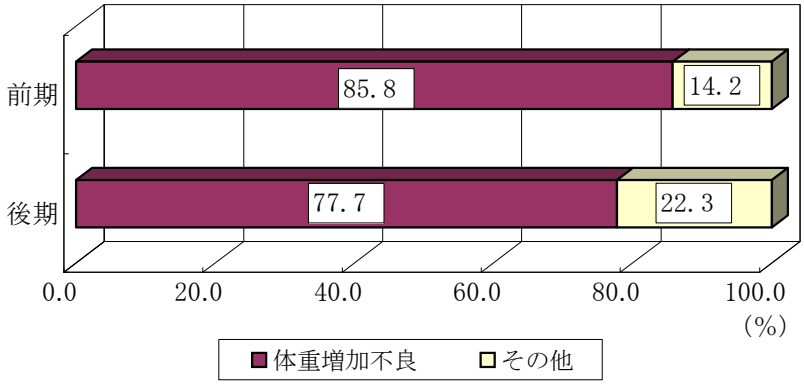
注）部位内複数記入含め再分類



（参照）統計資料 No. 2

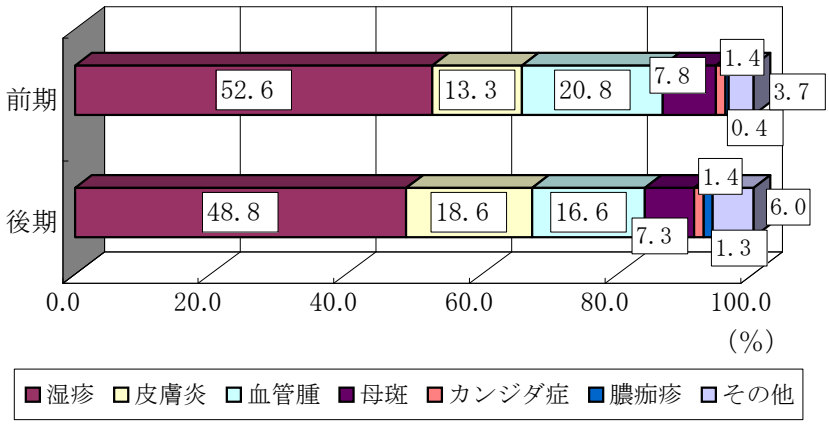
①＜発育＞

内 訳		体重増加不良	その他
前期	239	205	34
%	100.0	85.8	14.2
後期	359	279	80
%	100.0	77.7	22.3
合計	598	484	114



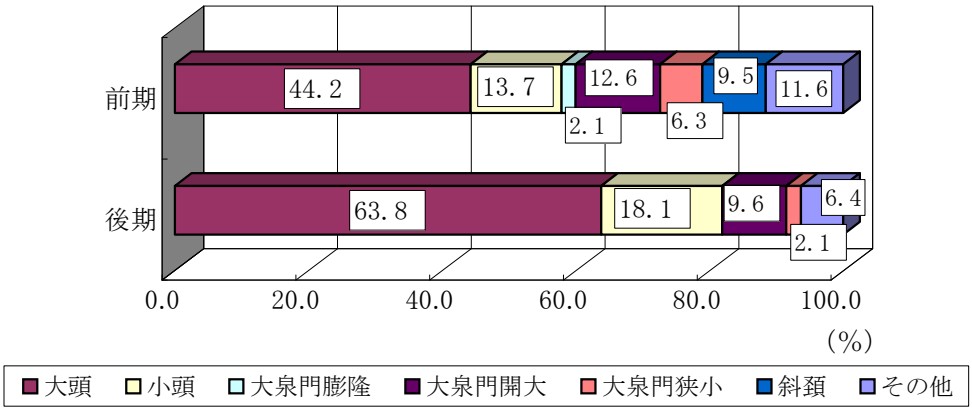
②＜皮膚＞

内 訳		湿疹	皮膚炎	血管腫	母斑	カンジダ症	膿痂疹	その他
前期	920	484	122	191	72	13	4	34
%	100.0	52.6	13.3	20.8	7.8	1.4	0.4	3.7
後期	549	268	102	91	40	8	7	33
%	100.0	48.8	18.6	16.6	7.3	1.4	1.3	6.0
合計	1,469	752	224	282	112	21	11	67



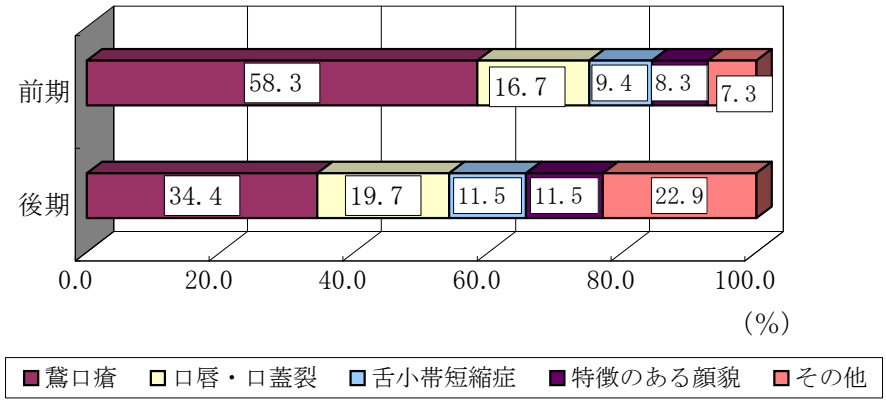
③＜頭頸部＞

内訳		大頭	小頭	大泉門膨隆	大泉門開大	大泉門狭小	斜頸	その他
前期	95	42	13	2	12	6	9	11
%	100.0	44.2	13.7	2.1	12.6	6.3	9.5	11.6
後期	94	60	17	0	9	2	0	6
%	100.0	63.8	18.1	0.0	9.6	2.1	0.0	6.4
合計	189	102	30	2	21	8	9	17



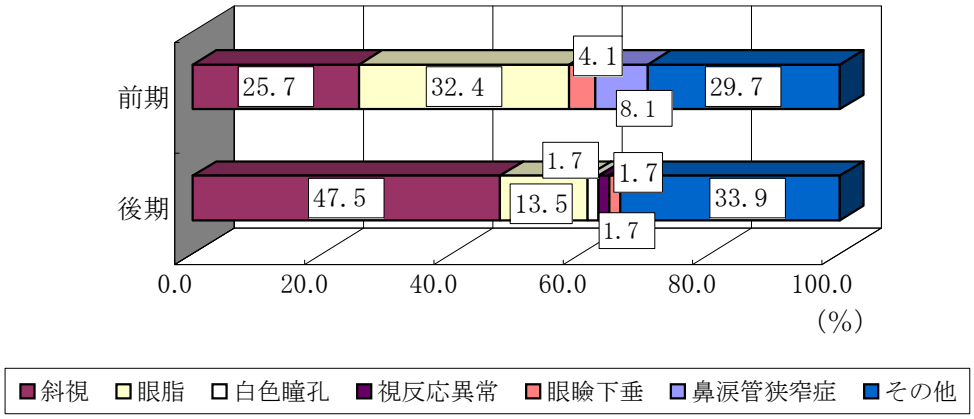
④＜顔面・口腔＞

内 訳		鵞口瘡	口唇・口蓋裂	舌小帯短縮症	特徴のある顔貌	その他
前期	96	56	16	9	8	7
%	100.0	58.3	16.7	9.4	8.3	7.3
後期	61	21	12	7	7	14
%	100.0	34.4	19.7	11.5	11.5	22.9
合計	157	77	28	16	15	21



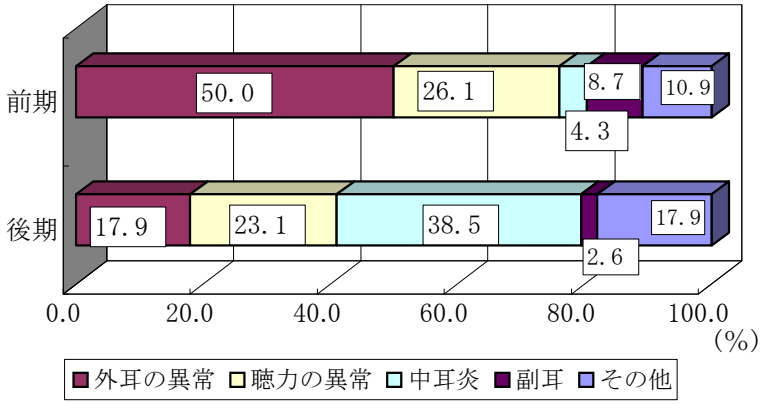
⑤＜眼＞

内訳		斜視	眼脂	白色瞳孔	視反応異常	眼瞼下垂	鼻涙管狭窄症	その他
前期	74	19	24	0	0	3	6	22
%	100.0	25.7	32.4	0.0	0.0	4.1	8.1	29.7
後期	59	28	8	1	1	1	0	20
%	100.0	47.5	13.5	1.7	1.7	1.7	0.0	33.9
合計	133	47	32	1	1	4	6	42



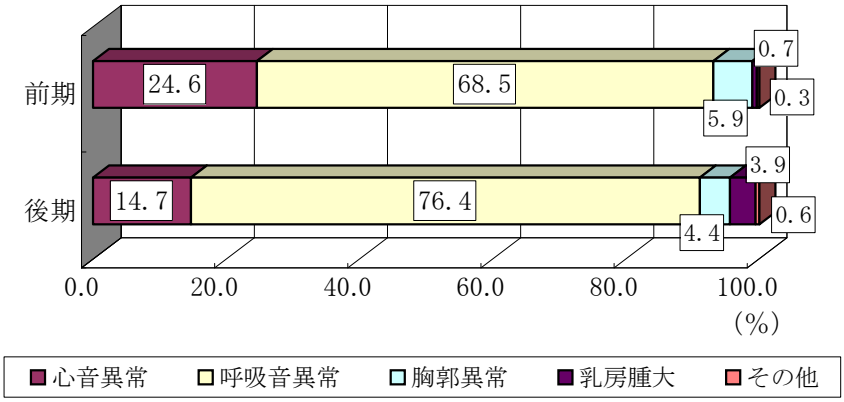
⑥＜耳鼻咽喉＞

内 訳		外耳の異常	聴力の異常	中耳炎	副耳	その他
前期	46	23	12	2	4	5
%	100.0	50.0	26.1	4.3	8.7	10.9
後期	39	7	9	15	1	7
%	100.0	17.9	23.1	38.5	2.6	17.9
合計	85	30	21	17	5	12



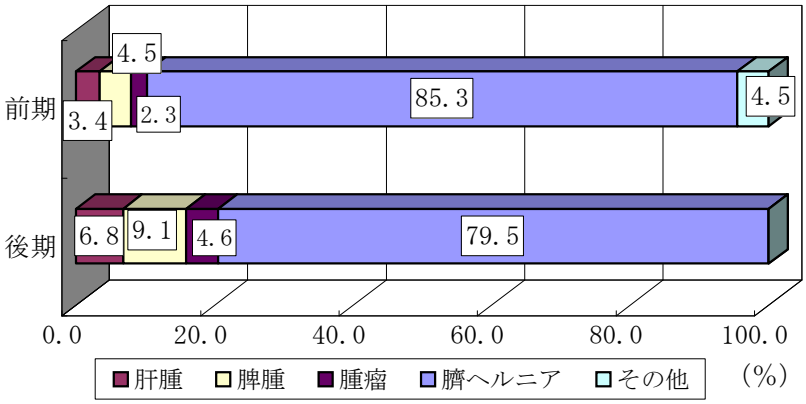
⑦＜胸部＞

内 訳		心音異常	呼吸音異常	胸郭異常	乳房腫大	その他
前期	289	71	198	17	2	1
%	100.0	24.6	68.5	5.9	0.7	0.3
後期	360	53	275	16	14	2
%	100.0	14.7	76.4	4.4	3.9	0.6
合計	649	124	473	33	16	3



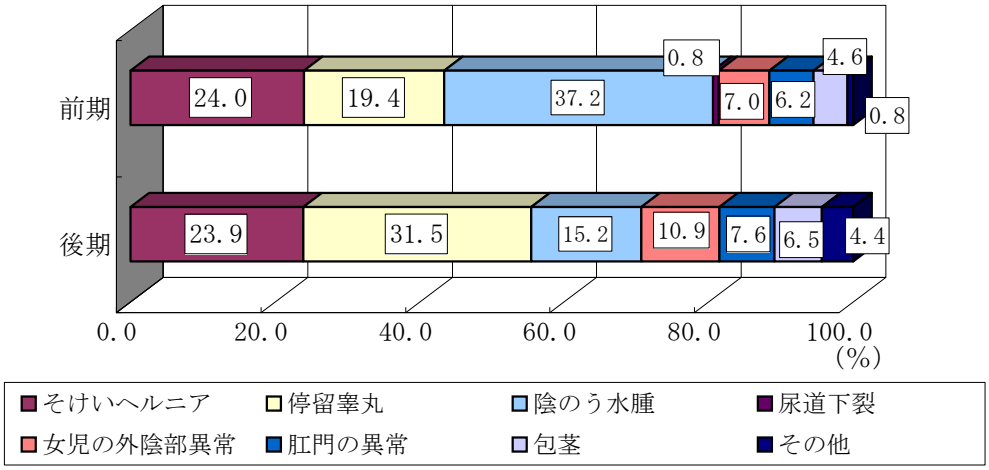
⑧＜腹部＞

内 訳		肝腫	脾腫	腫瘤	臍ヘルニア	その他
前期	88	3	4	2	75	4
%	100.0	3.4	4.5	2.3	85.3	4.5
後期	44	3	4	2	35	0
%	100.0	6.8	9.1	4.6	79.5	0.0
合計	132	6	8	4	110	4



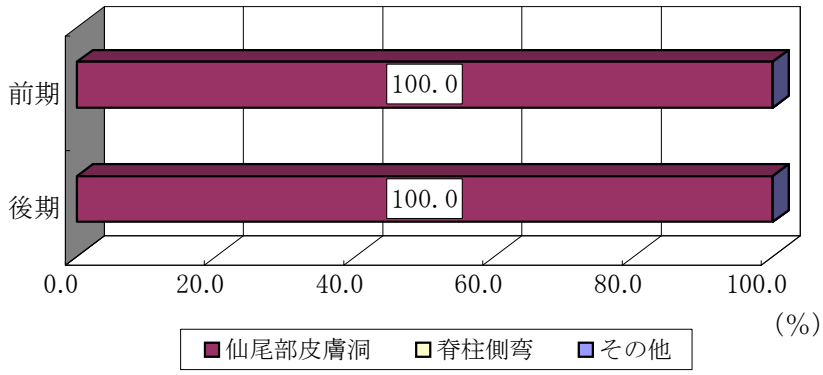
⑨＜そけい外陰部＞

内 訳		そけい ヘルニア	停留睾丸	陰のう 水腫	尿道下裂	女児の 外陰部異常	肛門の 異常	包茎	その他
前期	129	31	25	48	1	9	8	6	1
%	100.0	24.0	19.4	37.2	0.8	7.0	6.2	4.6	0.8
後期	92	22	29	14	0	10	7	6	4
%	100.0	23.9	31.5	15.2	0.0	10.9	7.6	6.5	4.4
合計	221	53	54	62	1	19	15	12	5



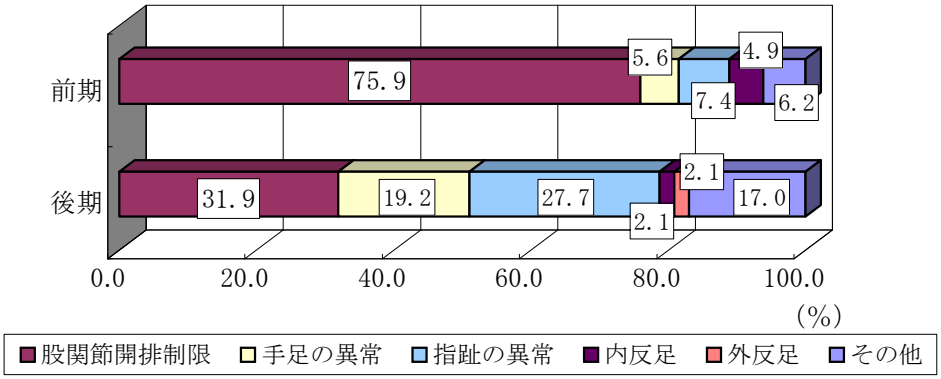
⑩＜背部＞

内 訳		仙尾部 皮膚洞
前期	10	10
%	100.0	100.0
後期	10	10
%	100.0	100.0
合計	20	20



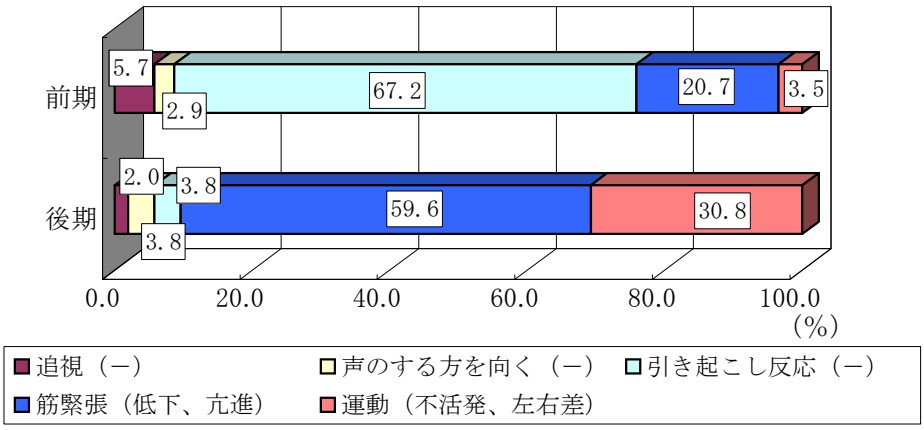
⑪＜四肢＞

内 訳		股関節開排制限	手足の異常	指趾の異常	内反足	外反足	その他
前期	162	123	9	12	8	0	10
%	100.0	75.9	5.6	7.4	4.9	0.0	6.2
後期	47	15	9	13	1	1	8
%	100.0	31.9	19.2	27.7	2.1	2.1	17.0
合計	209	138	18	25	9	1	18



⑫＜発達・神経＞

内 訳		追視（－）	声のする方を向く（－）	引き起こし反応（－）	筋緊張（低下、亢進）	運動（不活発、左右差）
前期	174	10	5	117	36	6
%	100.0	5.7	2.9	67.2	20.7	3.5
後期	104	2	4	4	62	32
%	100.0	2.0	3.8	3.8	59.6	30.8
合計	278	12	9	121	98	38



9　総合判定（ＩＣＤ－１０分類）

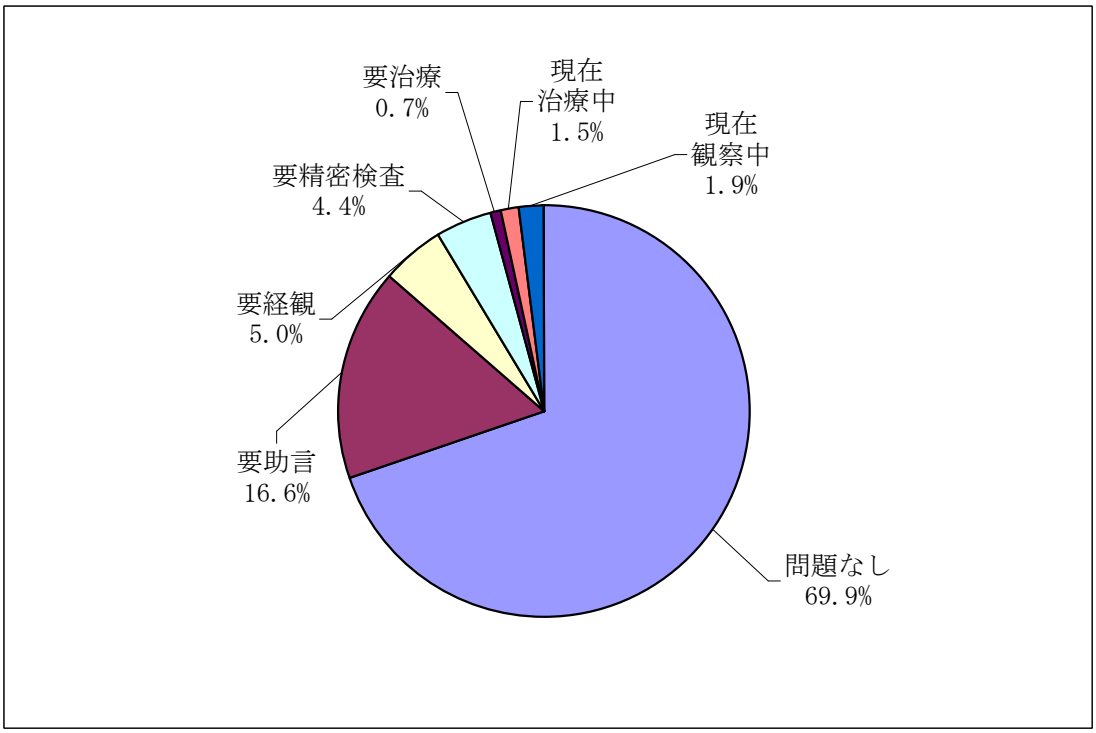
受診総数２８，４３８人、うち問題なし児２０，６４０人、判定結果問題ありの児が７，７９８人となっている。

判定延べ件数は、問題なし２０，６４０件と、何らかの問題ありの８，５７５件とで、２９，２１５件となっている。

延べ件数内訳は、複数の記入がある場合、同項目内においては件数にカウントされていない。

項目内の複数記入すべてを含め再度判定結果を分類した。

合　計			問題なし	判定結果						
				要助言	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中	小計
受診者数		28,438	20,640	4,178	1,304	1,208	190	410	508	7,798
%		100.0	72.6	14.7	4.6	4.2	0.7	1.4	1.8	
判定	延べ件数	29,215	20,640	4,832	1,398	1,208	196	420	521	8,575
	前期	15,080	11,157	2,121	640	562	96	199	305	3,923
	後期	14,478	9,483	2,788	845	740	111	249	262	4,995
	再分類件数	29,558	20,640	4,909	1,485	1,302	207	448	567	8,918
	%	100.0	69.9	16.6	5.0	4.4	0.7	1.5	1.9	

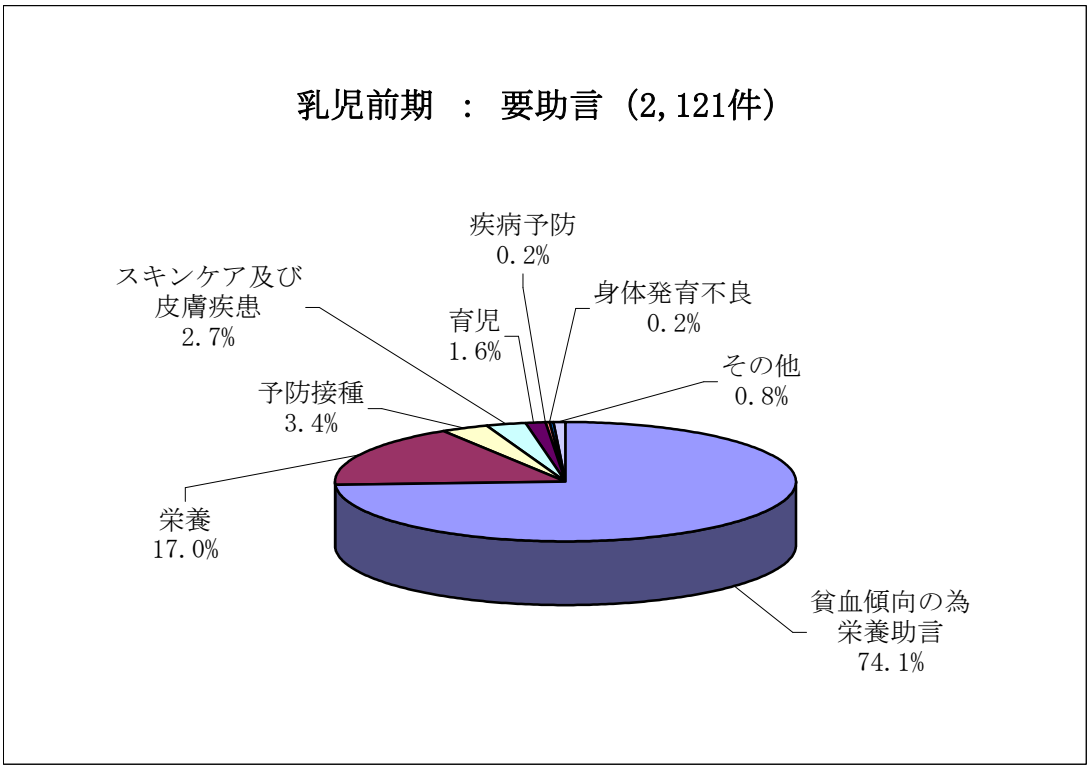


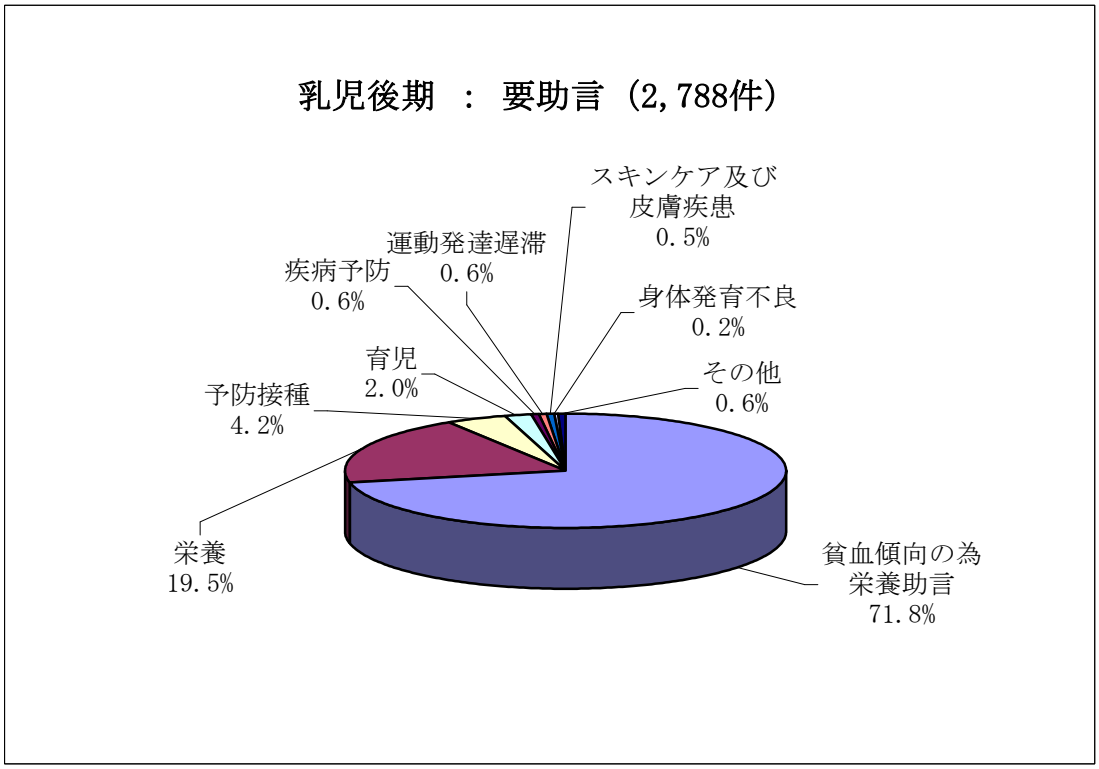
（参照）統計資料 №. 2、4

（参照）年次資料 №. 10

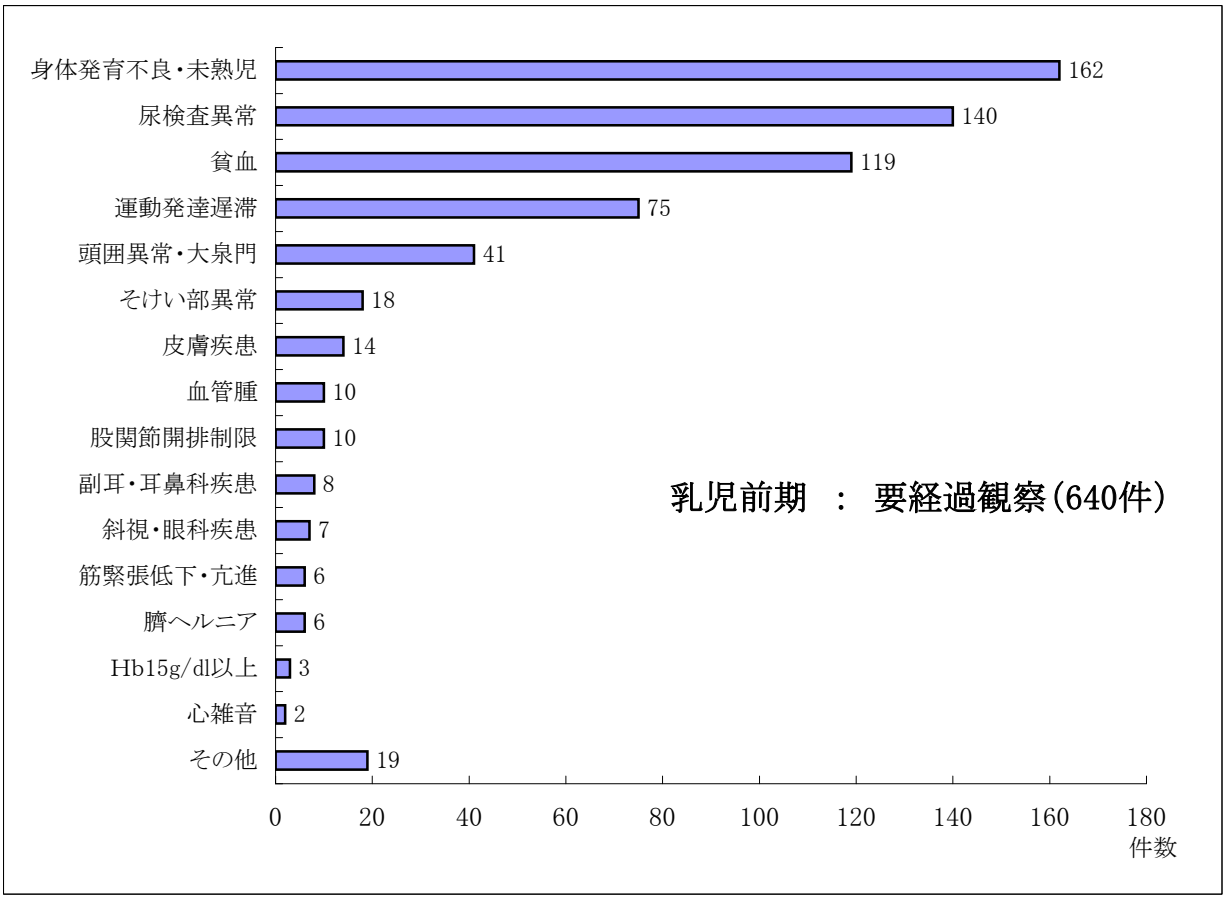
9－1　要助言について

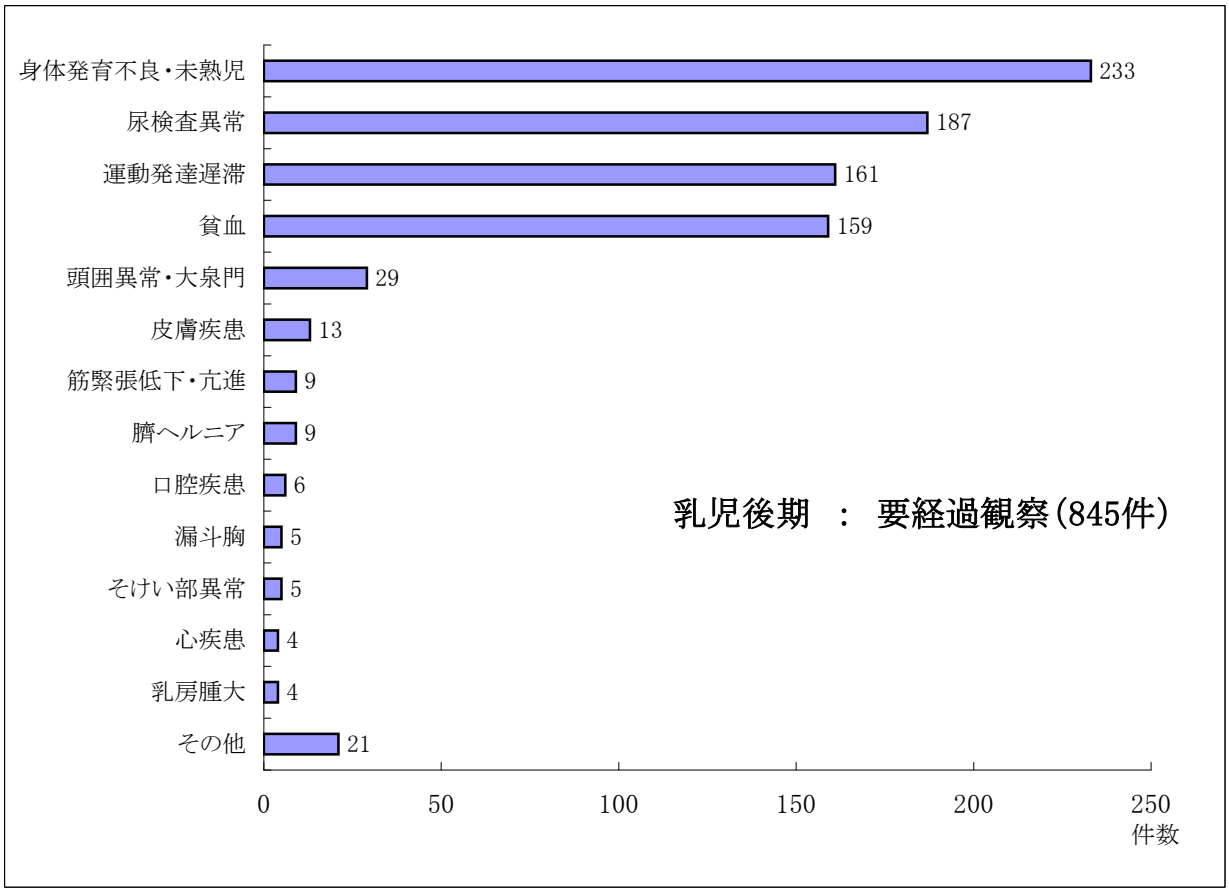
要助言の項目において、複数の判定記入があり、それも含め分類した。



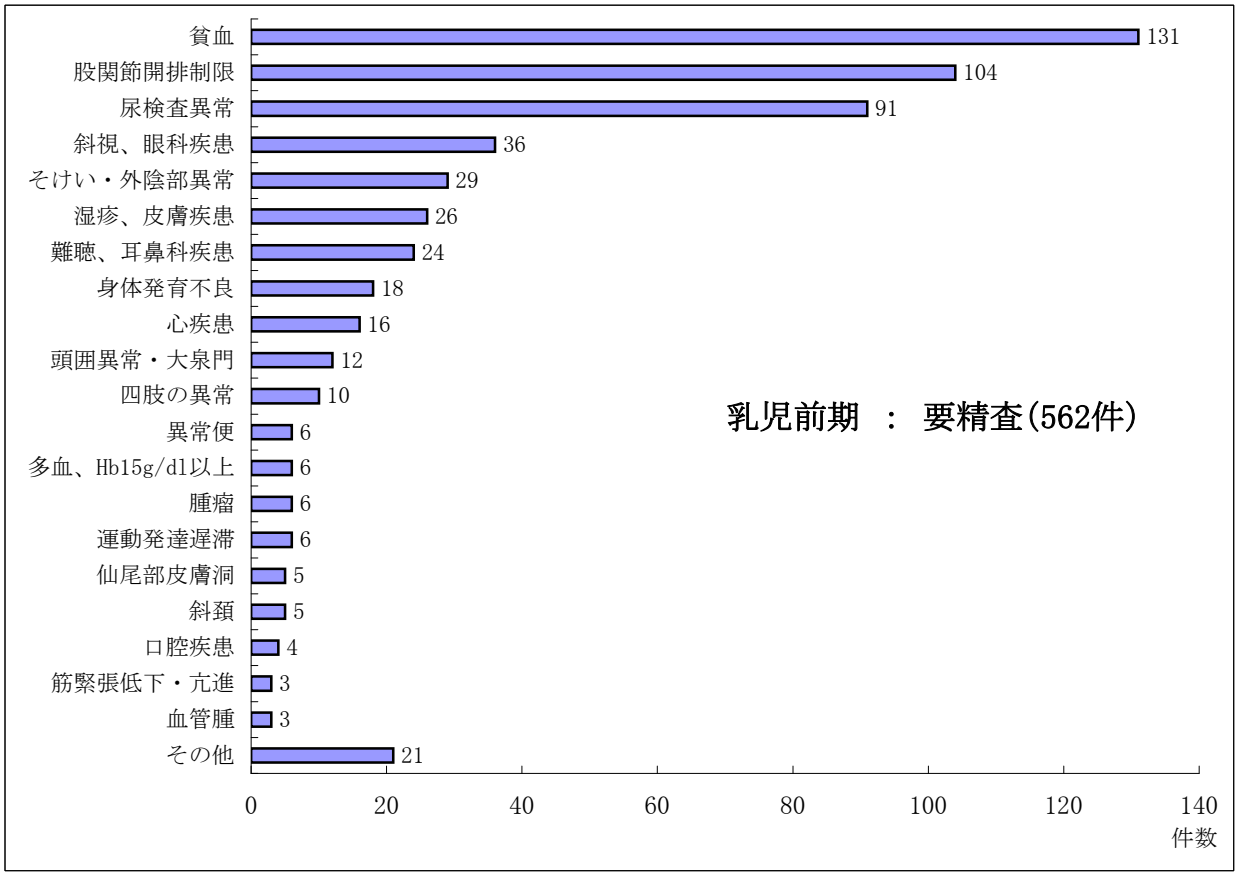


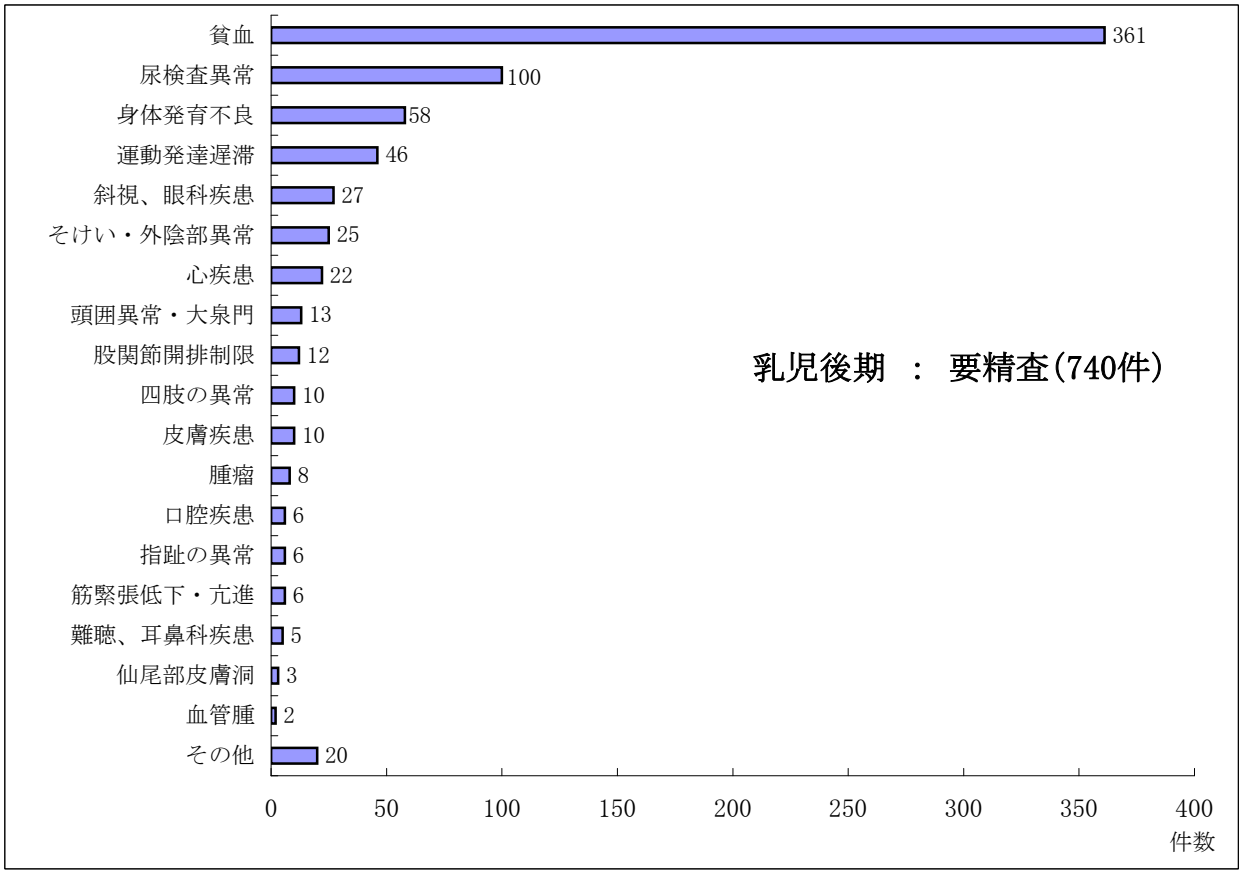
9－2　要経過観察について





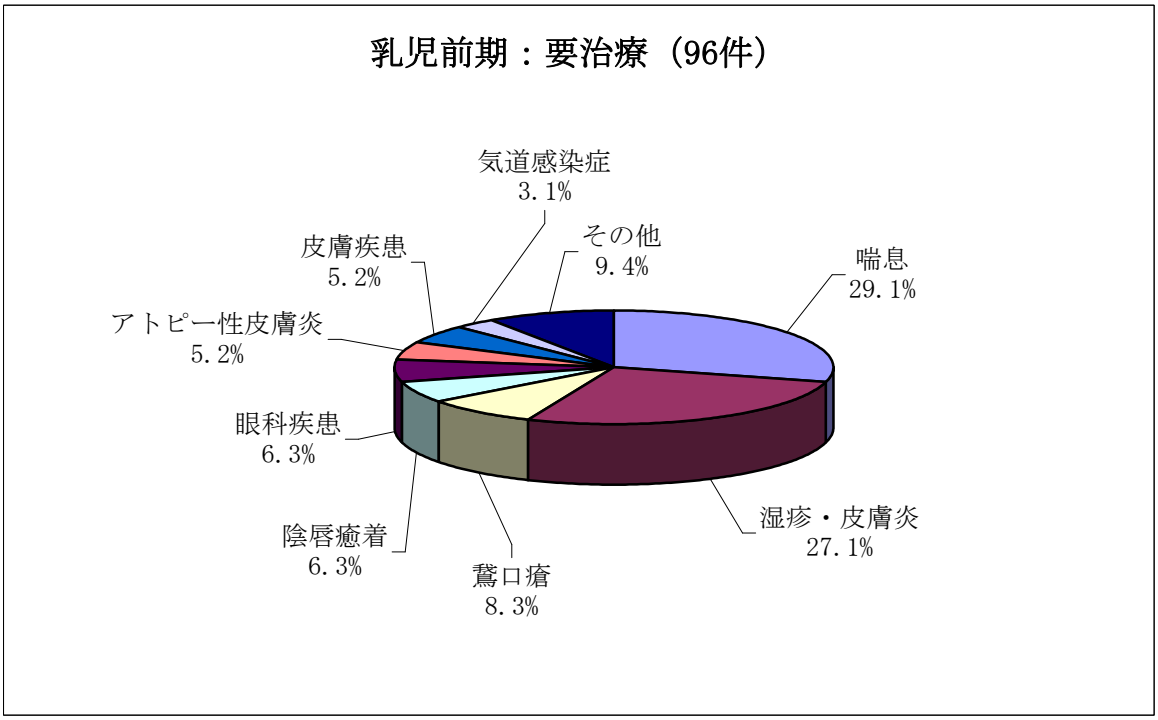
9－3　要精密検査について

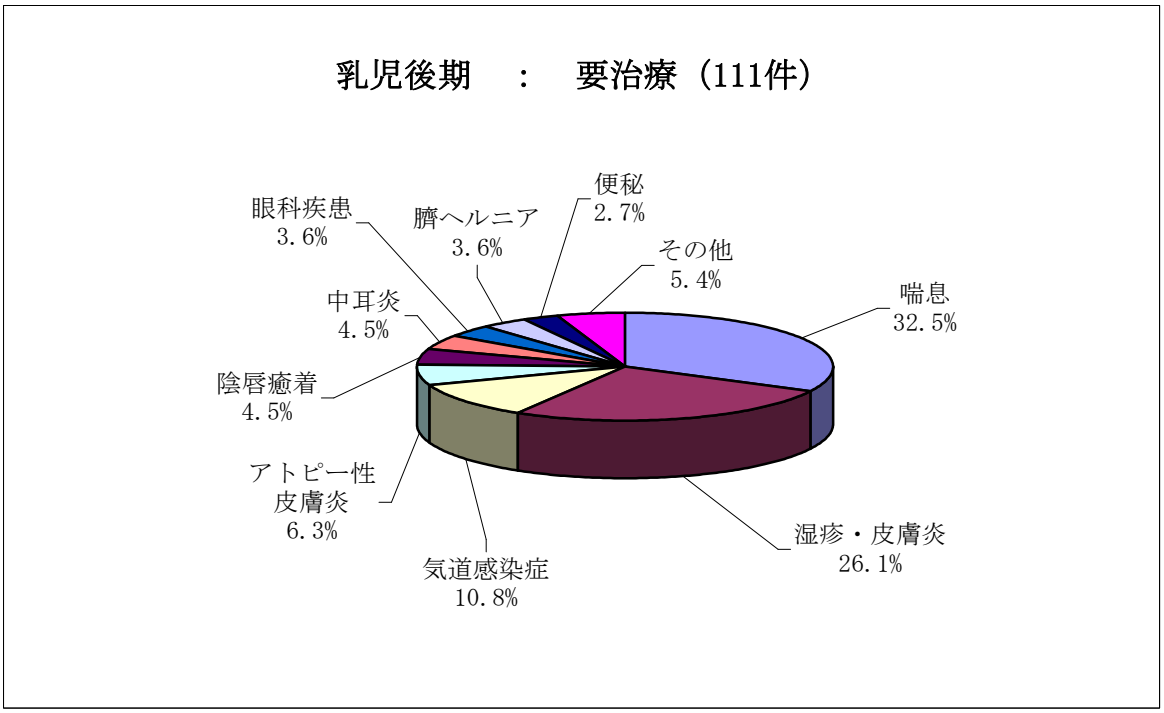




注）その他に含まれる判定内容は、統計資料№. 5を参照

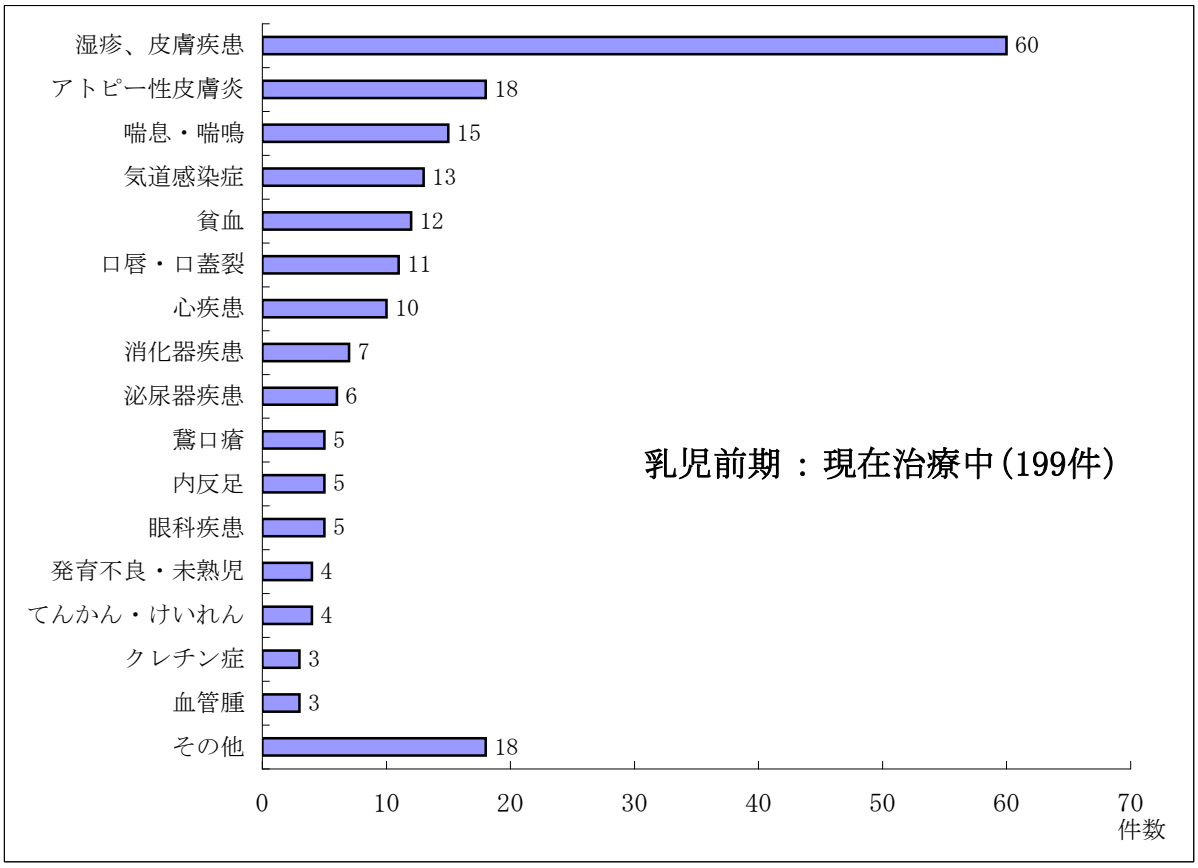
9－4　要治療について

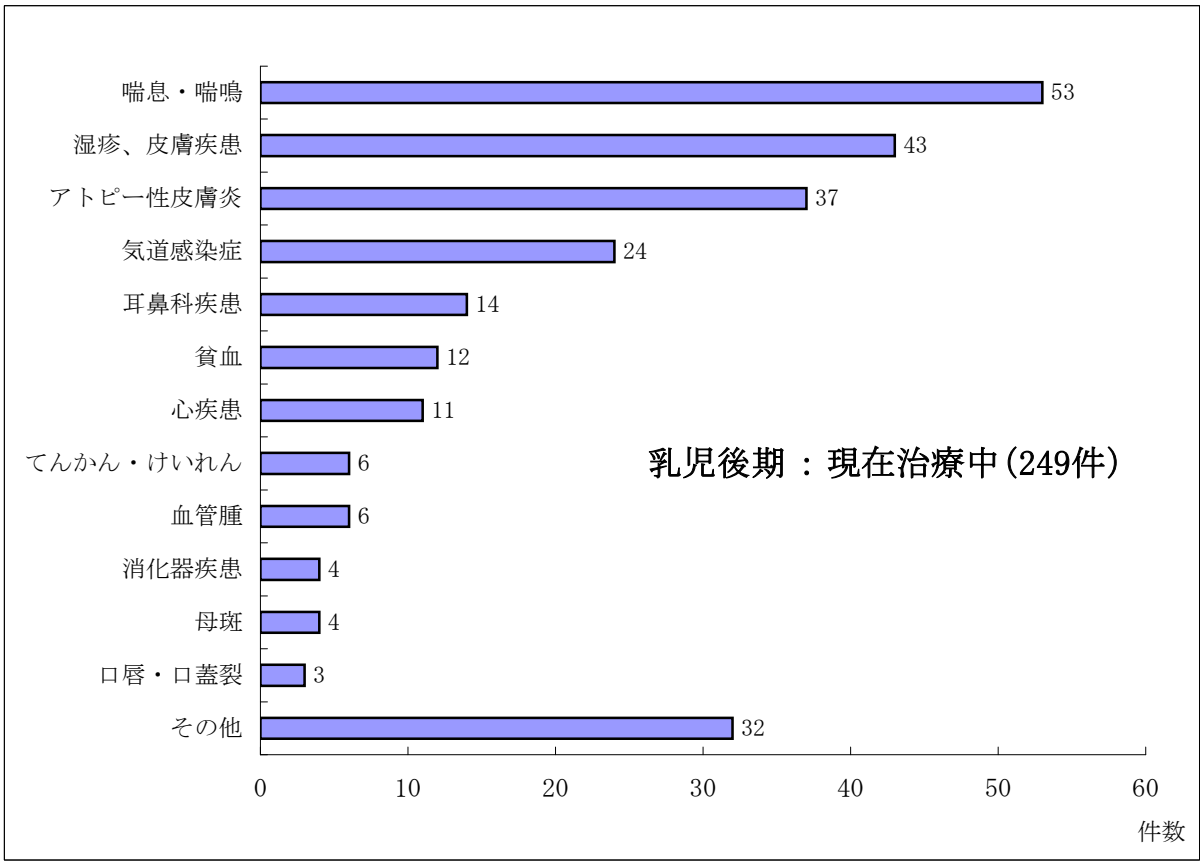




注）その他に含まれる判定内容は、統計資料№. 5を参照

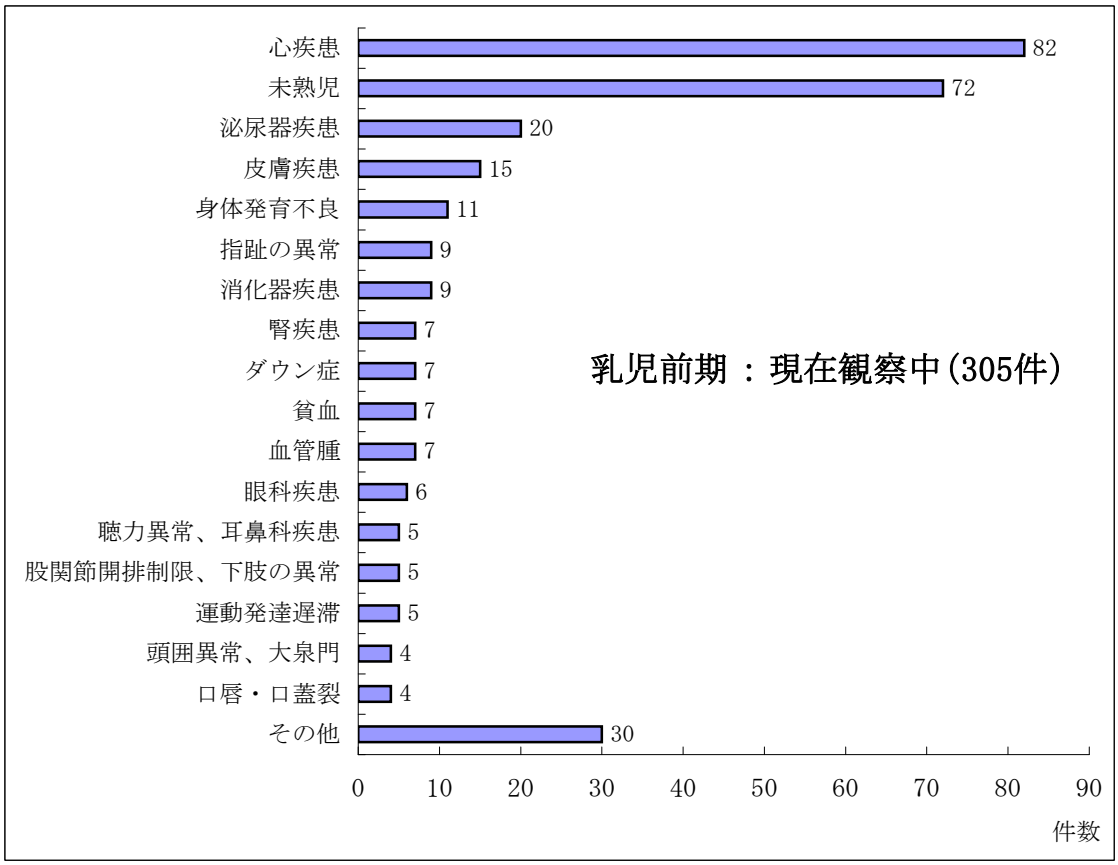
9－5　現在治療中について

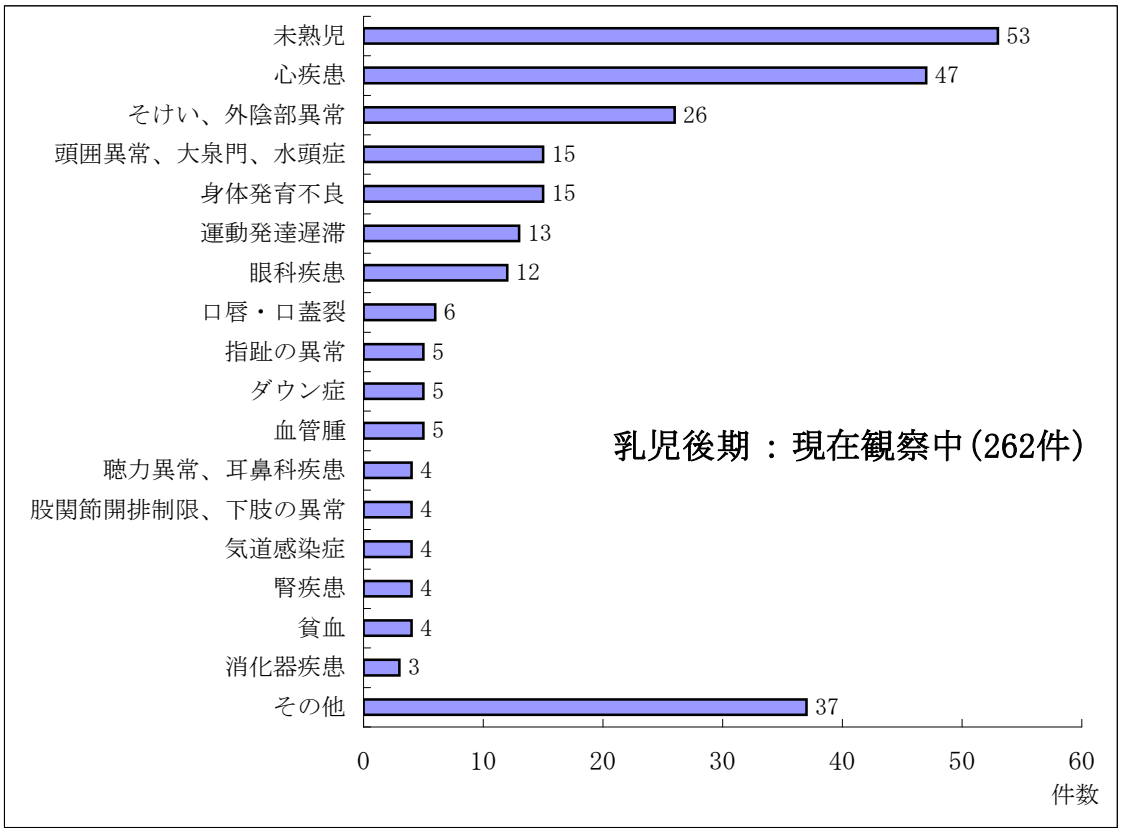




注）その他に含まれる判定内容は、統計資料№. 5を参照

9－6　現在観察中について





注）その他に含まれる判定内容は、統計資料№. 5を参照

〈　１歳６か月児健康診査の部　〉

Ⅰ　一般健診の部

１　実施状況

１歳６か月児健康診査を実施した２６市町村で、平成１８年４月１日から平成１９年３月３１日までに、３，８６９人の児が受診した。それに情報処理業務受託１１市町村の受診件数、８，１７７件を加えた１２，０４６件の健康診査結果についてまとめた。

地区	健康診査の受託２６市町村	情報処理の受託１１市町村
北部	国頭村　大宜味村　東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	
中部	恩納村　宜野座村　うるま市　嘉手納町	金武町　沖縄市　読谷村　北谷町 北中城村　中城村　宜野湾市
那覇 南部	久米島町　渡嘉敷村　座間味村　粟国村　渡名喜村 南大東村　北大東村　糸満市　南城市	那覇市　浦添市　与那原町　南風原町
宮古	宮古島市　多良間村	
八重山	石垣市　竹富町　与那国町	

（参照）統計資料№. 15

２　受診状況

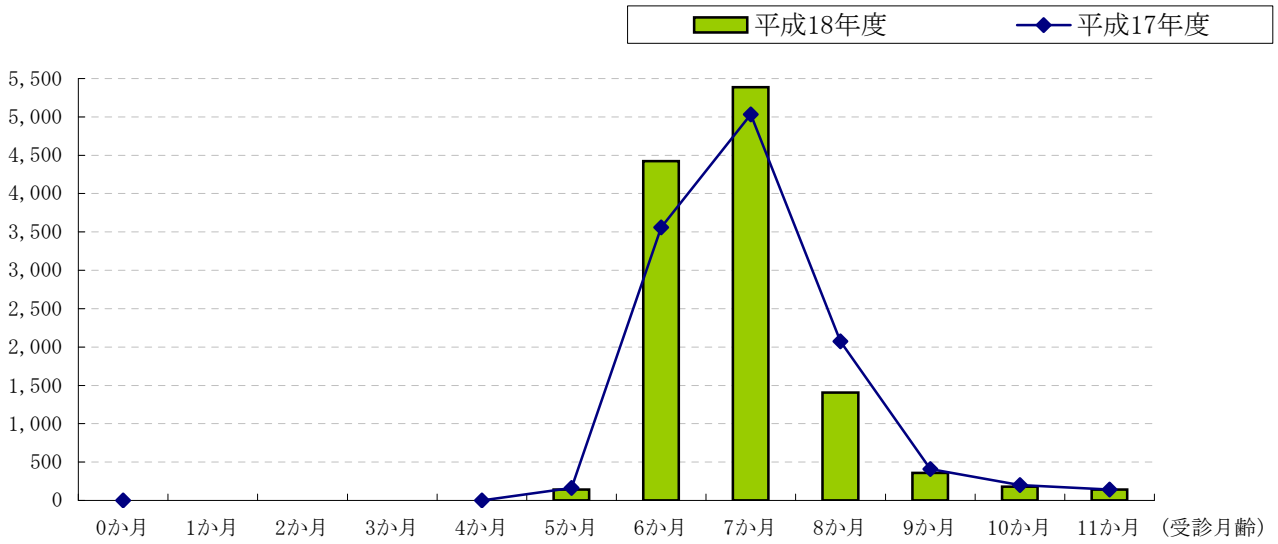
受診月齢をみると、１歳６か月～１歳８か月児の間に９３．１％の児が受診している。

１歳６か月以前に受診した児は１．２％で、これは離島市町村や子どもの少ない町村が、望ましい月齢に健診を設定できなかった理由によるものである。

（参照）統計資料№. 20　年次資料№. 1、11

１歳６か月児健康診査受診状況　　単位：人

月齢	１歳												
	0か月	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	合計
男	－	－	－	－	1	59	2,253	2,814	729	180	102	79	6,217
女	－	－	－	－	1	83	2,171	2,575	678	179	79	63	5,829
合計	－	－	－	－	2	142	4,424	5,389	1,407	359	181	142	12,046
%	1.2						93.1			5.7			



平成１８年度　１歳６か月児健康診査受診率

（参照）統計資料№. 15　年次資料№. 11

３　健診同伴者

１歳６か月児健康診査における児の同伴者について、母の同伴があったもの１１，０４７件（９３．１％）である。父の同伴があったもの１，６９４件（１４．３％）となっている。

（参照）年次資料№. 15

１歳６か月児の健診同伴者

単位：人

	母	父	祖父母	その他	集計対象数	記入もれ	受診総数
件数	11,047	1,694	604	224	11,860	186	12,046
集計対象数にしめる割合（%）	93.1	14.3	5.1	1.9	－	－	－

同伴内訳	母	父	祖父母	その他	記入もれ	計
母	**9,361**	1,175	339	172		11,047
父	1,175	**497**	17	5		1,694
父　兄弟姉妹	25					25
父　祖父母	6					6
祖父母	339	17	**239**	9		604
祖父母　兄弟姉妹	4					4
祖父母　おじおば	1					1
兄弟姉妹	92	5		1		98
おじ　おば等	27		8	25		60
兄　いとこ	3		1			4
友人	3					3
保育士	1			1		2
施設職員等				3		3
その他	10			8		18
記入もれ					186	186
総計	11,047	1,694	604	224	186	13,755

※複数の同伴者あり

４　育児環境

４－１　保育状況

保育者の状況を昼間と夜間に分けてみると、昼間の保育所等の集団保育が５０．４％（H17年度49.4%）、母親が４５．１％（H17年度45.9%）となっている。夜間は母親が９７．４％、父親が０．９％、祖父母が０．８％となっている。

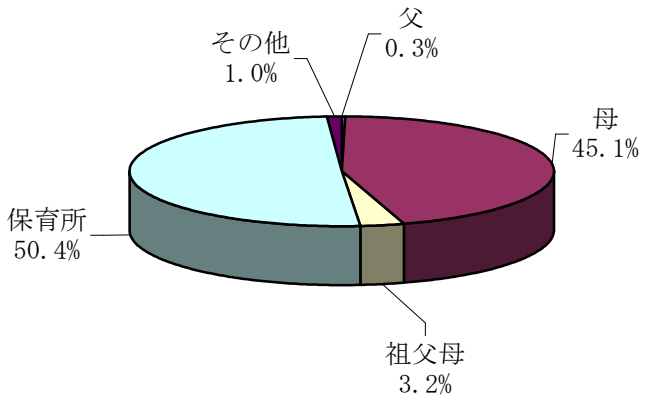
（参照）統計資料№. 24　年次資料№. 16

１歳６か月児の主な保育者

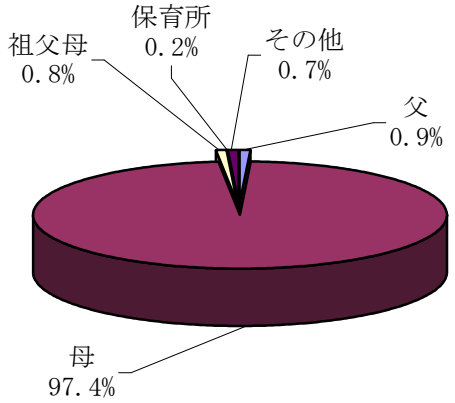
単位：人

	父	母	祖父母	保育所	その他	小計	記入もれ	合計
昼間	31	5,426	383	6,071	121	12,032	14	12,046
%	0.3	45.1	3.2	50.4	1.0	100.0	－	－
夜間	108	11,478	98	23	85	11,792	254	12,046
%	0.9	97.4	0.8	0.2	0.7	100.0	－	－

昼間



夜間



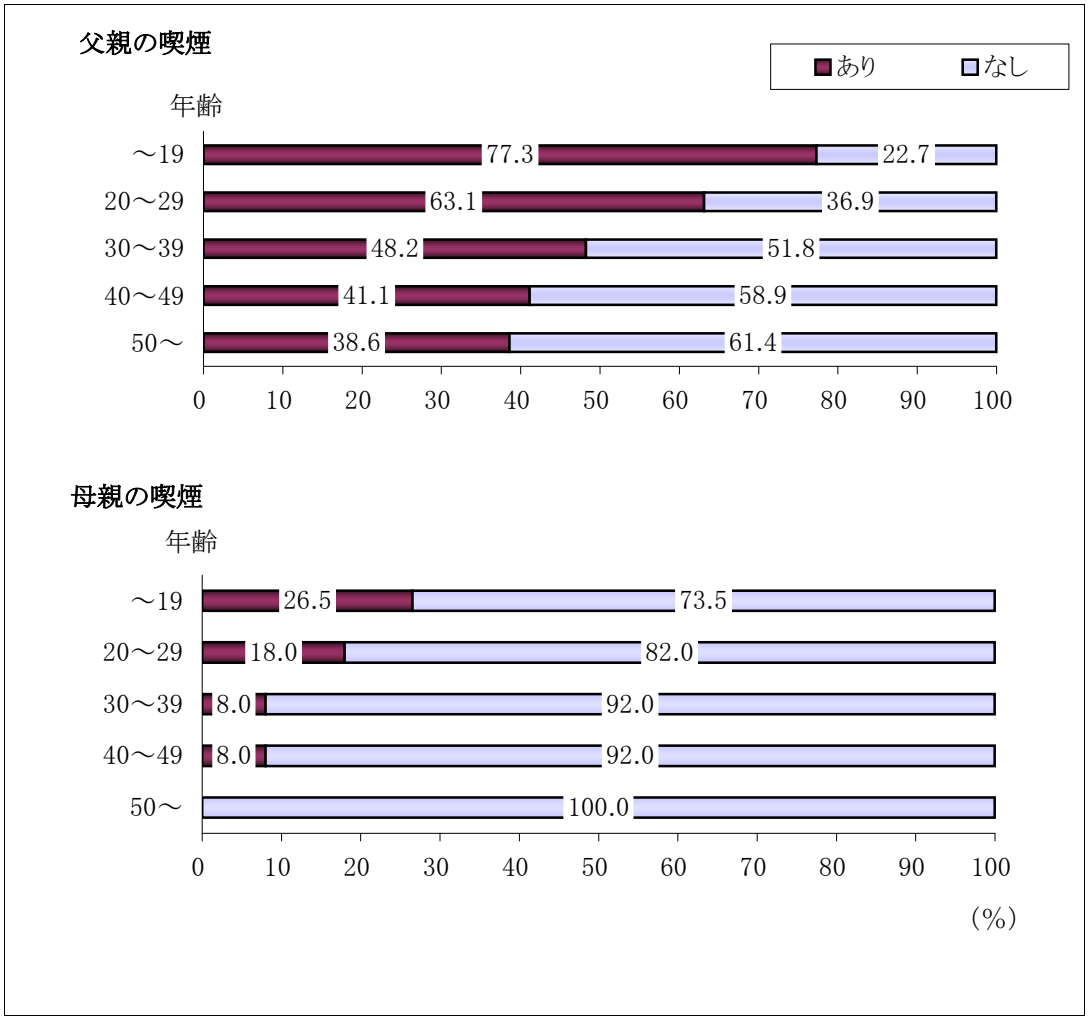
４－２　両親の喫煙

両親の喫煙率については、父親５１．３％（H17年度53.6%）、母親１１．７％（H17年度12.9%）となっている。

（参照）統計資料№. 25　年次資料№. 17

１歳６か月児の両親の喫煙　　単位：人

年齢	父親の喫煙				母親の喫煙			
	あり	なし	記入もれ	総計	あり	なし	記入もれ	総計
～19	17	5	－	22	26	72	2	100
20～29	2,020	1,181	22	3,223	765	3,495	54	4,314
30～39	3,095	3,322	32	6,449	540	6,227	89	6,856
40～49	629	900	12	1,541	53	611	18	682
50～	66	105	2	173	－	1	－	1
小計	5,827	5,513	68	11,408	1,384	10,406	163	11,953
%	51.3	48.7	－	－	11.7	88.3	－	－
記入もれ	37	64	537	638	9	59	25	93
総計	5,864	5,577	605	12,046	1,393	10,465	188	12,046



※　喫煙率は、記入もれを除いて算出

４－３　子育てについて

○育児不安の有無と子育ての楽しさとの関係

育児に不安がないと回答した人は、あると回答した人より子育ての楽しさを感じている割合が２７．７ポイント高くなっている。

（参照）統計資料№. 26～27　年次資料№. 18

育児に不安	回答者数	子育ては（記入もれ除く）		
		計	楽しい、楽しい・大変の両方	どちらとも言えない・大変
ある	2,413	2,402	1,202	1,200
	%	100.0	50.0	50.0
ある・ないの両方	57	57	37	20
	%	100.0	64.9	35.1
ない	9,367	9,330	7,249	2,081
	%	100.0	77.7	22.3

○育児不安の有無と育児疲れとの関係

育児に不安があると回答した人は、ないと回答した人より育児の疲れの割合が高く特に精神的疲れの方が高いことがわかる。

育児に不安	回答者数	育児は疲れが多い（記入もれ除く）				
		計	肉体的	肉体的・精神的の両方	精神的	いいえ
ある	2,413	2,361	870	559	540	392
	%	100.0	36.8	23.7	22.9	16.6
ある・ないの両方	57	56	23	18	6	9
	%	100.0	41.1	32.1	10.7	16.1
ない	9,367	9,212	3,659	539	602	4,412
	%	100.0	39.7	5.9	6.5	47.9

○身近な相談者の有無と子育ての楽しさとの関係

身近に相談者がいると回答した人は、いないと回答した人より子育ての楽しさを感じている割合が２６．８ポイント高くなっている。

身近に相談者	回答者数	子育ては（記入もれ除く）		
		計	楽しい、楽しい・大変の両方	どちらとも言えない・大変
いる	11,411	11,359	8,288	3,071
	%	100.0	73.0	27.0
いない	510	509	235	274
	%	100.0	46.2	53.8

※身近に相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

○身近な相談者の有無と育児不安との関係

身近に相談者がいると回答した人は、いないと回答した人より子育てに不安を感じている割合が２２．１ポイント低くなっている。

身近に相談者	回答者数	育児に不安（記入もれ除く）			
		計	ある	ある・ないの両方	ない
いる	11,411	11,259	2,191	51	9,017
	%	100.0	19.5	0.4	80.1
いない	510	502	209	5	288
	%	100.0	41.6	1.0	57.4

※身近に相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

（参照）統計資料№. 26～27　年次資料№. 18

○育児不安の有無と育児疲れ、子育ての楽しさについて

子育てについて、育児に不安があるかないかを基に、育児の疲れと子育ての楽しさを分類した。

育児に不安	育児は疲れが多い	回答数	計	子育ては（記入もれ除く）			
				楽しい	楽しい・大変の両方	どちらともいえない	大変
ある	肉体的	870	867	352	133	156	226
	肉体的・精神的の両方	559	555	72	149	103	231
	精神的	540	540	123	60	147	210
	いいえ	392	388	244	38	62	44
	記入もれ	52	52	24	7	15	6
	小計	2,413	2,402	815	387	483	717
	%	20.0	100.0	33.9	16.1	20.1	29.9
ある・ないの両方	肉体的	23	23	5	12	4	2
	肉体的・精神的の両方	18	18	1	8	5	4
	精神的	6	6	2	2	1	1
	いいえ	9	9	3	3	2	1
	記入もれ	1	1	−	1	−	−
	小計	57	57	11	26	12	8
	%	0.5	100.0	19.3	45.6	21.1	14.0
ない	肉体的	3,659	3,646	2,211	450	362	623
	肉体的・精神的の両方	539	534	157	133	93	151
	精神的	602	602	226	60	126	190
	いいえ	4,412	4,401	3,677	227	298	199
	記入もれ	155	147	98	10	26	13
	小計	9,367	9,330	6,369	880	905	1,176
	%	77.8	100.0	68.3	9.4	9.7	12.6
記入もれ	肉体的	82	80	31	19	15	15
	肉体的・精神的の両方	17	17	−	5	5	7
	精神的	19	17	2	4	3	8
	いいえ	23	23	12	5	6	−
	記入もれ	68	40	20	3	12	5
	小計	209	177	65	36	41	35
	%	1.7	100.0	36.7	20.3	23.2	19.8
合計		12,046	11,966	7,260	1,329	1,441	1,936
%		100.0	%	60.7	11.1	12.0	16.2

（参照）統計資料№. 26～27

○身近な相談者の有無と子育て支援センターの認知、子育ての楽しさについて

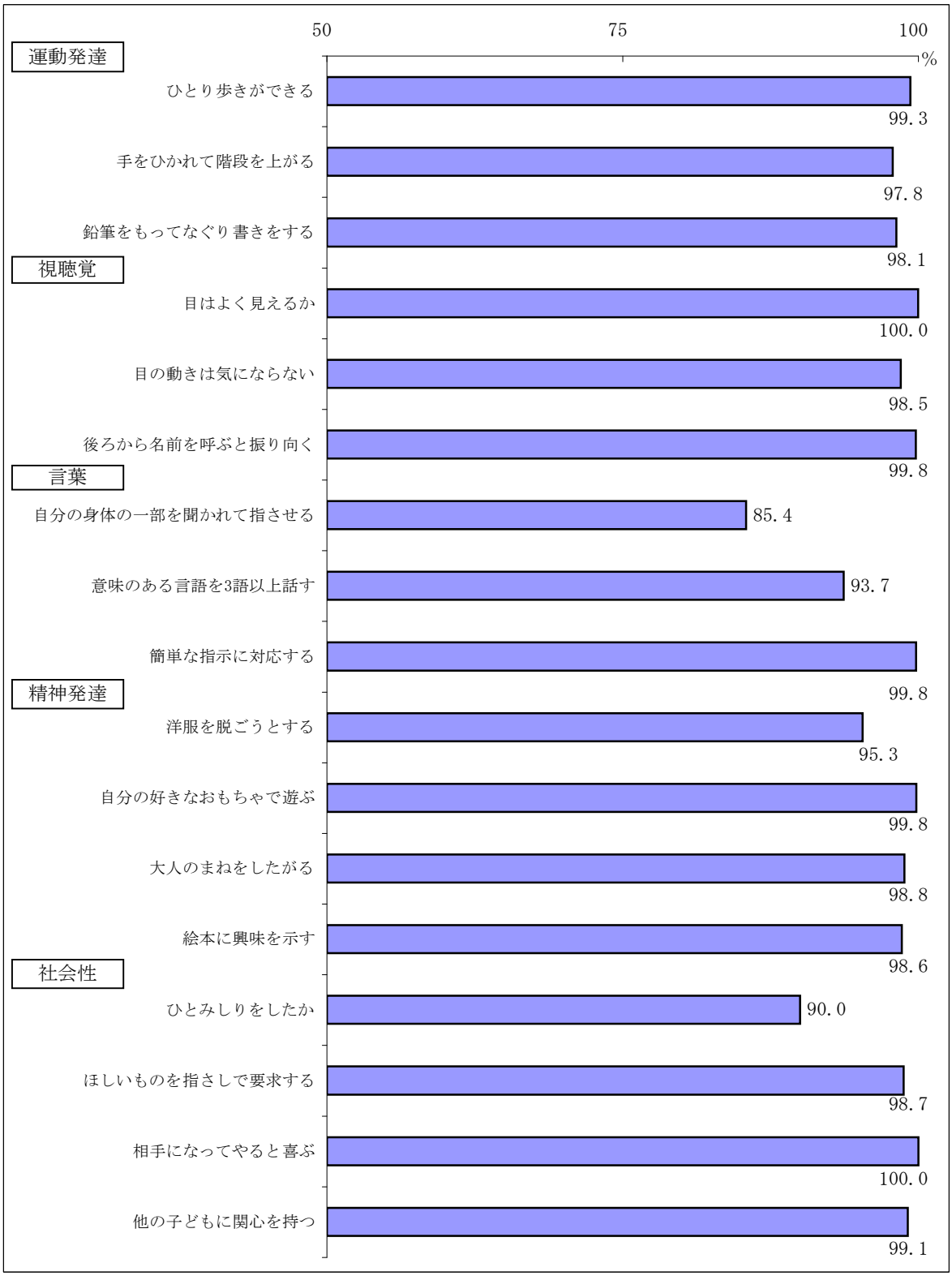
子育てについて、身近に相談者がいるかいないかを基に、子育て支援センターを知っているかと、子育ては楽しいかについて分類した。

身近に相談者	子育て支援センターを知っている	回答数	計	子育ては（記入もれ除く）			
				楽しい	楽しい・大変の両方	どちらともいえない	大変
いる	はい	10,088	10,048	6,288	1,121	1,136	1,503
	いいえ	1,250	1,242	697	137	169	239
	記入もれ	73	69	37	8	7	17
	小計	11,411	11,359	7,022	1,266	1,312	1,759
	%	94.7	100.0	61.8	11.1	11.6	15.5
いない	はい	377	376	132	44	81	119
	いいえ	129	129	41	16	29	43
	記入もれ	4	4	2	-	2	-
	小計	510	509	175	60	112	162
	%	4.2	100.0	34.4	11.8	22.0	31.8
記入もれ	はい	26	25	9	3	3	10
	いいえ	4	3	1	-	1	1
	記入もれ	95	70	53	-	13	4
	小計	125	98	63	3	17	15
	%	1.1	100.0	64.3	3.1	17.3	15.3
合計		12,046	11,966	7,260	1,329	1,441	1,936
%		100.0	%	60.7	11.1	12.0	16.2

※身近に相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた　　（参照）統計資料№. 26～27

5　運動・発達について

下の図は、１歳６か月児の運動･発達の通過率である。対象は、健康診査受診時の月齢が１歳６か月児と７か月児(受診総数の８１．５％)とし、発達に関する問診に対し、回答が「はい」の割合である。　（参照）統計資料№. 28～34



６　生活習慣について

１歳６か月児健康診査受診時（１２，０４６人）の生活習慣について集計した。

（参照）統計資料№. 35～38　年次資料№. 37

単位：人

食事やおやつの時間は規則正しい	はい	いいえ	小計	記入もれ	総計
	8,860	3,032	11,892	154	12,046
(%)	74.5	25.5	100.0	－	－

単位：人

食欲は	ある	普通	少ない	小計	記入もれ	総計
	8,412	2,898	691	12,001	45	12,046
(%)	70.1	24.1	5.8	100.0	－	－

単位：人

食事は	楽しそう	いやいや食べる	小計	記入もれ	総計
	11,340	479	11,819	227	12,046
(%)	95.9	4.1	100.0	－	－

＊２項目選択　単位：人

よく飲んでいる飲みもの	牛乳･ミルク	ｼﾞｭｰｽ類	イオン飲料	その他	回答者数	総計
	8,144	3,148	1,068	5,972	11,959	12,046
(%)	68.1	26.3	8.9	49.9	－	－

単位：人

ミルクを飲んでいる	はい	いいえ	小計	記入もれ	総計
	6,283	5,608	11,891	155	12,046
(%)	52.8	47.2	100.0	－	－

単位：人

哺乳びん	使用する	使用しない	小計	記入もれ	総計
	4,773	7,216	11,989	57	12,046
(%)	39.8	60.2	100.0	－	－

単位：人

水をコップで飲める	はい	いいえ	小計	記入もれ	総計
	11,751	266	12,017	29	12,046
(%)	97.8	2.2	100.0	－	－

単位：人

さじを使って食事ができる	はい	いいえ	小計	記入もれ	総計
	10,620	1,291	11,911	135	12,046
(%)	89.2	10.8	100.0	－	－

単位：人

歯みがきをしている	毎日	時々	してない	小計	記入もれ	総計
	7,111	4,572	325	12,008	38	12,046
(%)	59.2	38.1	2.7	100.0	－	－

単位：人

チャイルドシートを使用している	はい	いいえ	小計	記入もれ	総計
	11,051	855	11,906	140	12,046
(%)	92.8	7.2	100.0	－	－

７　予防接種の状況

ＢＣＧの接種状況（１歳６か月児）

	人数	割合（%）
接種	11,668	96.9
未接種	329	2.7
記入もれ	49	0.4
計	12,046	100.0

ポリオの接種状況（１歳６か月児）

	人数	割合（%）
２回接種	7,908	65.6
１回接種	3,244	26.9
未接種	766	6.4
記入もれ	128	1.1
計	12,046	100.0

ＤＰＴ１期の接種状況（１歳６か月児）			追加接種	
	人数	割合（%）	人数	割合（%）
３回接種	9,262	76.9	550	5.9
２回接種	1,009	8.4	57	5.6
１回接種	747	6.2		
未接種	875	7.2		
記入もれ	153	1.3		
計	12,046	100.0	607	－

注）追加接種

３回終了の追加は第１期３回終了後、６か月以上の間隔をおいて実施

２回終了の追加は第１期２回終了後、３回目を接種せずに実施

（参照）統計資料№. 39～40

麻疹の接種状況（１歳６か月児）

	人数	割合（%）
接種	10,685	88.7
未接種	1,204	10.0
罹患	9	0.1
接種と罹患	6	0.0
記入もれ	142	1.2
計	12,046	100.0

風疹の接種状況（１歳６か月児）

	人数	割合（%）
接種	9,771	81.1
未接種	1,948	16.2
罹患	16	0.1
接種と罹患	8	0.1
記入もれ	303	2.5
計	12,046	100.0

（参照）統計資料№. 41　年次資料№. 19～20

８　健診結果の異常内訳

平成１８年度の１歳６か月児健康診査の受診は１２，０４６人となっている。うち、問題なし児９，３４５人、異常等あり児が２，７０１人で、検査結果異常児７０８件、診察有所見児２，００２件で、のべ２，７１０件となっている。異常等について分類したのを以下に表す。

（参照）統計資料№. 15

（異常等の内訳）

合計	（１）検査 検査結果の異常	（２）診察 有所見(延べ)
2,710	708	2,002

＊うち実人員　2,701人

（１）検査結果の異常

小計	尿検査	貧血検査
708	88	620

＊尿蛋白、潜血の項目で＋以上、
尿糖の項目で±以上の実人員

（２）有所見（延べ件数）　（有所見内訳）

小計	発育	皮膚	頭頚部	顔面・口腔
2,002	463	469	76	29

（有所見内訳）

眼	耳鼻咽喉	胸部	腹部
84	146	339	29

（有所見内訳）

そけい外陰部	背部	四肢	神経・運動
74	6	71	57

（有所見内訳）

精神発達	その他
159	－

８－１　検査結果の異常

①尿検査結果

尿検査結果の異常は、尿蛋白・潜血（＋以上）と糖（±以上）の合計で９０件となるが、実人数は８８人である。

受診児の約３６．０％が未検査となっている。

尿蛋白	人数	割合（%）
－	7,583	63.0
±	100	0.8
＋以上	21	0.2
未検査	4,342	36.0
合計	12,046	100.0

尿潜血	人数	割合（%）
－	7,452	61.8
±	191	1.6
＋以上	60	0.5
未検査	4,343	36.1
合計	12,046	100.0

尿糖	人数	割合（%）
－	7,696	63.9
±	6	0.1
＋以上	3	0.0
未検査	4,341	36.0
合計	12,046	100.0

②貧血検査結果

貧血検査においては、要精査は８７人、栄養助言の必要な児５３３人、計６２０人がフォローされている。未検査は２，７３７人となっている。

（参照）統計資料№. 18～19

	要精査 9.9ｇ/ｄｌ以下	栄養助言 10.0～10.9ｇ/ｄｌ以下	正常 11.0ｇ/ｄｌ以上	未検査	計
男	40	265	4,473	1,439	6,217
女	47	268	4,216	1,298	5,829
計	87	533	8,689	2,737	12,046
%	0.7	4.5	72.1	22.7	100.0

８－２　診察による有所見（診察所見について）

有所見の内訳

受診総数１２，０４６人のうち問題なし児が９，３４５人、　診察有所見２，００２件と複数記入もカウントし、同部位内については件数にカウントされていない。

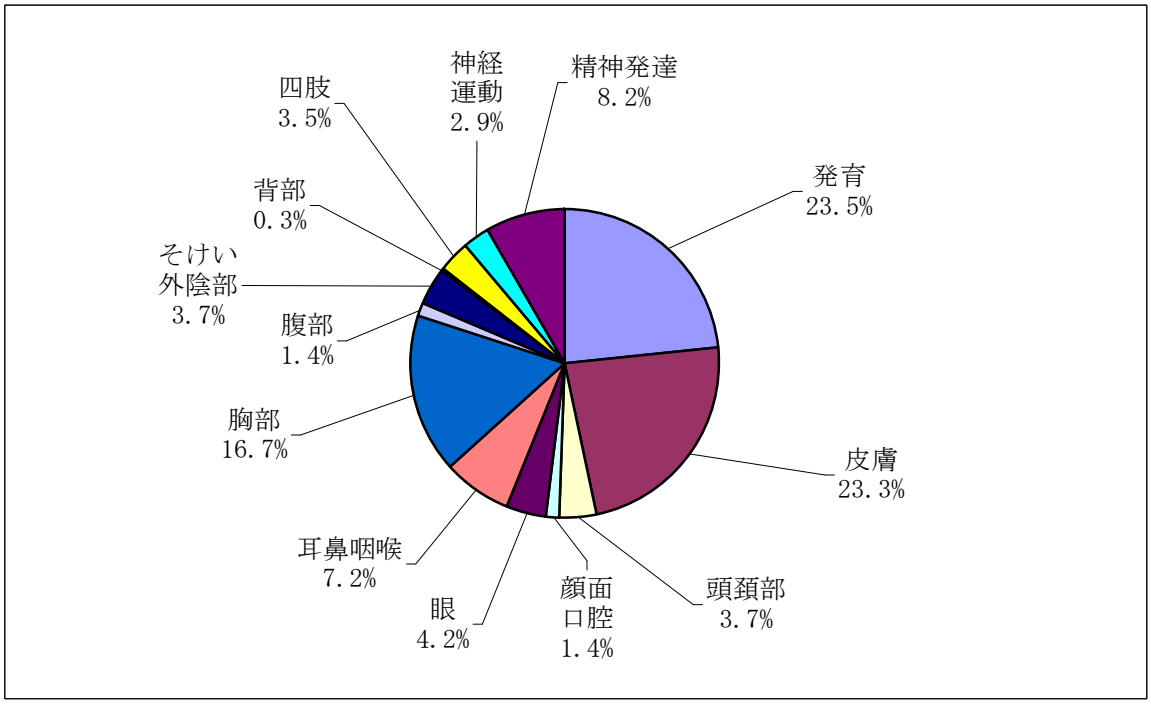
有所見を部位別に、また部位内の複数の記入すべてを含めて再分類したものの内訳である。

単位：件

	合計	発育	皮膚	頭頚部	顔面 口腔	眼	耳鼻咽喉
件数	2,002	463	469	76	29	84	146
再分類件数	2,057	483	479	77	29	87	147
%	100.0	23.5	23.3	3.7	1.4	4.2	7.2

	胸部	腹部	そけい 外陰部	背部	四肢	神経 運動	精神発達
件数	339	29	74	6	71	57	159
再分類件数	344	29	77	6	71	59	169
%	16.7	1.4	3.7	0.3	3.5	2.9	8.2

注）部位内複数記入含め分類



（参照）統計資料№. 15

①＜発育＞

単位：件

合計 (%)	低身長	やせ	肥満	その他
483	380	82	19	2
100.0	78.7	17.0	3.9	0.4

②＜皮膚＞

単位：件

合計 (%)	湿疹	アトピー性 皮膚炎	皮膚炎	血管腫	母斑	伝染性 軟属腫	伝染性 膿痂疹	その他
479	137	131	38	37	24	28	26	58
100.0	28.7	27.3	7.9	7.8	5.0	5.8	5.4	12.1

③＜頭頚部＞

単位：件

合計 (%)	大頭	小頭	大泉門 開大	リンパ節 腫大	その他
77	30	3	32	8	4
100.0	39.0	3.9	41.5	10.4	5.2

④＜顔面・口腔＞

単位：件

合計 (%)	舌小帯 短縮症	特徴ある 顔貌	口唇・ 口蓋裂	その他
29	5	3	5	16
100.0	17.2	10.4	17.2	55.2

⑤＜眼＞

単位：件

合計 (%)	斜視	視力の 異常	眼瞼下垂	羞明	視力 再検査	その他
87	46	6	7	3	1	24
100.0	52.9	6.9	8.0	3.5	1.1	27.6

⑥＜耳鼻咽喉＞

単位：件

合計 (%)	外耳の 異常	聴力障害	中耳炎	その他
147	9	4	117	17
100.0	6.1	2.7	79.6	11.6

⑦＜胸部＞

単位：件

合計 (%)	心音異常	呼吸音 異常	胸郭 異常	乳房腫大	その他
344	78	215	20	29	2
100.0	22.7	62.5	5.8	8.4	0.6

⑧＜腹部＞

単位：件

合計（%）	肝腫	脾腫	腫瘤	臍ヘルニア	その他
29	1	1	1	21	5
100.0	3.4	3.4	3.4	72.5	17.3

⑨＜そけい外陰部＞

単位：件

合計（%）	そけいヘルニア	停留睾丸	尿道下裂	女児の外陰部異常	陰のう水腫	その他
77	24	19	1	1	12	20
100.0	31.2	24.7	1.3	1.3	15.6	25.9

⑩＜背部＞

単位：件

合計（%）	脊柱側弯	その他
6	1	5
100.0	16.7	83.3

⑪＜四肢＞

単位：件

合計（%）	O脚	X脚	手足の異常	指趾の異常	内反足	外反足	その他
71	29	8	1	9	8	2	14
100.0	40.8	11.3	1.4	12.7	11.3	2.8	19.7

⑫＜神経・運動＞

単位：件

合計（%）	歩行の異常	巧緻動作の異常	麻痺	その他
59	41	2	4	12
100.0	69.5	3.4	6.8	20.3

⑬＜精神発達＞

単位：件

合計（%）	言葉	知能	多動	自閉傾向	その他
169	153	10	1	1	4
100.0	90.5	5.9	0.6	0.6	2.4

9　総合判定（ＩＣＤ-１０分類）

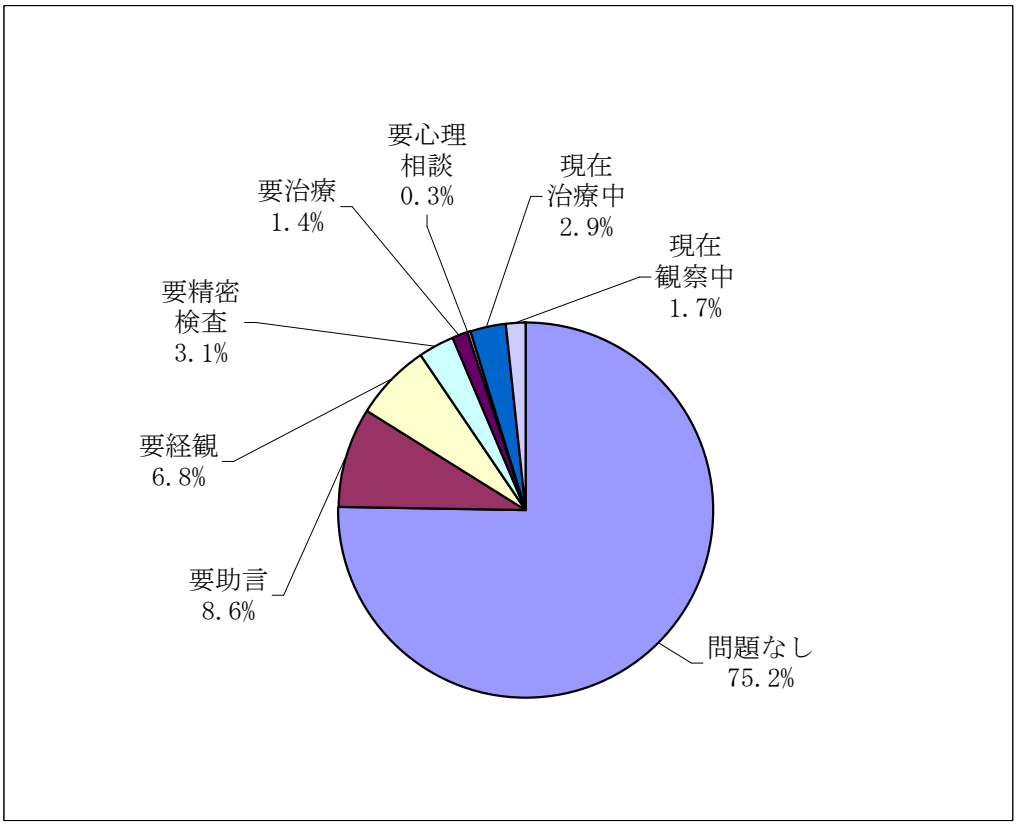
受診総数１２，０４６人、うち問題なし児が９，３４５人、判定結果問題ありの児が２，７０１人となっている。

判定延べ件数は、問題なし９，３４５件と、何らかの問題ありの２，９３３件とで、１２，２７８件となっている。

延べ件数内訳は複数記入がある場合、同項目内においては件数にカウントされていない。

項目内の複数記入のすべてを含め再度判定結果を分類した。

合計			問題なし	判定結果							小計
				要助言	要経観	要精密検査	要治療	要心理相談	現在治療中	現在観察中	
受診者数		12,046	9,345	874	756	366	152	31	324	198	2,701
%		100.0	77.6	7.2	6.3	3.0	1.3	0.3	2.7	1.6	
判定	延べ件数	12,278	9,345	1,030	810	366	158	38	329	202	2,933
	再分類件数	12,434	9,345	1,076	840	384	170	39	362	218	3,089
	%	100.0	75.2	8.6	6.8	3.1	1.4	0.3	2.9	1.7	

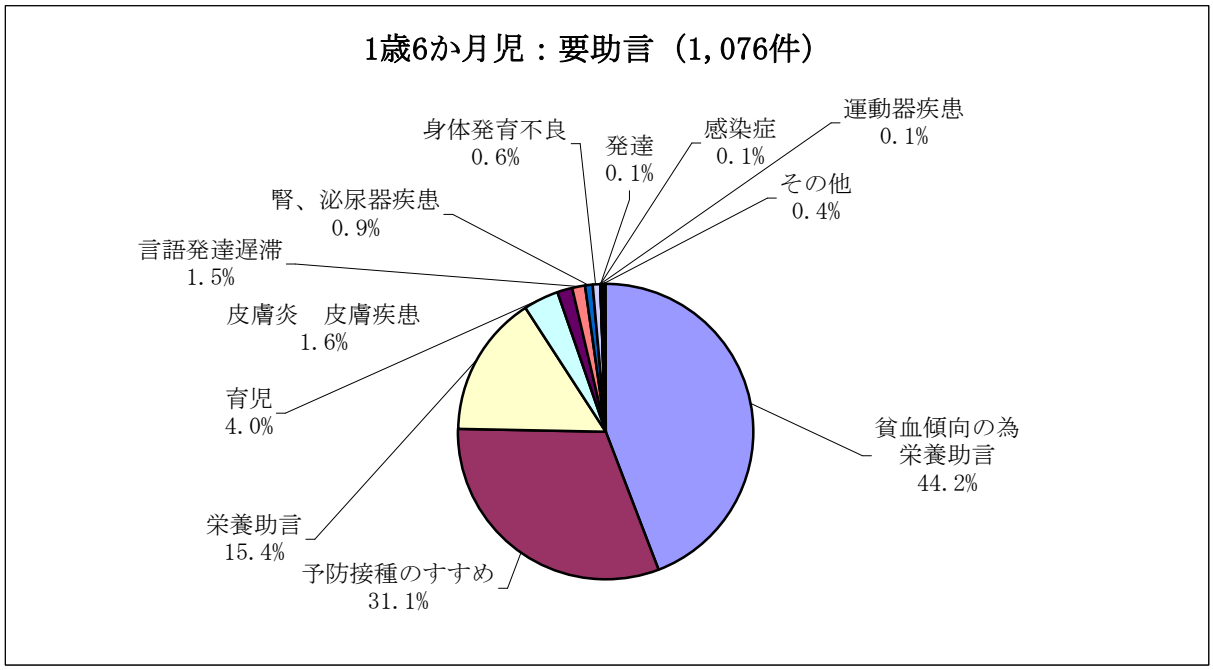


（参照）統計資料№. 15～16

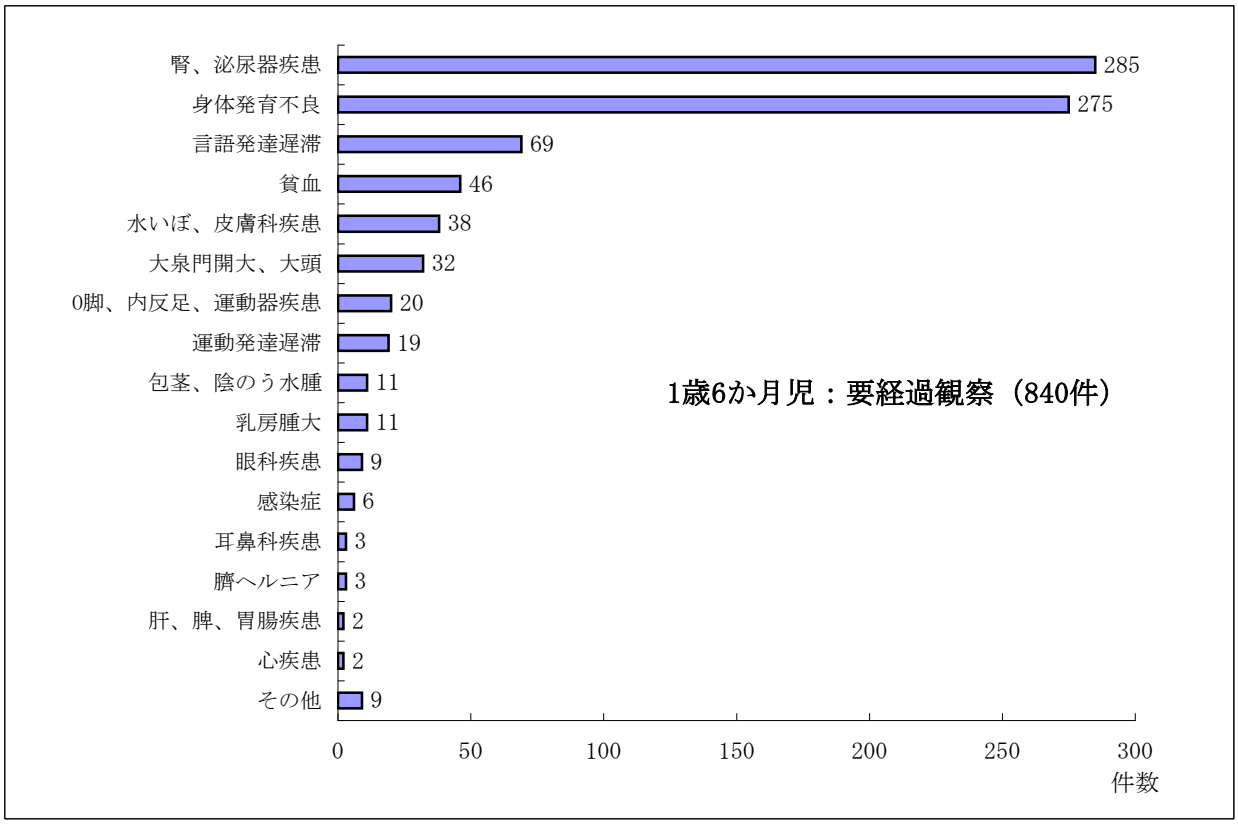
（参照）年次資料№. 12

９－１　要助言について

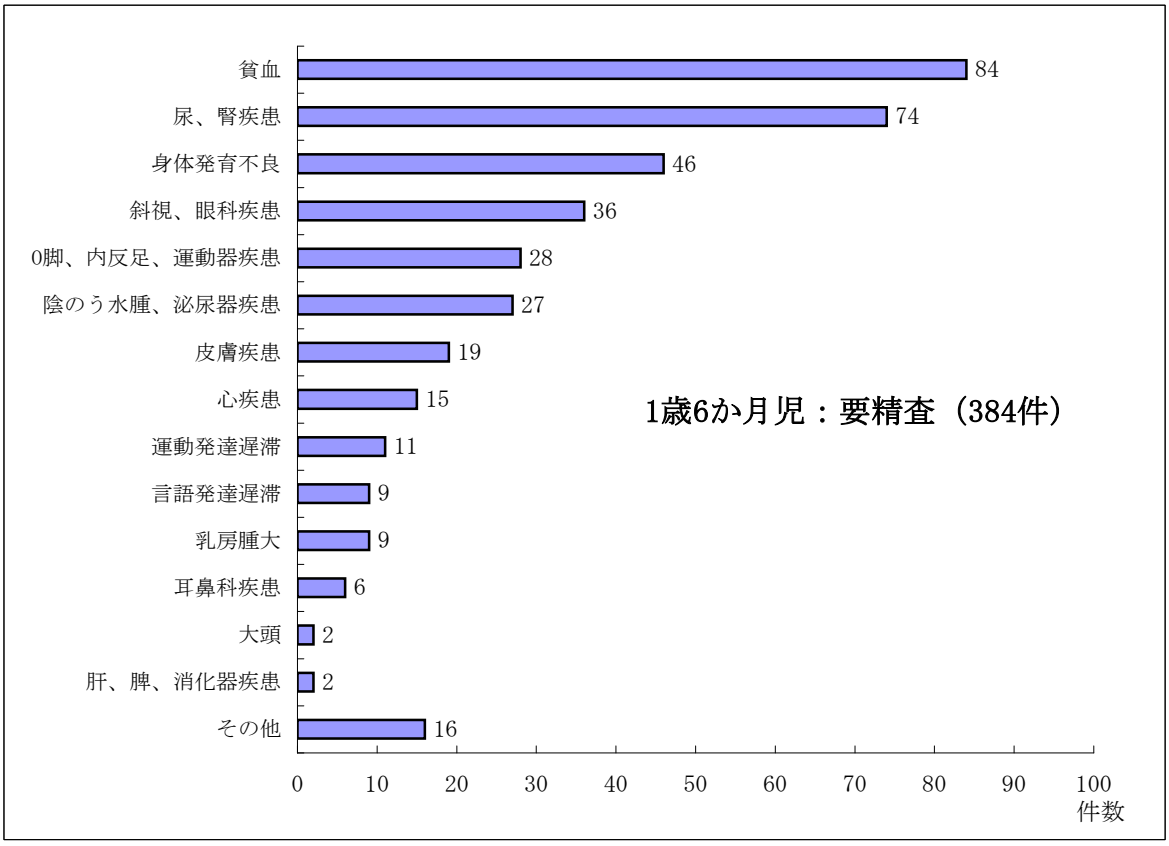
貧血傾向のための栄養助言が必要な児が４４．２％（H17年度52.9%）、予防接種のすすめ３１．１％（H17年度27.7%）となっている。



９－２　要経過観察について

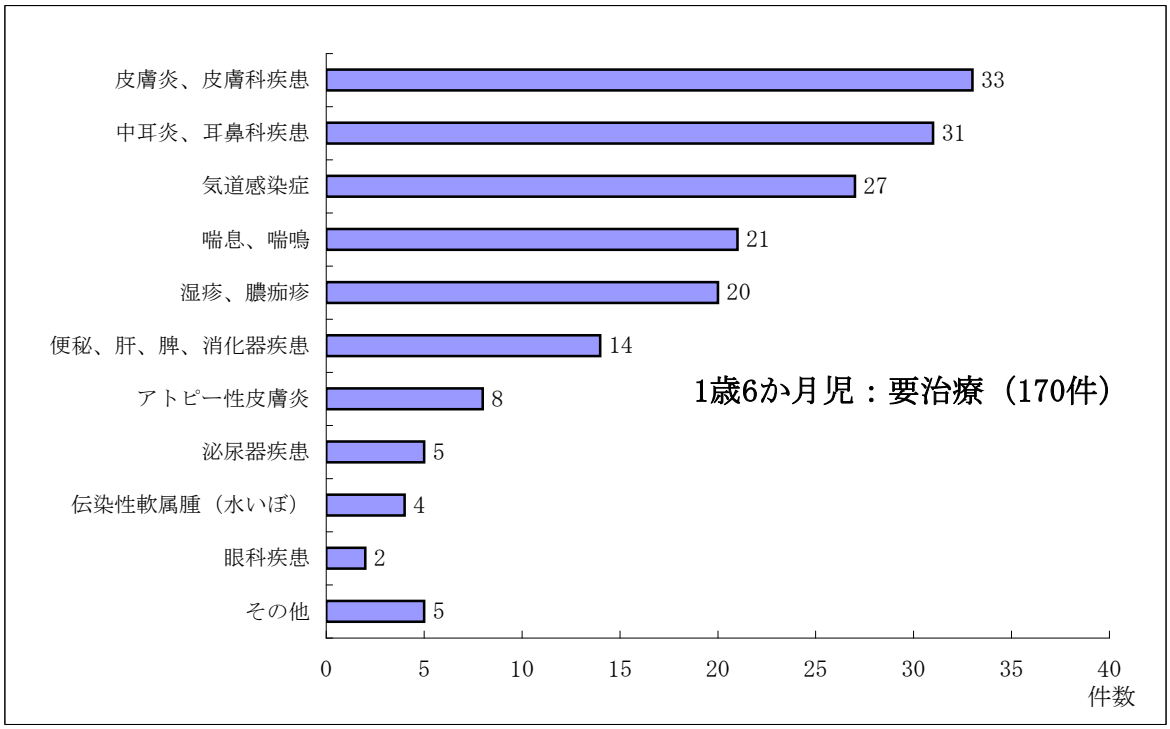


9－3　要精密検査について



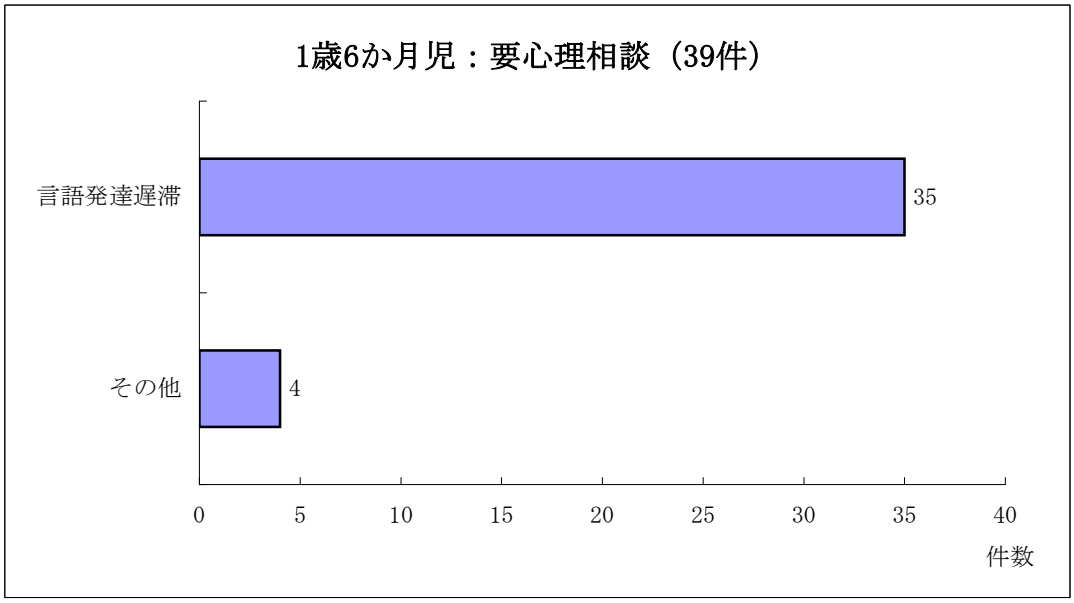
注）その他に含まれる判定内容は、統計資料№. 17を参照

9－4　要治療について

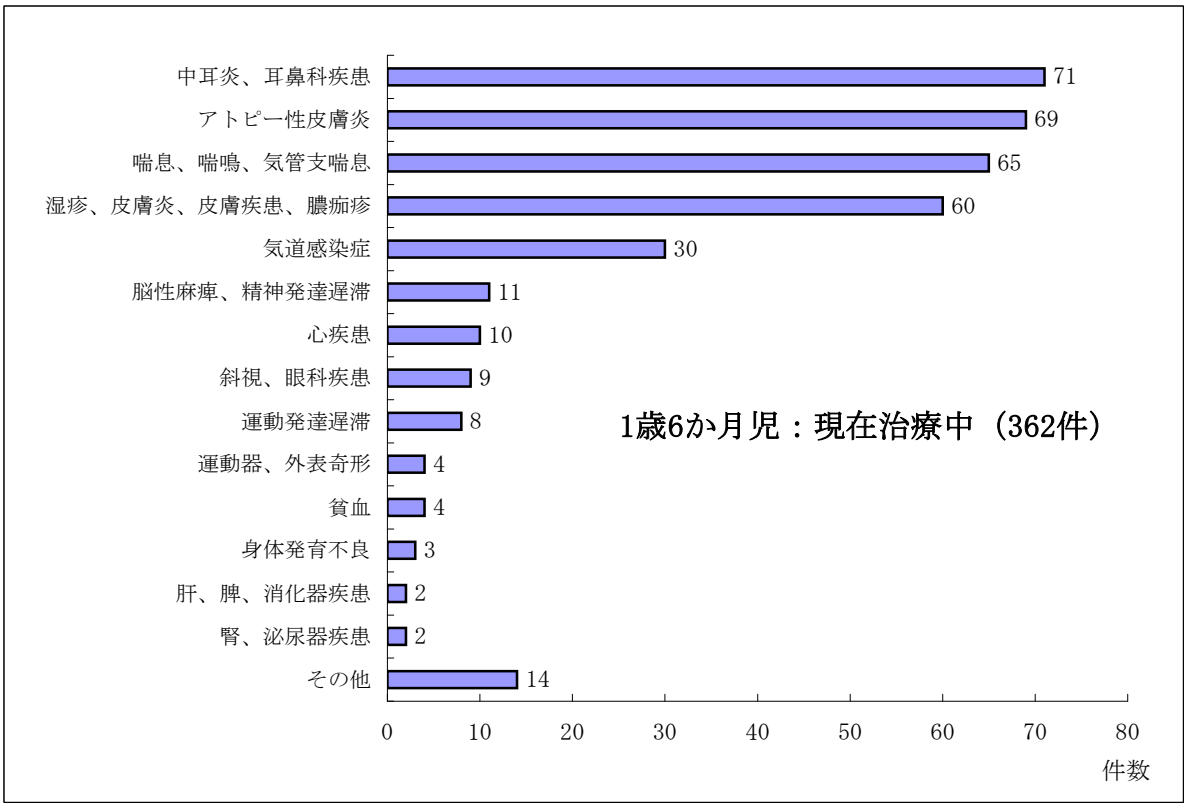


注）その他に含まれる判定内容は、統計資料№. 17を参照

９－５　要心理相談について

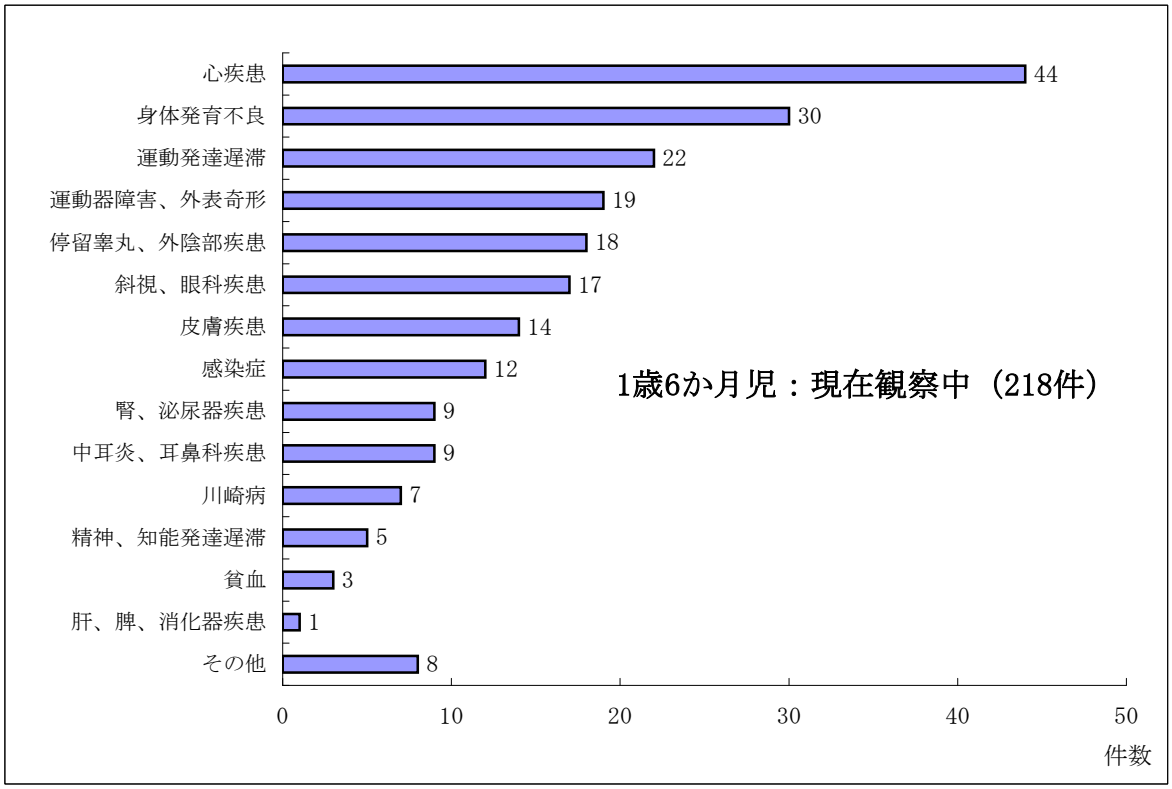


９－６　現在治療中について



注）その他に含まれる判定内容は、統計資料№. 17を参照

９－７　現在観察中について



注）その他に含まれる判定内容は、統計資料№. 17を参照

Ⅱ　歯科健診の部

受診状況

県内３７市町村（受託２６市町村、情報処理受託１１市町村）のうち、平成１８年４月１日から平成１９年３月３１日までに歯科健診を受診した１２，０１９名の口腔状況である。

受診月齢は、１歳６か月が３６．７％、１歳７か月が４４．７％となっており、両月齢で８１．４％となっている。受診率は８３．７％で、１７年度（83.1%）とほぼ同様である。

（参照）統計資料№. 21～23　年次資料№. 13

１歳６か月児健康診査受診状況　　単位：人

	１歳										
月齢	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	合計
男	－	－	1	59	2,246	2,808	727	179	102	79	6,201
女	－	－	1	83	2,168	2,569	677	179	78	63	5,818
合計	－	－	2	142	4,414	5,377	1,404	358	180	142	12,019
%	－	－	0.0	1.2	36.7	44.7	11.7	3.0	1.5	1.2	100.0

１　う蝕有病者率とう蝕の型別分類

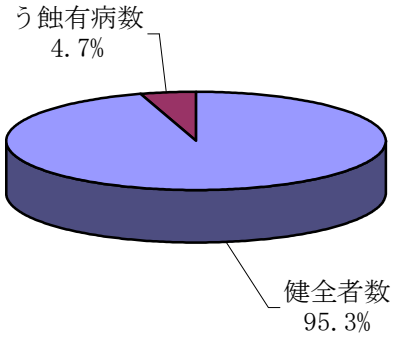
平成１８年度（３７市町村）の１歳６か月児健康診査における、う蝕有病者率は４．７％で、平成１７年度（4.9%）より０．２％ポイント減少してる。

市町村間では０％～１５．４％（H17年度は0%～26.8%）と開きがある。

平成１７年度の全国値は３．０７％であった。

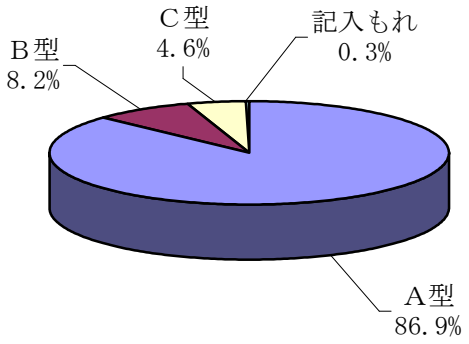
単位：人

受診者数（%）	健全者数	う蝕有病者数
12,019	11,455	564
100.0	95.3	4.7



単位：人

う蝕有病者数（%）	A型	B型	C型	記入もれ
564	490	46	26	2
100.0	86.9	8.2	4.6	0.3



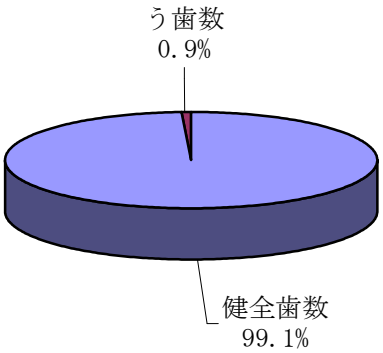
型別分類のそれぞれの割合は、前年度とほぼ同様である。

（参照）統計資料№. 21　年次資料№. 14

２　歯の状況

単位：本

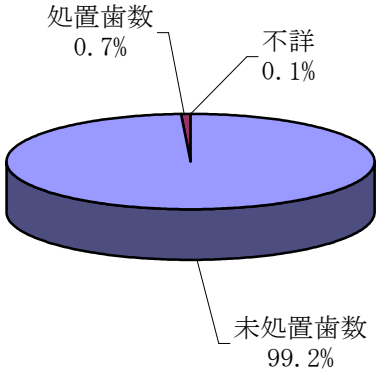
現在歯数（%）	健全歯数	う歯数
172,890	171,263	1,627
100.0	99.1	0.9



う歯数の占める割合は０．９％で前年度より減少している。また、一人平均のう歯数は０．１本（H17年度0.1本）である。また、健診時に萌出している乳歯は一人平均１４．４本（H17年度14.5本）であり、平成１７年度とほぼ同じである。

う歯の内訳　　単位：本

う歯数（%）	未処置歯数	処置歯数	不詳
1,627	1,615	11	1
100.0	99.2	0.7	0.1



むし歯になった歯のほとんどが未処置であるのは、毎年同じ状況である。

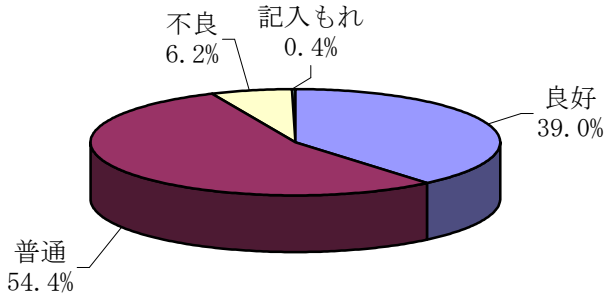
１歳６か月児では、むし歯の治療が困難であることが多く、そのほとんどは未処置であることが多い。未処置の中にはう蝕進行抑制剤であるサホライドを塗布した歯を含んでいる。

（参照）統計資料№. 21

3　歯口清掃状態

単位：人

計 (%)	良好	普通	不良	記入もれ
12,019	4,685	6,547	742	45
100.0	39.0	54.4	6.2	0.4



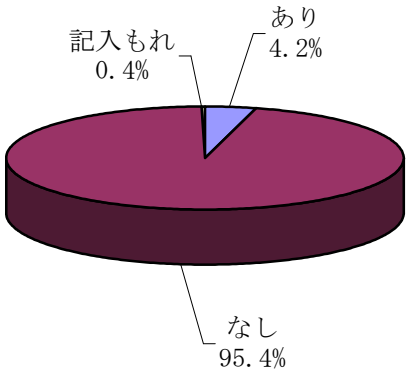
歯口清掃の状況は、前年度に比べ不良の割合がかなり減少している。（H17年度7.0%）

（参照）統計資料№. 22

４　軟組織の疾患

単位：人

計 (%)	あり	なし	記入もれ
12,019	507	11,468	44
100.0	4.2	95.4	0.4

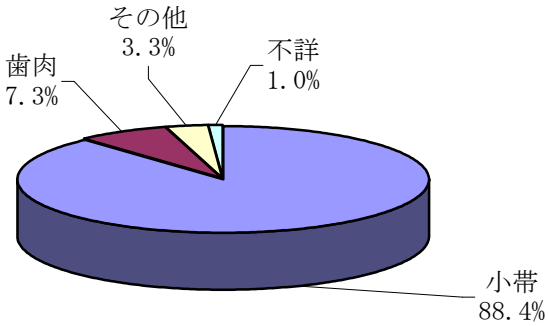


軟組織の疾患は、４．２％（H17年度4.3%）となっている。

軟組織の疾患の内訳

単位：本

計 (%)	小帯	歯肉	その他	不詳
507	448	37	17	5
100.0	88.4	7.3	3.3	1.0

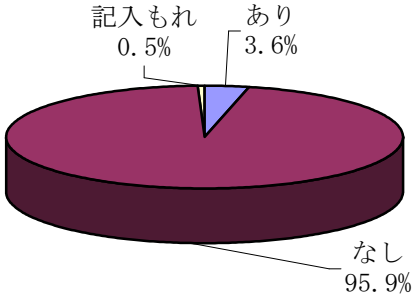


（参照）統計資料№. 22

5　不正咬合

単位：人

計 (%)	あり	なし	記入もれ
12,019	431	11,527	61
100.0	3.6	95.9	0.5



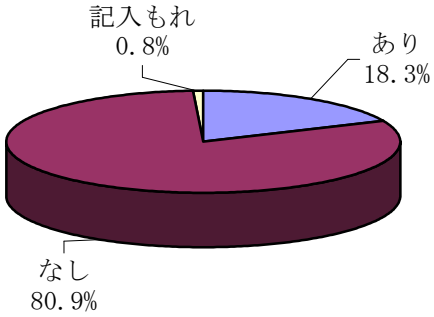
不正咬合に関しては、毎年同じような状況である。

１歳６か月児健診時点での乳歯列は未完成であり、不正咬合有無の診断は困難な場合が多い。また、不正咬合があったとしても、顎・顔面の発育にともない自然に治ることも多い。

6　口腔習癖

単位：人

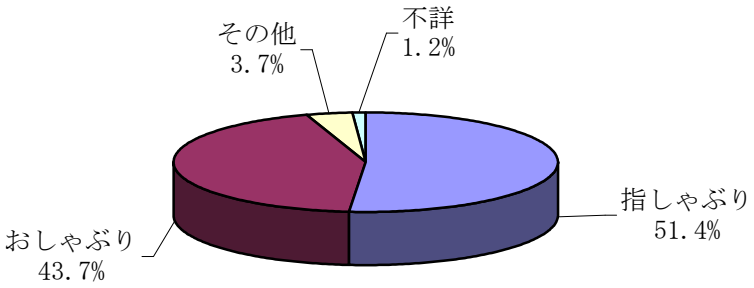
計 (%)	あり	なし	記入もれ
12,019	2,196	9,728	95
100.0	18.3	80.9	0.8



（参照）統計資料№. 22

習癖の内訳　　単位：人

計 (%)	指しゃぶり	おしゃぶり	その他	不詳
2,196	1,128	960	82	26
100.0	51.4	43.7	3.7	1.2

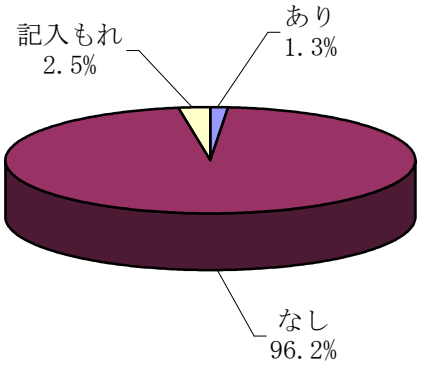


口腔習癖のある児の状況は全体の１８．３％であり、指しゃぶりとおしゃぶりが９５．１％を占める。指しゃぶりは５１．４％（H17年度50.7%）、おしゃぶりは４３．７％（H17年度45.0%）と前年度と同程度である。

7　その他の異常

単位：人

計 (%)	あり	なし	記入もれ
12,019	160	11,562	297
100.0	1.3	96.2	2.5

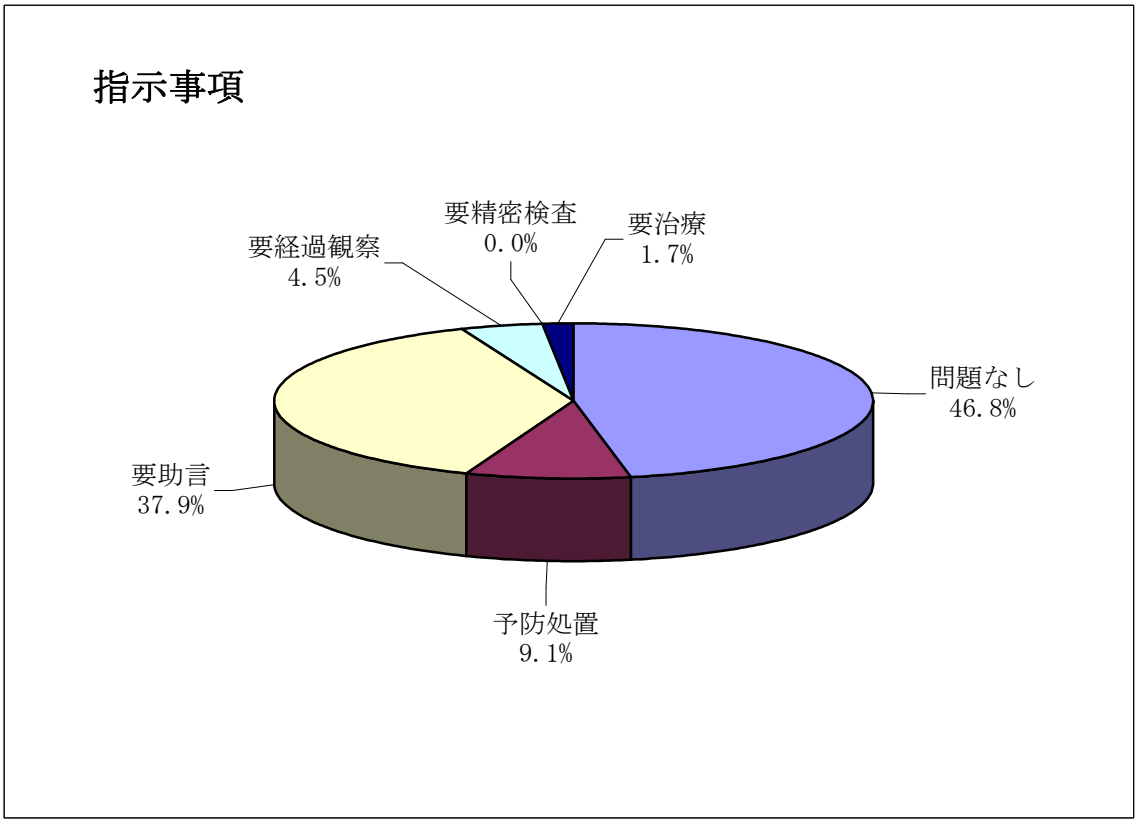


（参照）統計資料№. 22

８　指示事項

単位：人

計 (%)	問題なし	予防処置	要助言	要経過観察	要精密検査	要治療
12,019	5,631	1,089	4,552	537	2	208
100.0	46.8	9.1	37.9	4.5	0.0	1.7



指示事項の内訳

１　問題なしは４６．８％（H17年度44.1%）で、前年度より増加している。

２　予防処置は９．１％（H17年度12.6%）で、前年度より減少している。

３　要助言は前年より増加しており、内容としては歯みがきが６割以上を占める。
　　ついでフロス、食事指導の順位となっている。

４　要経過観察は前年より減少しており、内容としては不正咬合や軟組織の疾患が主である。

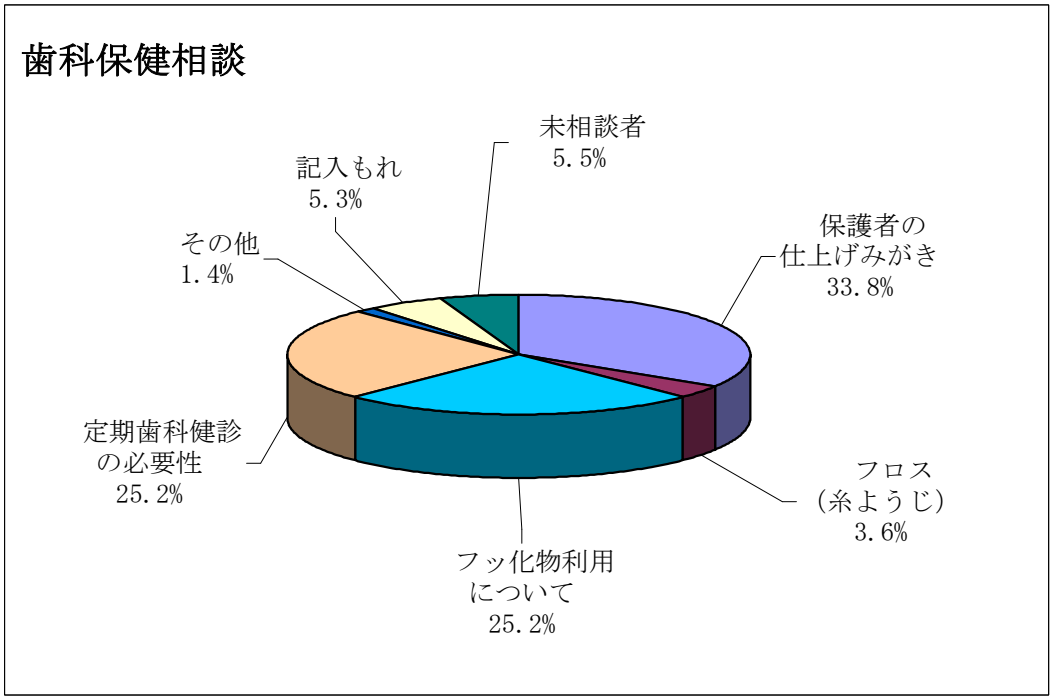
５　要治療の大分部は、むし歯の治療となっている。

（参照）統計資料№. 23

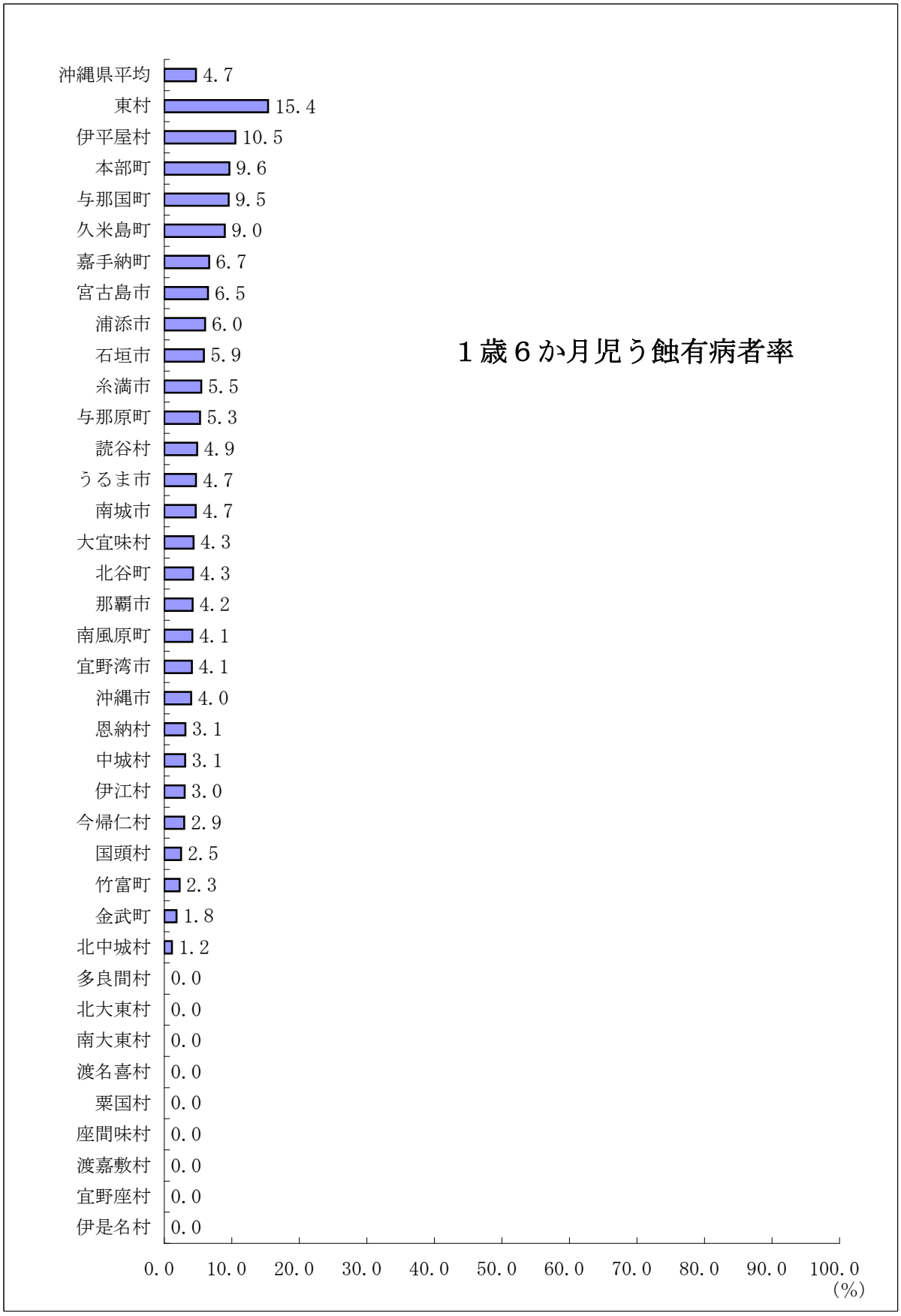
9　歯科保健相談

相談項目を分類したものである。複数回答の場合は相談項目の４、３、２、１、５の順で優先とし、１人１項目選択とした。

項目	件数	%
保護者の仕上げみがき	4,063	33.8
フロス（糸ようじ）	437	3.6
フッ化物利用について	3,022	25.2
定期歯科健診の必要性	3,028	25.2
その他	171	1.4
記入もれ	635	5.3
未相談者	663	5.5
総計	12,019	100.0



１０　１歳６か月児う蝕有病者率



（参照）統計資料№. 21　年次資料№. 14

〈　３歳児健康診査の部　〉

Ⅰ　一般健診の部

１　実施状況

県内４１市町村で、平成１８年４月１日から平成１９年３月３１日までに、１２，９１２人の３歳児が健康診査を受けた。

以下に、平成１８年度の３歳児健康診査の結果をまとめる。

（参照）統計資料 No. 42

２　受診状況

平成１８年度は受診者数１２，９１２人（H17年度12,857人）で、昨年度に比較し５５人増加している。対象者数が１６，５８５人であることから、受診率は７７．９％（H17年度76.7%）で、昨年度より１．２ポイント増加している。

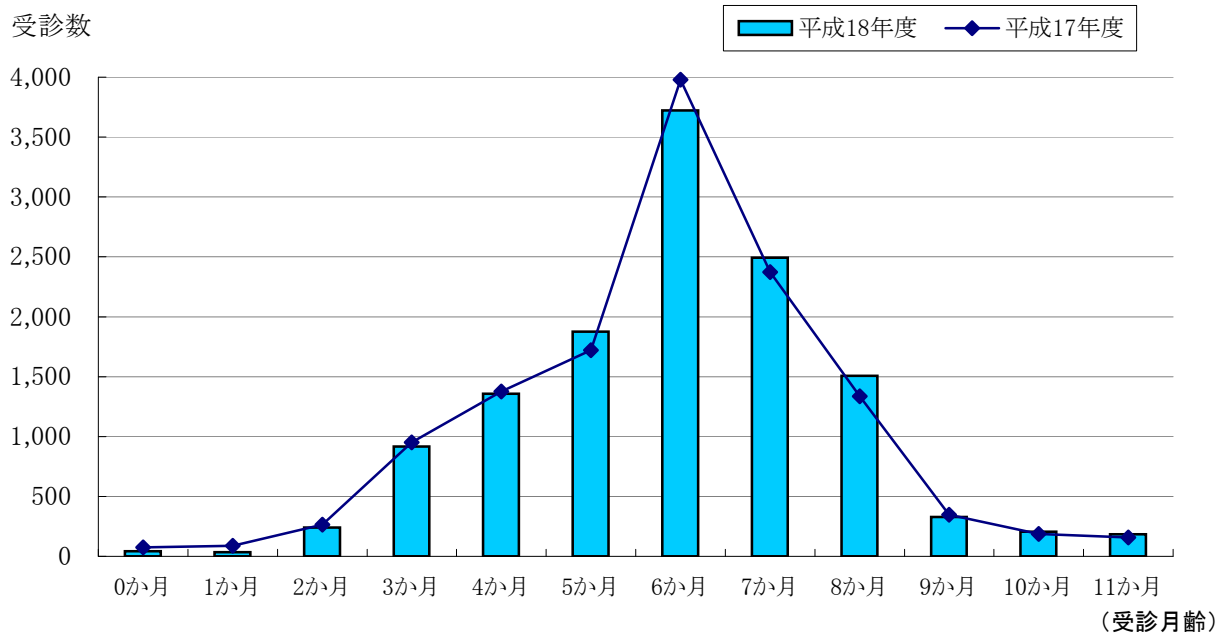
受診月齢をみると、３歳５か月～７か月の間に６２．７％（８，０９４人）の児が受診している。

健診回数の少ない離島や児の数が少ない町村においては、受診月齢に極端なばらつきがみられる。市町村別の受診月齢は統計資料に示す。

（参照）統計資料 No. 45　年次資料 No. 1、21

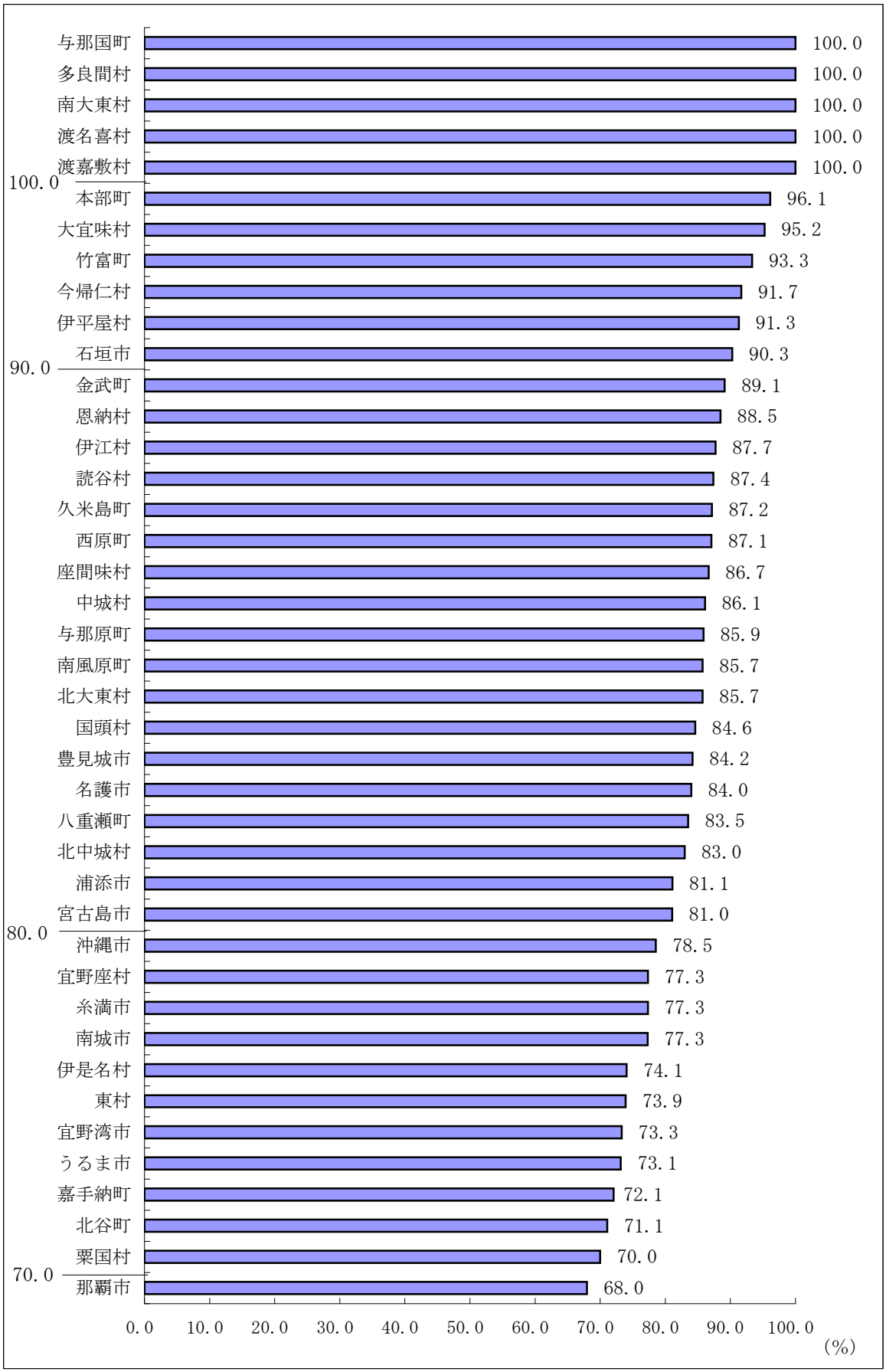
３歳児健康診査月齢別受診状況　　単位：人

月齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総計
男	19	15	127	449	697	989	1,897	1,277	809	173	95	96	6,643
女	25	21	113	468	660	888	1,826	1,217	698	155	110	88	6,269
総計	44	36	240	917	1,357	1,877	3,723	2,494	1,507	328	205	184	12,912
%			19.5			62.7			15.8				



三歳児問診

平成１８年度　３歳児健康診査受診率（一般健康診査）



（参照）統計資料 №. 42　年次資料 №. 21

３　健診同伴者

３歳児健康診査における児の同伴者について、母の同伴があった児は１１，３４６件（９０．３％）、父の同伴があった児は１，２９９件（１０．３％）となっている。年々父親の同伴が増加している。

（参照）年次資料 №. 25

３歳児の健診同伴者

単位：人

	母	父	祖父母	その他	集計対象数	記入もれ	受診総数
件数	11,346	1,299	493	83	12,569	343	12,912
集計対象数にしめる割合（%）	90.3	10.3	3.9	0.7	－	－	

同伴内訳	母	父	祖父母	その他	記入もれ	計
母親	**10,610**	539	108			11,257
父親	539	**747**	5			1,291
父、祖父母	4		371			375
父、兄弟姉妹	4					4
祖父母	108	5		6	1	120
祖父母、兄弟姉妹	5	1				6
祖父母、おじ・おば等				1		1
祖父母、いとこ	1					1
兄弟姉妹	68	5	1	7		81
おじ、おば等	4	1	8	46	1	60
おば、兄弟姉妹				2		2
いとこ	2					2
保育士				1		1
施設職員				9		9
その他	1	1		3		5
記入もれ				8	341	349
計	11,346	1,299	493	83	343	13,564

※複数の同伴者あり

４　育児環境

４－１　保育状況

３歳児における主な保育者について、昼間の保育は保育所等の集団保育が全体の７６．２％（H17年度76.0%）を占めている。平成１７年度に比較すると集団保育は０．２ポイント増加し、母の保育に０．２ポイントの減少がみられた。年々集団保育は増加傾向にある。

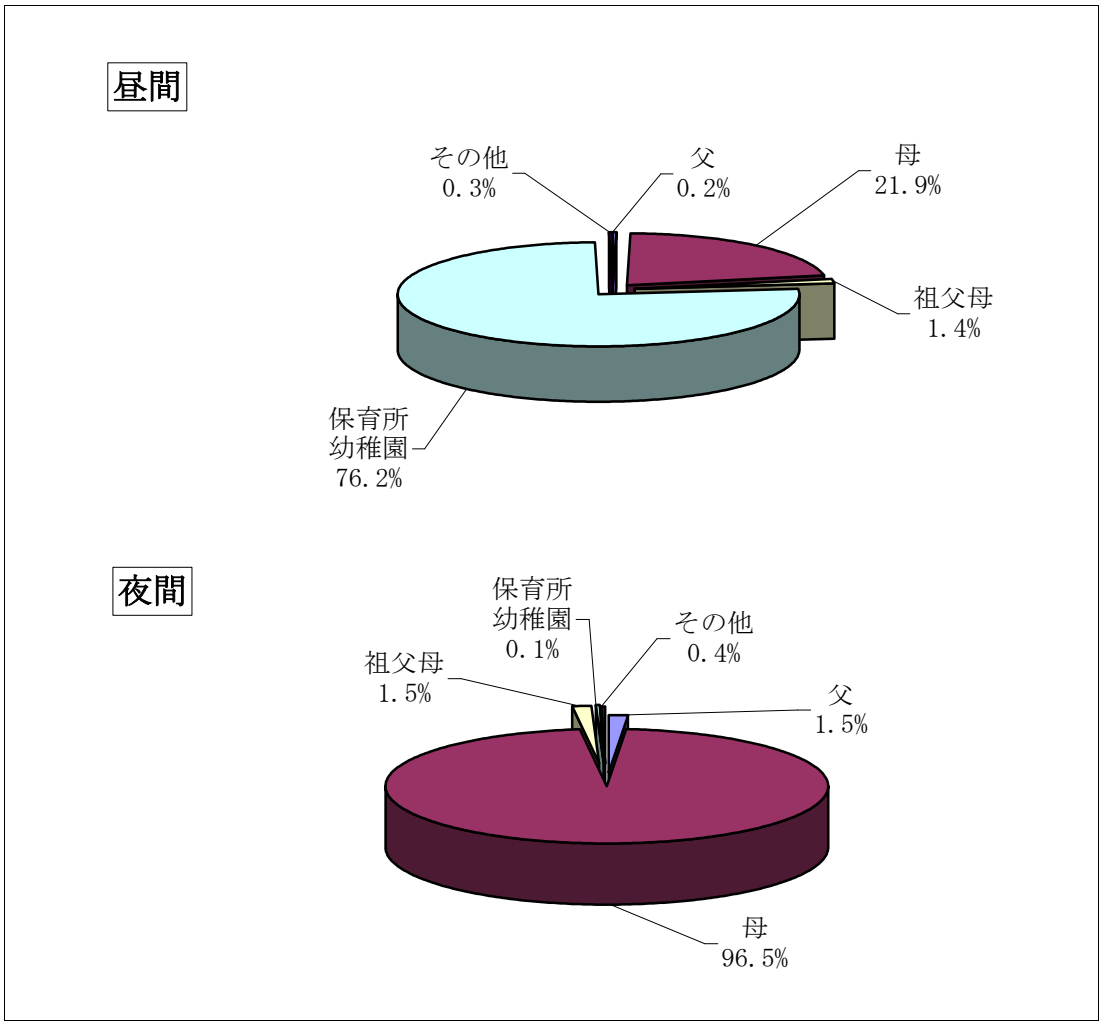
夜間の保育は、平成１７年度に比較し、母０．３ポイントの減少、父０．２ポイントの増加がみられた。

（参照）統計資料 №. 50　年次資料 №. 26

３歳児の主な保育者

単位：人

	父	母	祖父母	保育所幼稚園	その他	小計	記入もれ	計
昼間	23	2,823	182	9,831	46	12,905	7	12,912
%	0.2	21.9	1.4	76.2	0.3	100.0	－	－
夜間	184	12,221	195	17	45	12,662	250	12,912
%	1.5	96.5	1.5	0.1	0.4	100.0	－	－



４－２　両親の喫煙

両親の喫煙率をみると、父親４９．６％(H17年度52.5%)、母親１２．１％(H17年度12.9%)となっている。

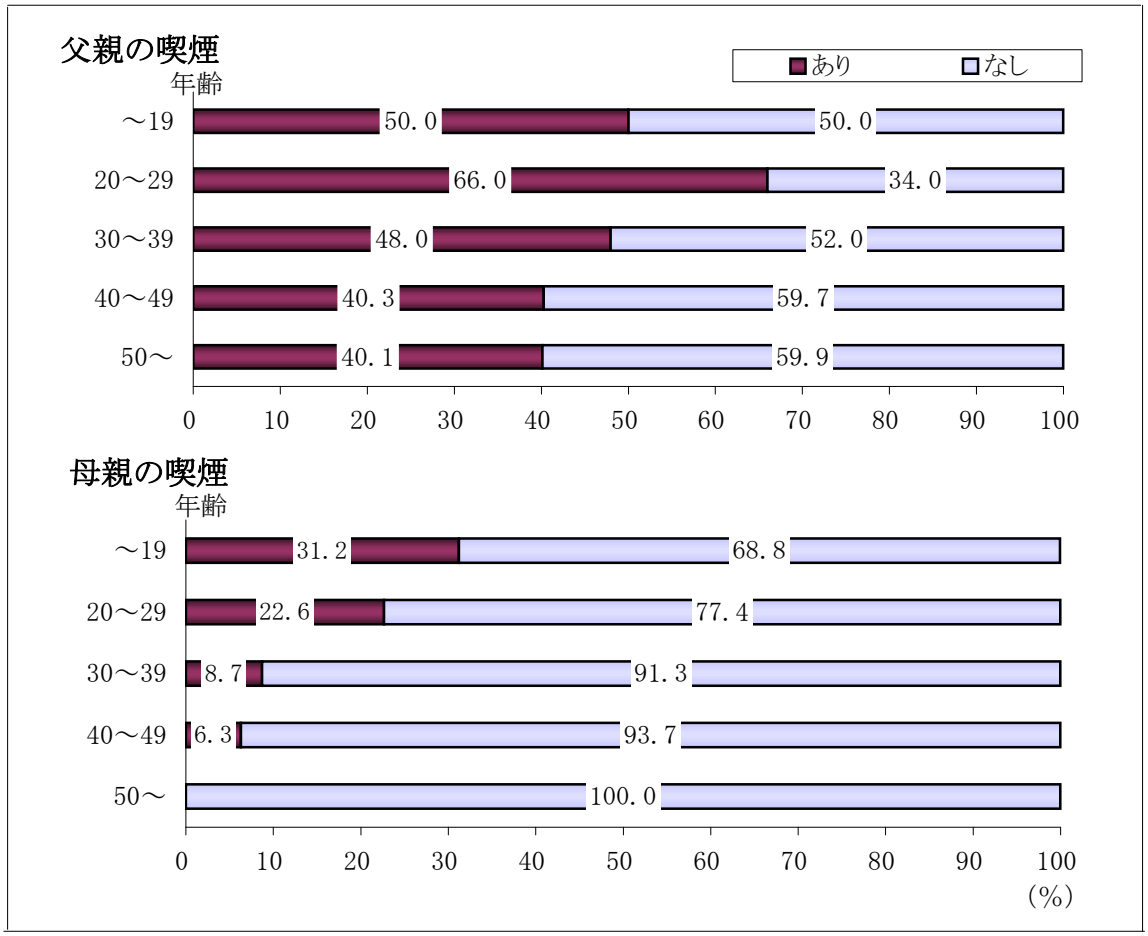
父親の喫煙率は年々減少傾向にある。

（参照）統計資料 №. 51　年次資料 №. 27

３歳児の両親の喫煙

単位：人

年齢	父親の喫煙				母親の喫煙			
	あり	なし	記入もれ	総計	あり	なし	記入もれ	総計
～１９	1	1	－	2	5	11	－	16
２０～２９	1,475	761	4	2,240	750	2,564	6	3,320
３０～３９	3,341	3,626	9	6,976	689	7,207	10	7,906
４０～４９	957	1,419	4	2,380	89	1,327	4	1,420
５０～	112	167	－	279	－	10	－	10
小計	5,886	5,974	17	11,877	1,533	11,119	20	12,672
%	49.6	50.4			12.1	87.9		
記入もれ	55	149	831	1,035	16	135	89	240
総計	5,941	6,123	848	12,912	1,549	11,254	109	12,912



＊喫煙率は、記入もれを除いての算出

三歳児問診

４-３　子育てについて

○育児不安の有無と子育ての楽しさとの関係

育児に不安がないと回答した人は、あると回答した人より子育ての楽しさを感じている割合が２９．８ポイント高くなっている。

（参照）統計資料 №. 52～53

（参照）年次資料 №. 28

育児に不安	回答者数	子育ては（記入もれ除く）		
		計	楽しい、楽しい・大変の両方	どちらともいえない、大変
ある	2,897	2,881	1,258	1,623
	%	100.0	43.7	56.3
ある・ないの両方	75	74	47	27
	%	100.0	63.5	36.5
ない	9,677	9,660	7,098	2,562
	%	100.0	73.5	26.5

○育児不安の有無と育児の疲れとの関係

育児に不安があると回答した人は、ないと回答した人より育児の疲れの割合が高くなっている。

育児に不安	回答者数	育児は疲れが多い（記入もれ除く）				
		計	肉体的	肉体的・精神的の両方	精神的	いいえ
ある	2,897	2,844	867	632	788	557
	%	100.0	30.5	22.2	27.7	19.6
ある・ないの両方	75	75	23	26	13	13
	%	100.0	30.7	34.7	17.3	17.3
ない	9,677	9,531	2,753	554	842	5,382
	%	100.0	28.9	5.8	8.8	56.5

○身近な相談者の有無と子育ての楽しさとの関係

身近に相談者がいると回答した人は、いないと回答した人より子育ての楽しさを感じている割合が２８．６ポイント高くなっている。

（参照）統計資料 №. 52～53

（参照）年次資料 №. 28

身近に相談者	回答者数	子育ては（記入もれ除く）		
		計	楽しい、楽しい・大変の両方	どちらともいえない、大変
いる	12,271	12,230	8,270	3,960
	%	100.0	67.6	32.4
いない	525	525	205	320
	%	100.0	39.0	61.0

※身近な相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

○身近な相談者の有無と育児不安との関係

身近に相談者がいると回答した人は、いないと回答した人より子育ての不安を感じている割合が２４．７ポイント低くなっている。

身近に相談者	回答者数	育児に不安（記入もれ除く）			
		計	ある	ある・ないの両方	ない
いる	12,271	12,088	2,640	66	9,382
	%	100.0	21.8	0.6	77.6
いない	525	516	240	8	268
	%	100.0	46.5	1.6	51.9

※身近な相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

○育児不安の有無と育児疲れ、子育ての楽しさについて

子育てについて、育児に不安があるかないかを基に、育児の疲れと楽しさがどうかについて分類した。

育児に不安	育児は疲れが多い	回答者数	計	子育ては（記入もれ除く）			
				楽しい	楽しい・大変の両方	どちらともいえない	大変
ある	肉体的	867	865	321	107	154	283
	肉体的・精神的の両方	632	629	74	136	140	279
	精神的	788	784	147	66	234	337
	いいえ	557	554	318	70	102	64
	記入もれ	53	49	11	8	16	14
	小計	2,897	2,881	871	387	646	977
	%	22.4	100.0	30.3	13.4	22.4	33.9
ある・ないの両方	肉体的	23	23	5	9	5	4
	肉体的・精神的の両方	26	26	6	11	4	5
	精神的	13	12	3	4	3	2
	いいえ	13	13	7	2	2	2
	記入もれ	－	－	－	－	－	－
	小計	75	74	21	26	14	13
	%	0.6	100.0	28.4	35.1	18.9	17.6
ない	肉体的	2,753	2,751	1,548	281	358	564
	肉体的・精神的の両方	554	552	141	138	113	160
	精神的	842	842	276	81	222	263
	いいえ	5,382	5,370	4,289	250	522	309
	記入もれ	146	145	70	24	32	19
	小計	9,677	9,660	6,324	774	1,247	1,315
	%	75.0	100.0	65.5	8.0	12.9	13.6
記入もれ	肉体的	59	56	20	12	10	14
	肉体的・精神的の両方	32	32	2	12	8	10
	精神的	30	29	2	4	12	11
	いいえ	41	41	22	5	10	4
	記入もれ	101	49	22	5	10	12
	小計	263	207	68	38	50	51
	%	2.0	100.0	32.8	18.4	24.2	24.6
合計		12,912	12,822	7,284	1,225	1,957	2,356
%			100.0	56.8	9.5	15.3	18.4

（参照）統計資料 №. 52～53

○身近に相談者の有無と子育て支援センターの認知、子育ての楽しさについて

子育てについて、身近に相談者がいるかいないかを基に、子育ては楽しいかについて分類した。

身近に相談者	子育て支援センターを知っている	回答者数	計	子育ては（記入もれ除く）			
				楽しい	楽しい・大変の両方	どちらともいえない	大変
いる	はい	10,492	10,460	6,178	1,025	1,511	1,746
	いいえ	1,689	1,683	868	141	286	388
	記入もれ	90	87	50	8	12	17
	小計	12,271	12,230	7,096	1,174	1,809	2,151
	%	95.0	100.0	58.0	9.6	14.8	17.6
いない	はい	377	377	118	31	90	138
	いいえ	143	143	43	11	45	44
	記入もれ	5	5	2	−	1	2
	小計	525	525	163	42	136	184
	%	4.1	100.0	31.1	8.0	25.9	35.0
記入もれ	はい	43	41	12	5	12	12
	いいえ	11	10	5	−	−	5
	記入もれ	62	16	8	4	−	4
	小計	116	67	25	9	12	21
	%	0.9	100.0	37.3	13.4	17.9	31.4
合計		12,912	12,822	7,284	1,225	1,957	2,356
%			100.0	56.8	9.5	15.3	18.4

※身近な相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

（参照）統計資料 №. 52～53

5　発育（やせと肥満）について

３歳児健康診査時におけるやせと肥満について集計することとしたが、３歳児のやせは問題ないので、今回は肥満度を算出した。

集計対象の条件として、健康診査時に身長と体重を測定した児で、出生体重が2,000ｇ以上であることとした。

肥満度＋１５％以上の児は、男が全体の３．６％（H17年度4.1%）で、女が４．９％（H17年度4.7%）となり、女が１．２ポイント高い値を示した。

	受診総数	集計対象数
男	6,643	6,439
女	6,269	6,053
計	12,912	12,492

			男		女	
			件数	%	件数	%
肥満度	太り過ぎ	＋３０％以上	23	0.4	23	0.4
	やや太り過ぎ	＋２０％から＋３０％	74	1.1	77	1.3
	太り気味	＋１５％から＋２０％	184	2.9	192	3.2
	計		281	4.4	292	4.9
ＢＭＩ	肥満	１８．０以上	231	3.6	178	2.9

（参照）統計資料 №. 54

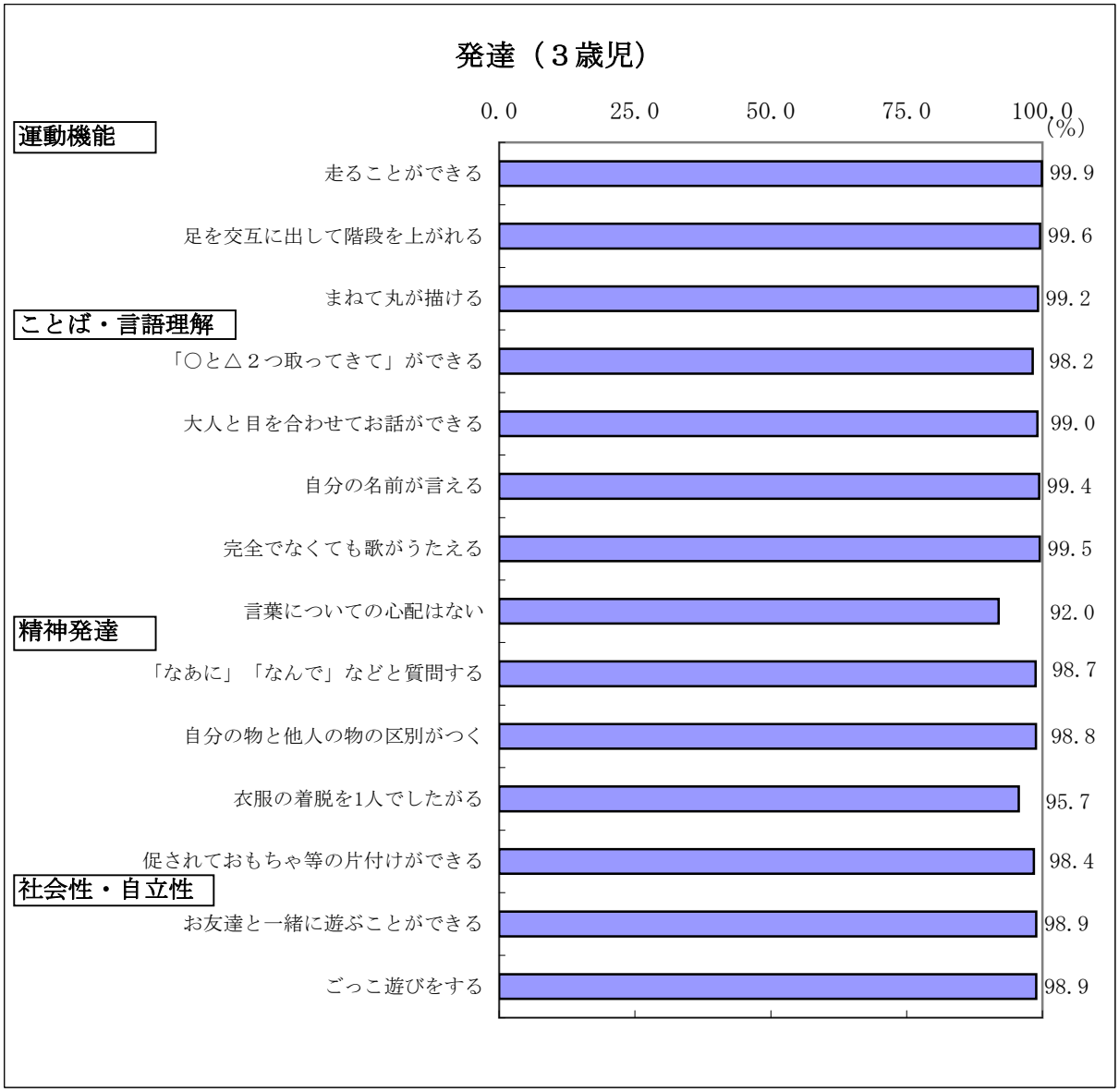
（参照）年次資料 №. 29

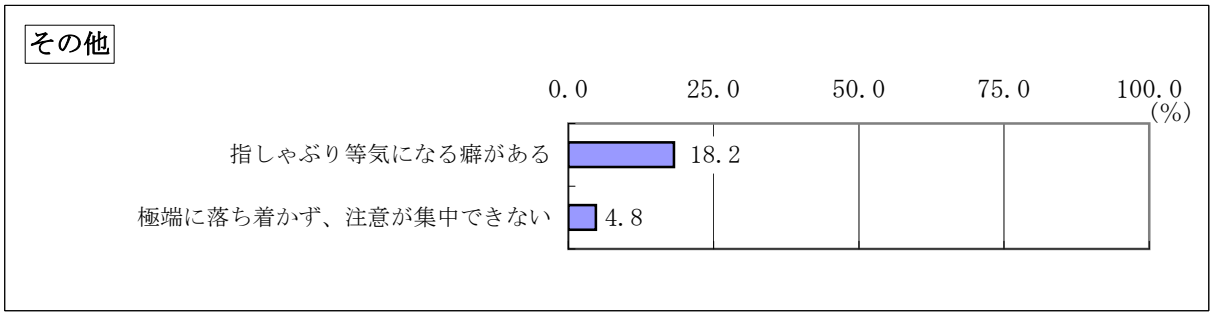
6　発達について

下の図は、３歳児の運動・発達の通過率である。対象は３歳児健康診査時の月齢が３歳６か月児と７か月児６，２１７人とした。これらは受診総数の４８．１％を占める。

発達に関する問診に対し、回答が「はい」の割合を示したものである。

（参照）統計資料 №. 55 ～ 61





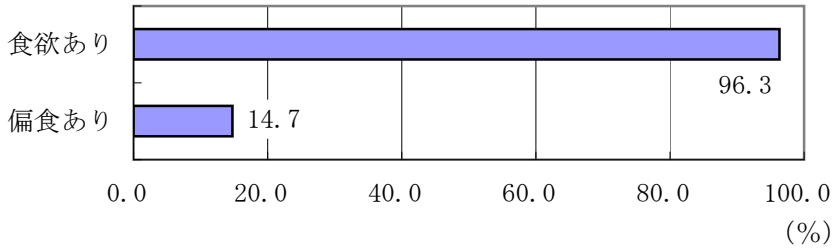
三歳児問診

7　生活習慣について

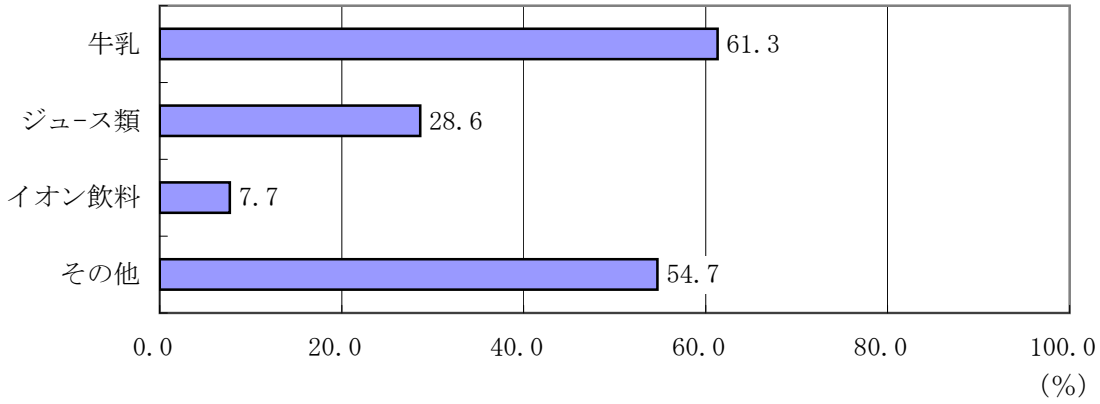
３歳児の生活習慣について項目別に集計した。　　（参照）統計資料 №. 62 ～64

7－1　食習慣について

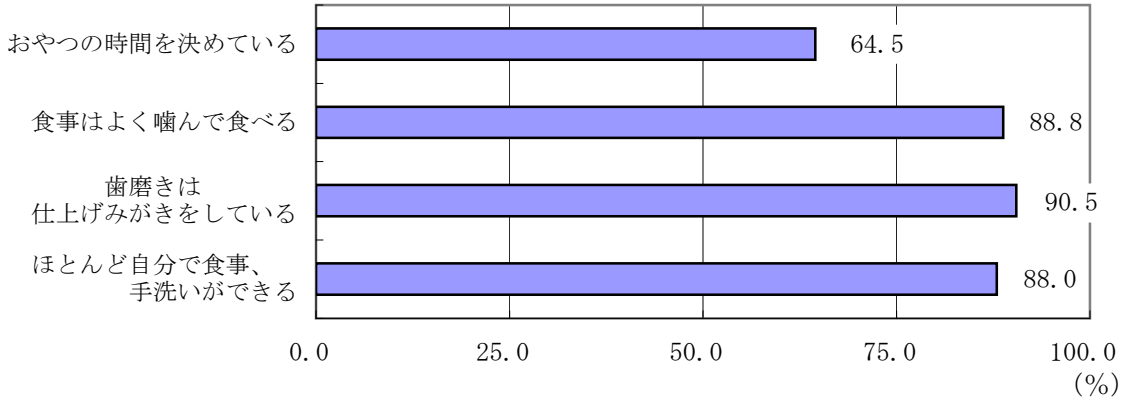
食欲と偏食



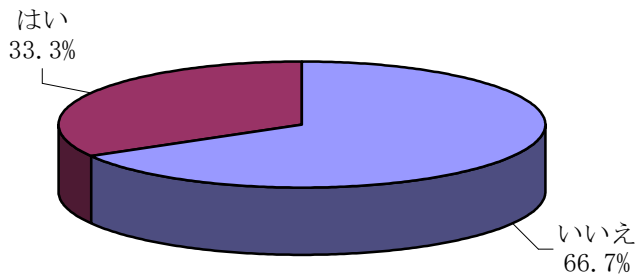
よく飲んでいる飲み物



食生活のしつけ

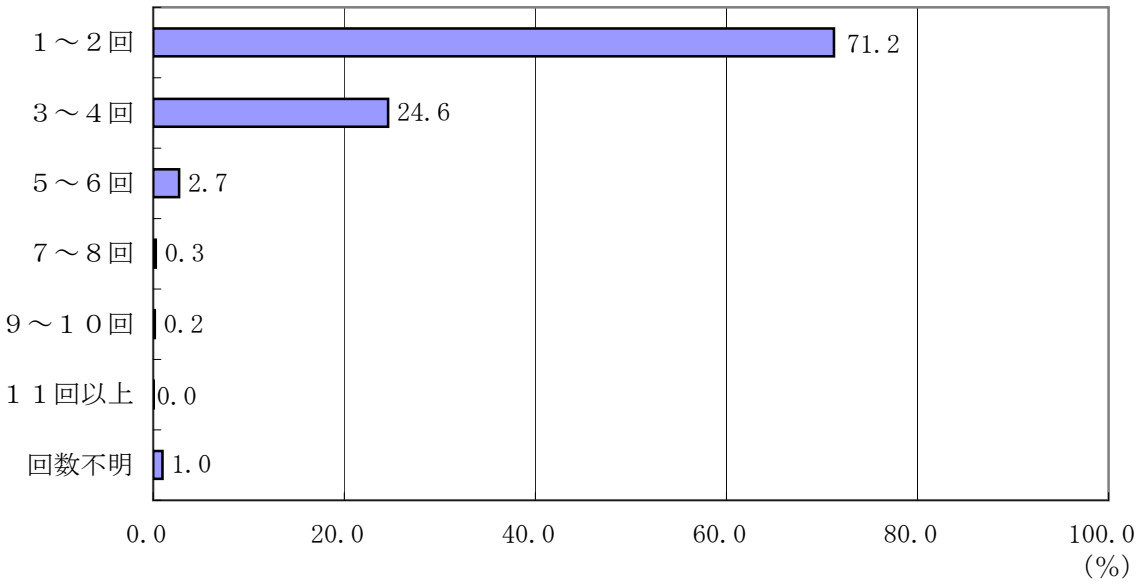


ファーストフードの利用



ファーストフードの利用回数

○回答「はい」の利用回数内訳（月　回）



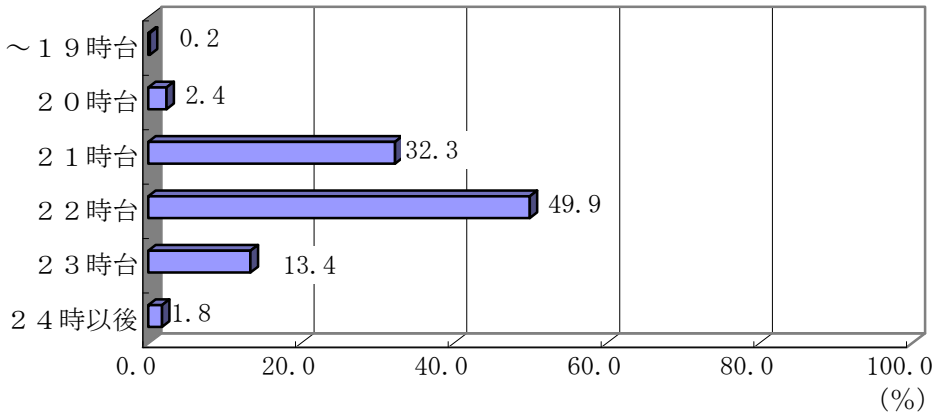
（参照）統計資料 №. 65

三歳児問診

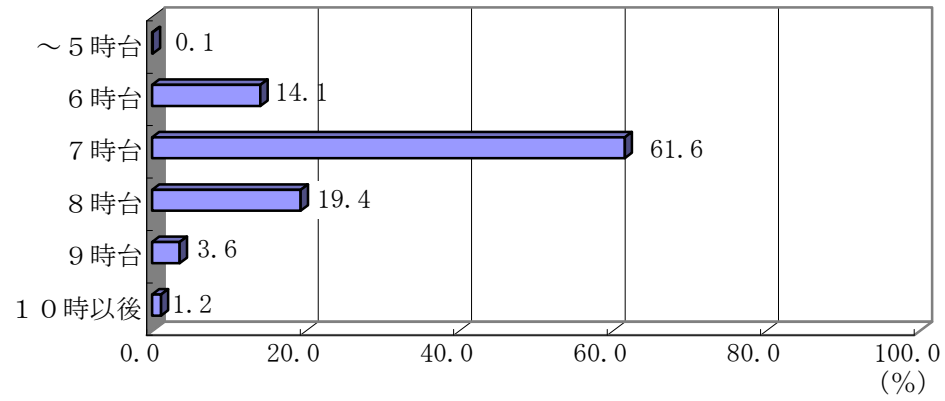
７－２　睡眠について

３歳児の睡眠について項目別に集計した。　　（参照）統計資料 №. 65 ～ 68

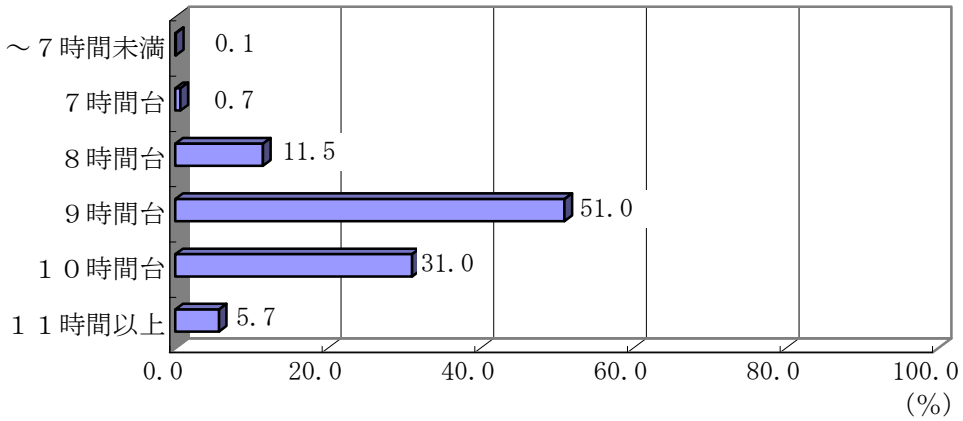
就寝時間



起床時間



睡眠時間



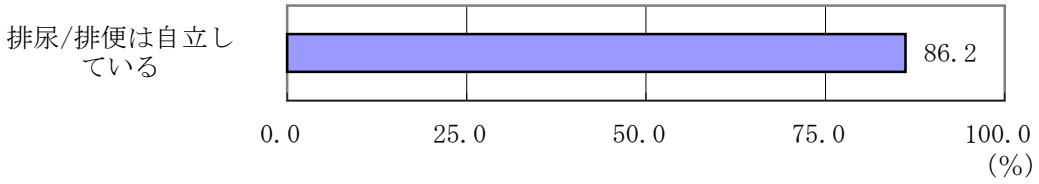
７－３　その他の習慣

３歳児のその他の習慣について集計した。

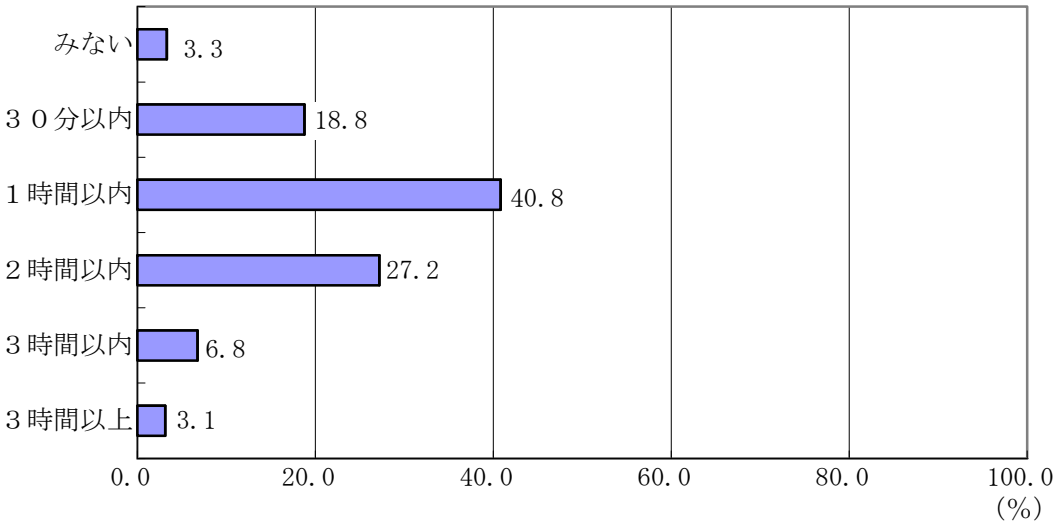
（参照）統計資料 №. 69 ～ 71

（参照）年次資料 №. 37

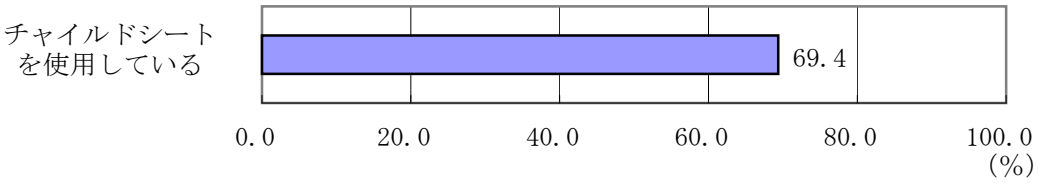
排尿/排便の自立



テレビ／ビデオ１日にみる時間



チャイルドシートの使用



三歳児問診

８　予防接種の状況

ＢＣＧの接種状況（３歳児）

	人数	割合（%）
接種	12,520	97.0
未接種	312	2.4
記入もれ	80	0.6
計	12,912	100.0

ポリオの接種状況（３歳児）

	人数	割合（%）
2回接種	12,203	94.5
1回接種	474	3.7
未接種	113	0.9
記入もれ	122	0.9
計	12,912	100.0

ＤＰＴ　第１期の接種状況（３歳児）　追加接種

	人数	割合（%）	人数	割合（%）
3回接種	10,965	84.9	8,697	79.3
2回接種	904	7.0	403	44.6
1回接種	413	3.2		
未接種	456	3.5		
記入もれ	174	1.4		
計	12,912	100.0	9,100	

注）追加接種
第１期３回接種終了後、６か月以上の間隔をおいて追加接種
第１期２回接種終了後、３回接種をせずに追加接種

麻疹の接種状況（３歳児）

	人数	割合（%）
接種	12,493	96.8
未接種	273	2.1
罹患	29	0.2
接種と罹患	42	0.3
記入もれ	75	0.6
計	12,912	100.0

（参照）統計資料 №. 72 ～ 74
（参照）年次資料 №. 30 ～ 33

風疹の接種状況（３歳児）

	人数	割合（%）
接種	11,694	90.6
未接種	981	7.6
罹患	50	0.4
接種と罹患	37	0.3
記入もれ	150	1.1
	12,912	100.0

日本脳炎の接種状況（３歳児）

	人数	割合（%）
２回接種	136	1.1
１回接種	78	0.6
未接種	11,520	89.2
罹患	－	－
記入もれ	1,178	9.1
計	12,912	100.0

水痘の接種状況（３歳児）

	人数	割合（%）
接種	1,499	11.6
未接種	4,043	31.3
罹患	6,642	51.4
接種と罹患	356	2.8
記入もれ	372	2.9
計	12,912	100.0

流行性耳下腺炎の接種状況（３歳児）

	人数	割合（%）
接種	1,651	12.8
未接種	7,699	59.6
罹患	2,890	22.4
接種と罹患	93	0.7
記入もれ	579	4.5
計	12,912	100.0

（参照）統計資料 №. 74 ～ 76
（参照）年次資料 №. 34 ～ 35

９　健診結果の異常内訳

３歳児健康診査受診総数１２，９１２人、うち問題なし児が９，７５４人、異常等あり児が３，１５８人、視力聴力検査結果異常児３６０件、尿検査異常児３２６件で、のべ３，６１８件となっている。

（参照）統計資料 №. 42

（異常等の内訳）

合計	（１）問診 視力聴力検査異常	（２）検査 尿検査異常	（３）診察 有所見（延べ）
3,618	360	326	2,932

＊ うち実人員　3,158人

（１）視力聴力検査の異常

小計	視力検査	聴力検査
360	182	178

（２）検査結果の異常

小計	尿検査
326	326

＊尿蛋白、潜血の項目で＋以上、
尿糖の項目で±以上の実人員

（３）有所見（延べ件数）

（有所見内訳）

小計	発育	皮膚	頭頚部	顔面・ 口腔	眼	耳鼻 咽喉
2,932	786	380	37	60	371	304

（有所見内訳）

胸部	腹部	そけい 外陰部	背部	四肢
265	14	78	8	59

（有所見内訳）

神経・ 運動	精神 発達	言語	日常 習慣	その他
20	129	329	92	0

9－1　視力聴力検査結果の異常

視力と聴力に関する保護者のアンケート調査に基づき、要精密検査となったもの。

（参照）統計資料 №. 42

受診者数	視力	聴力
12,912	182	178
%	1.4	1.4

月齢	３歳												総計
	０か月	１か月	２か月	３か月	４か月	５か月	６か月	７か月	８か月	９か月	10か月	11か月	
視力	1	1	3	12	9	22	52	37	30	9	3	3	182
聴力	－	－	2	－	3	13	48	88	20	2	2	－	178
総計	1	1	5	12	12	35	100	125	50	11	5	3	360

（参考）　健診時に視力聴力検査が実施できず、再検査が必要となったもの。

月齢	３歳												総計
	０か月	１か月	２か月	３か月	４か月	５か月	６か月	７か月	８か月	９か月	10か月	11か月	
視力	1	4	29	64	53	48	116	95	39	9	4	3	465
聴力	－	－	4	11	10	7	26	19	11	7	1	1	97
総計	1	4	33	75	63	55	142	114	50	16	5	4	562
受診者数	44	36	240	917	1,357	1,877	3,723	2,494	1,507	328	205	184	12,912
%	2.3	11.1	13.8	8.2	4.6	2.9	3.8	4.6	3.3	4.9	2.4	2.2	4.4

※受診者数に対する未検査率

９－２　尿検査結果の異常

尿検査結果の異常（蛋白・潜血は＋以上、糖は±以上）は、尿蛋白・潜血・糖の合計で３２９件となるが、実人員は３２６人である。受診児の７．７％が未検査となっている。

尿蛋白	人数	割合（%）
－	11,746	91.0
±	135	1.0
＋　以上	35	0.3
未検査	996	7.7
合計	12,912	100.0

尿潜血	人数	割合（%）
－	11,257	87.2
±	386	3.0
＋　以上	272	2.1
未検査	997	7.7
合計	12,912	100.0

尿糖	人数	割合（%）
－	11,893	92.1
±	13	0.1
＋　以上	9	0.1
未検査	997	7.7
合計	12,912	100.0

９－３　診察による有所見（診察所見について）

有所見の内訳

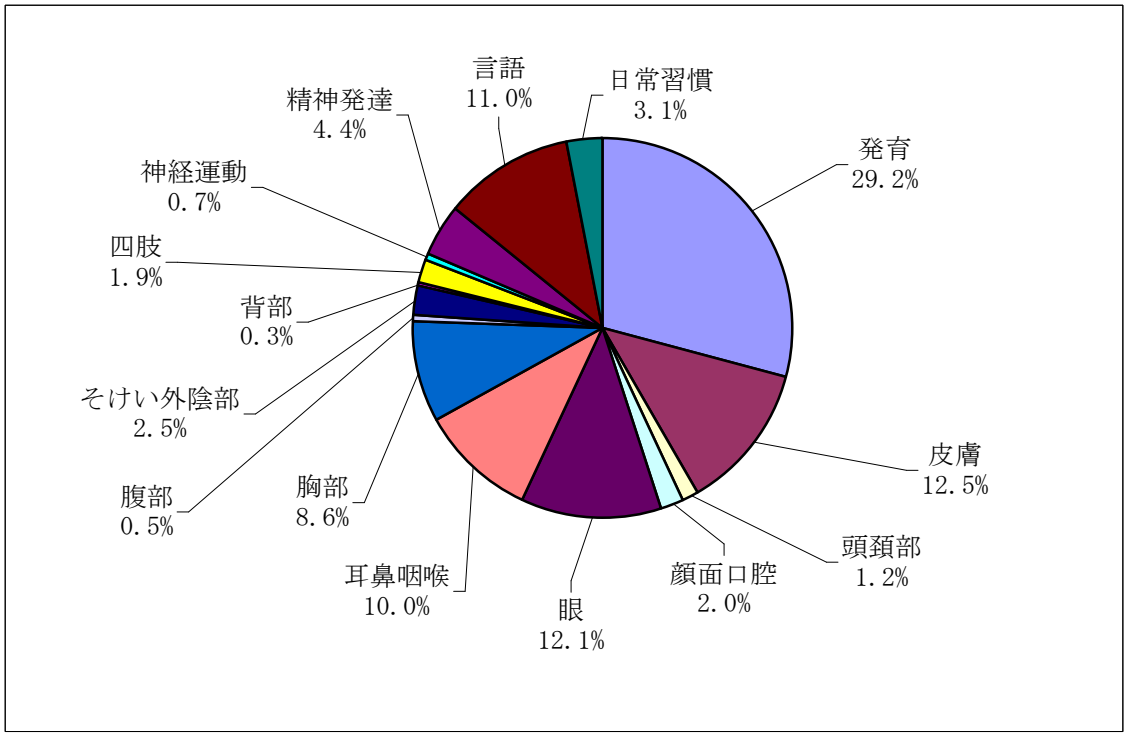
受診総数１２，９１２人、うち問題なし児９，７５４人、異常等あり児が３，１５８人である。異常等ありのなかで診察所見の異常は２，９３２件であるが、診察所見は複数の記入がある場合、同部位内については件数にカウントしていない。

以下は、有所見の内訳を部位別、部位内の複数の記入すべてを含め再分類したものである。

	合計	発育	皮膚	頭頚部	顔面口腔	眼	耳鼻咽喉	胸部
件数	2,932	786	380	37	60	371	304	265
再分類件数	3,097	906	386	37	61	375	311	268
%	100.0	29.2	12.5	1.2	2.0	12.1	10.0	8.6

	腹部	そけい外陰部	背部	四肢	神経運動	精神発達	言語	日常習慣
件数	14	78	8	59	20	129	329	92
再分類件数	14	78	8	60	21	136	340	96
%	0.5	2.5	0.3	1.9	0.7	4.4	11.0	3.1

注）部位内複数記入含め再分類



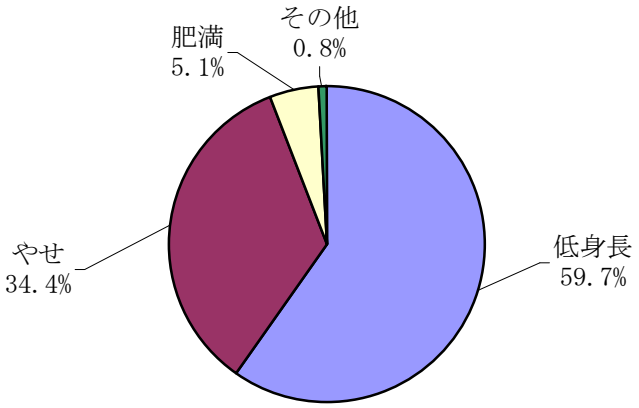
（参照）統計資料 No. 42

三歳児診察結果

①＜発育＞

単位：件

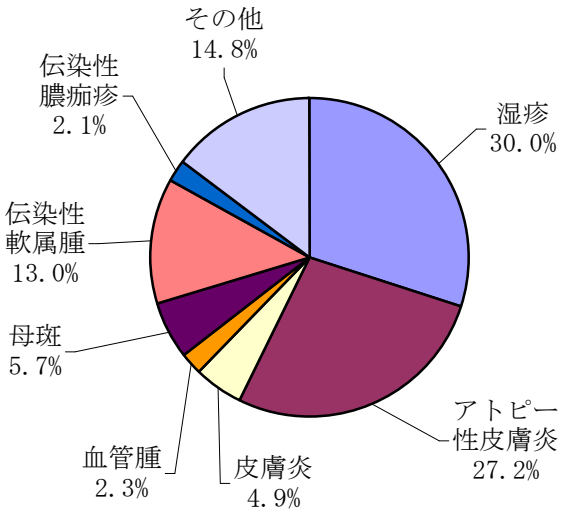
合計 (%)	低身長	やせ	肥満	その他
906	541	312	46	7
100.0	59.7	34.4	5.1	0.8



②＜皮膚＞

単位：件

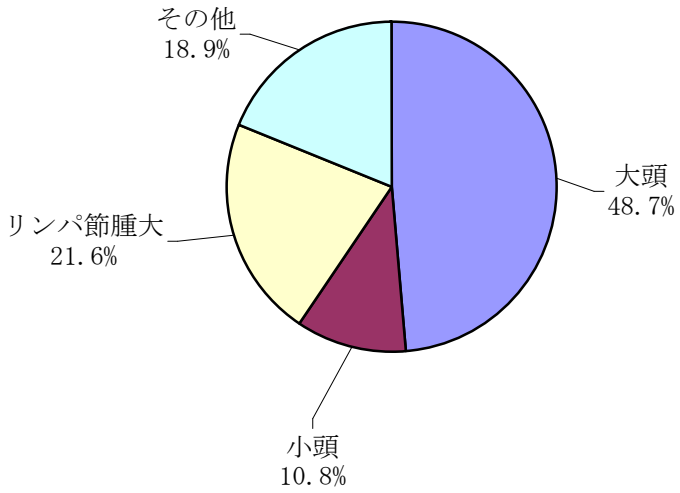
合計 (%)	湿疹	アトピー 性皮膚炎	皮膚炎	血管腫	母斑	伝染性 軟属腫	伝染性 膿痂疹	その他
386	116	105	19	9	22	50	8	57
100.0	30.0	27.2	4.9	2.3	5.7	13.0	2.1	14.8



③＜頭頚部＞

単位：件

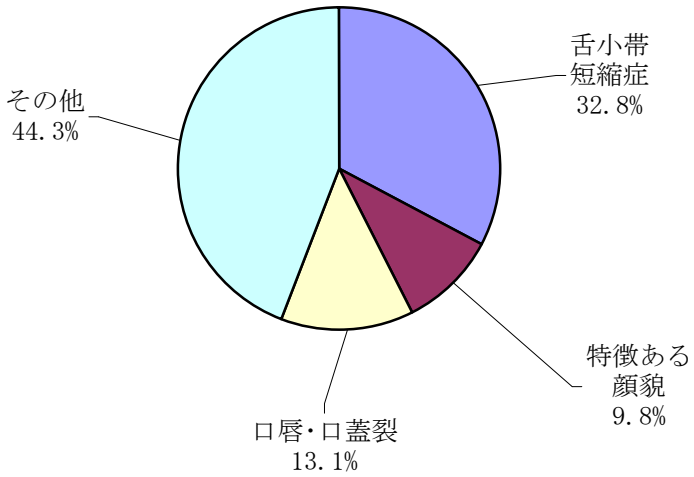
合計（%）	大頭	小頭	リンパ節腫大	その他
37	18	4	8	7
100.0	48.7	10.8	21.6	18.9



④＜顔面・口腔＞

単位：件

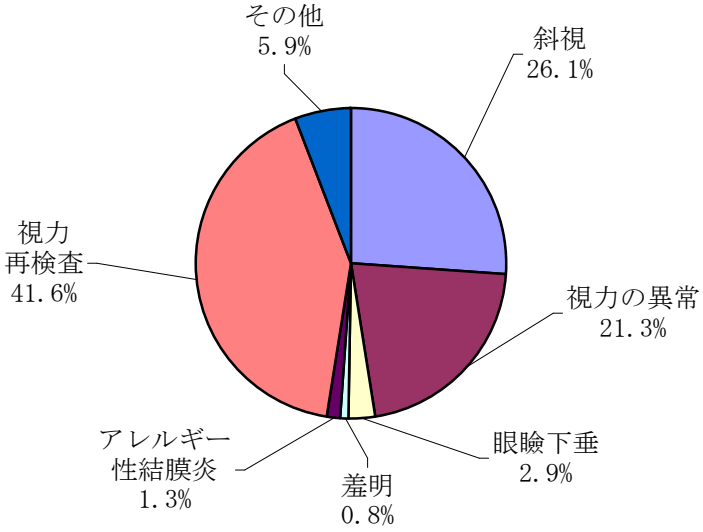
合計（%）	舌小帯短縮症	特徴ある顔貌	口唇･口蓋裂	その他
61	20	6	8	27
100.0	32.8	9.8	13.1	44.3



⑤＜眼＞

単位：件

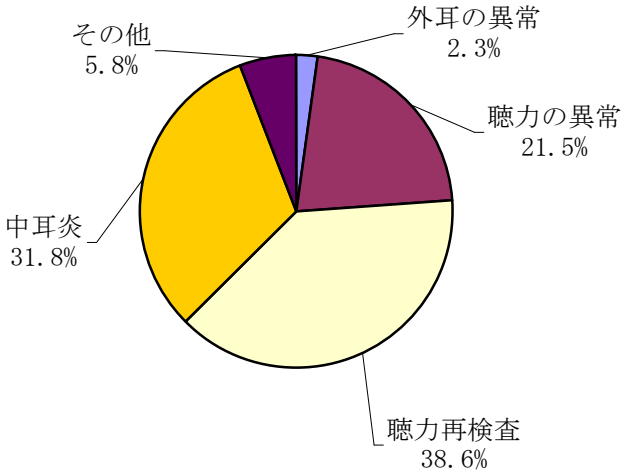
合計 (%)	斜視	視力の異常	眼瞼下垂	羞明	アレルギー 性結膜炎	視力 再検査	その他
375	98	80	11	3	5	156	22
100.0	26.1	21.3	2.9	0.8	1.3	41.6	5.9



⑥＜耳鼻咽喉＞

単位：件

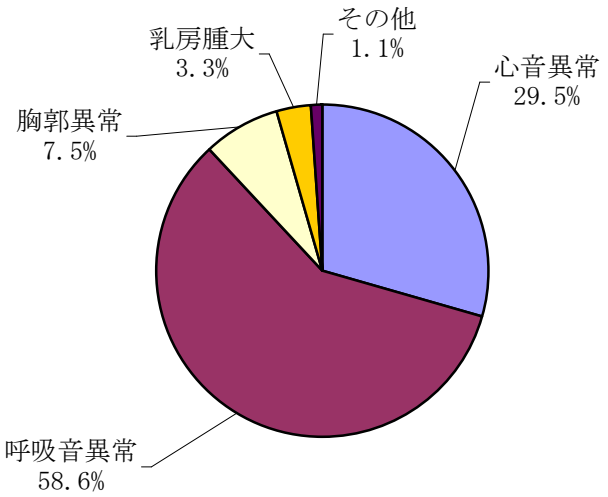
合計 (%)	外耳の異常	聴力の異常	聴力再検査	中耳炎	その他
311	7	67	120	99	18
100.0	2.3	21.5	38.6	31.8	5.8



⑦＜胸部＞

単位：件

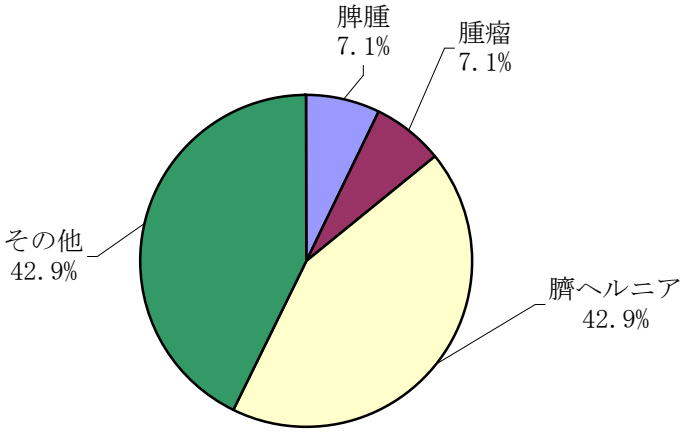
合計 (%)	心音異常	呼吸音異常	胸郭異常	乳房腫大	その他
268	79	157	20	9	3
100.0	29.5	58.6	7.5	3.3	1.1



⑧＜腹部＞

単位：件

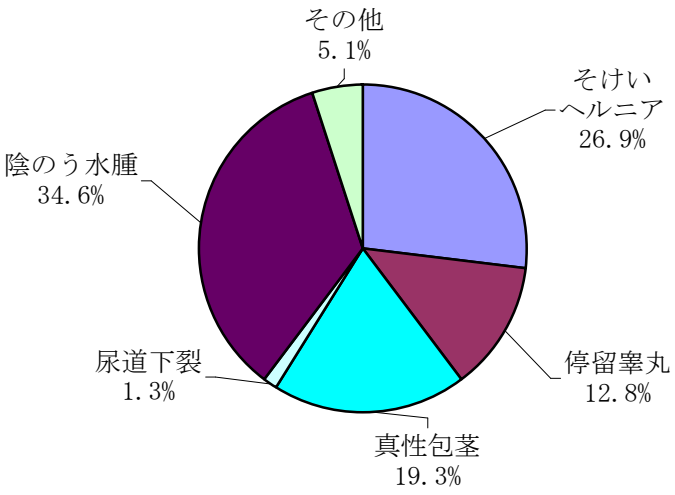
合計 (%)	脾腫	腫瘤	臍ヘルニア	その他
14	1	1	6	6
100.0	7.1	7.1	42.9	42.9



⑨＜そけい外陰部＞

単位：件

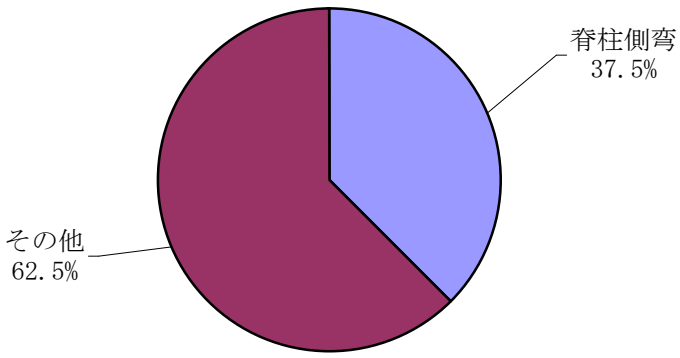
合計（%）	そけいヘルニア	停留睾丸	真性包茎	尿道下裂	陰のう水腫	その他
78	21	10	15	1	27	4
100.0	26.9	12.8	19.3	1.3	34.6	5.1



⑩＜背部＞

単位：件

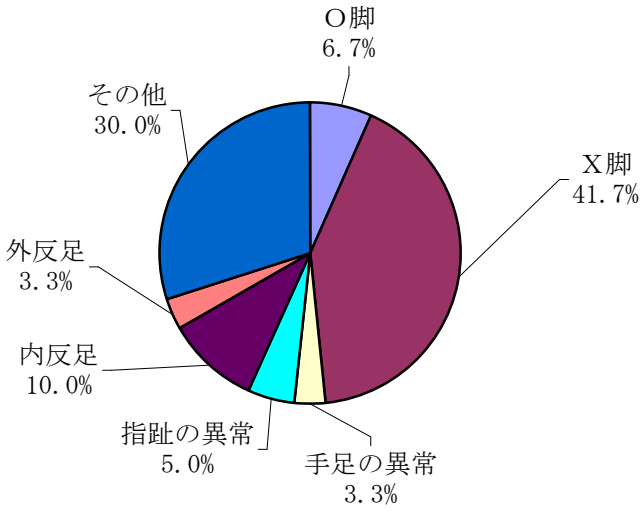
合計（%）	脊柱側弯	その他
8	3	5
100.0	37.5	62.5



⑪＜四肢＞

単位：件

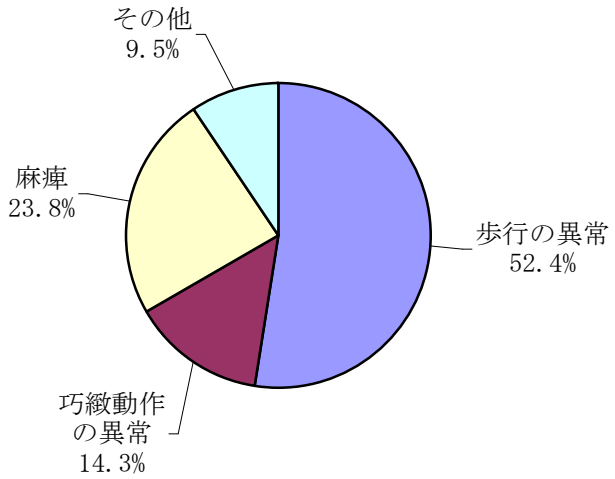
合計（%）	O脚	X脚	手足の異常	指趾の異常	内反足	外反足	その他
60	4	25	2	3	6	2	18
100.0	6.7	41.7	3.3	5.0	10.0	3.3	30.0



⑫＜神経・運動＞

単位：件

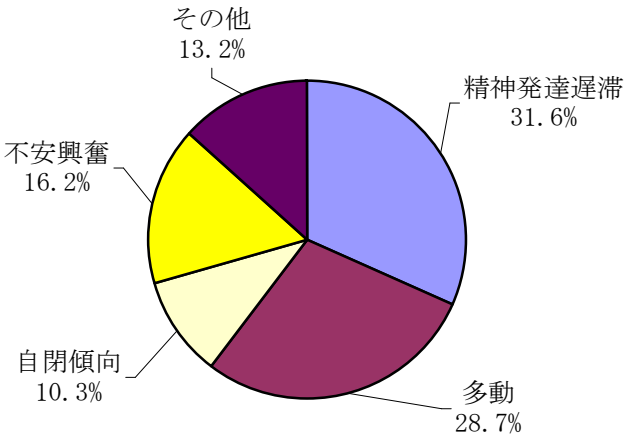
合計（%）	歩行の異常	巧緻動作の異常	麻痺	その他
21	11	3	5	2
100.0	52.4	14.3	23.8	9.5



⑬＜精神発達＞

単位：件

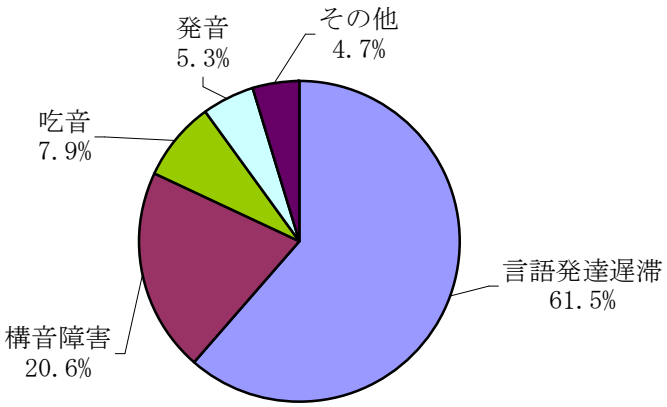
合計（%）	精神発達遅滞	多動	自閉傾向	不安興奮	その他
136	43	39	14	22	18
100.0	31.6	28.7	10.3	16.2	13.2



⑭＜言語＞

単位：件

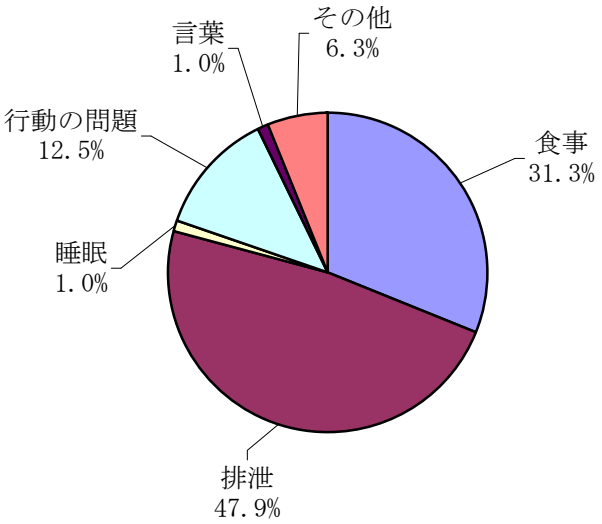
合計（%）	言語発達遅滞	構音障害	吃音	発音	その他
340	209	70	27	18	16
100.0	61.5	20.6	7.9	5.3	4.7



⑮＜日常習慣＞

単位：件

合計（%）	食事	排泄	睡眠	行動の問題	言葉	その他
96	30	46	1	12	1	6
100.0	31.3	47.9	1.0	12.5	1.0	6.3



１０　総合判定（ＩＣＤ-１０分類）

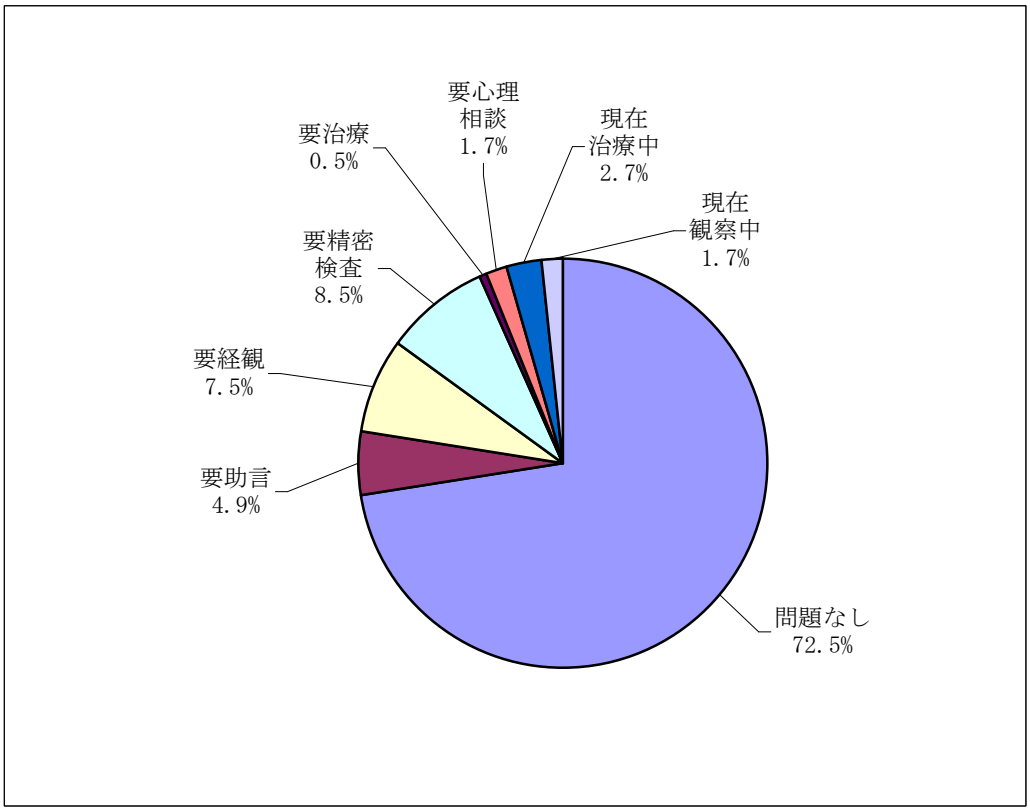
受診者総数１２，９１２人、うち問題なし児が９，７５４人、判定結果問題ありの児が３，１５８人となっている。

判定延べ件数は、問題なし９，７５４件と、何らかの問題ありの３，５１８件とで、１３，２７２件となっている。

延べ件数内訳は複数の記入がある場合、同項目内においては件数にカウントされていない。

項目内の複数記入のすべてを含め以下に分類した。

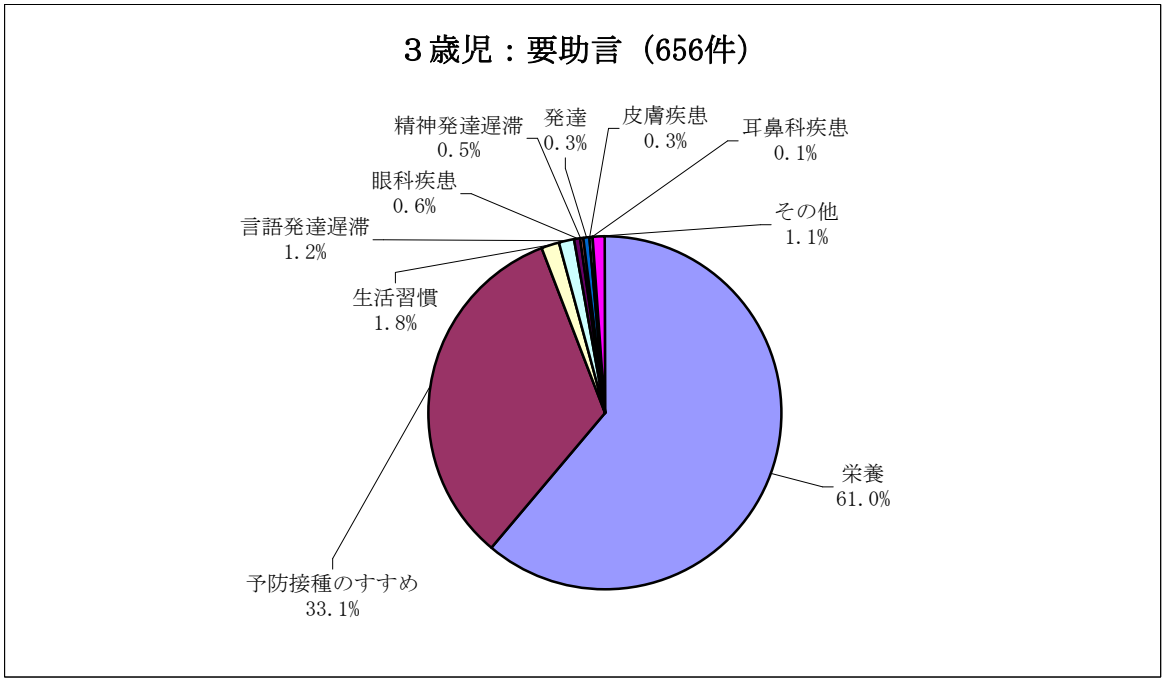
合　計			問題なし	判定結果 要助言	要経観	要精密検査	要治療	要心理相談	現在治療中	現在観察中	小計
受診者数		12,912	9,754	465	893	1,068	60	159	322	191	3,158
%		100.0	75.5	3.6	6.9	8.3	0.5	1.2	2.5	1.5	
判定	延べ件数	13,272	9,754	653	966	1,068	65	206	344	216	3,518
	再分類件数	13,454	9,754	656	1,015	1,139	65	223	369	233	3,700
	%	100.0	72.5	4.9	7.5	8.5	0.5	1.7	2.7	1.7	



（参照）統計資料 No. 42 ～ 43
（参照）年次資料 No. 22

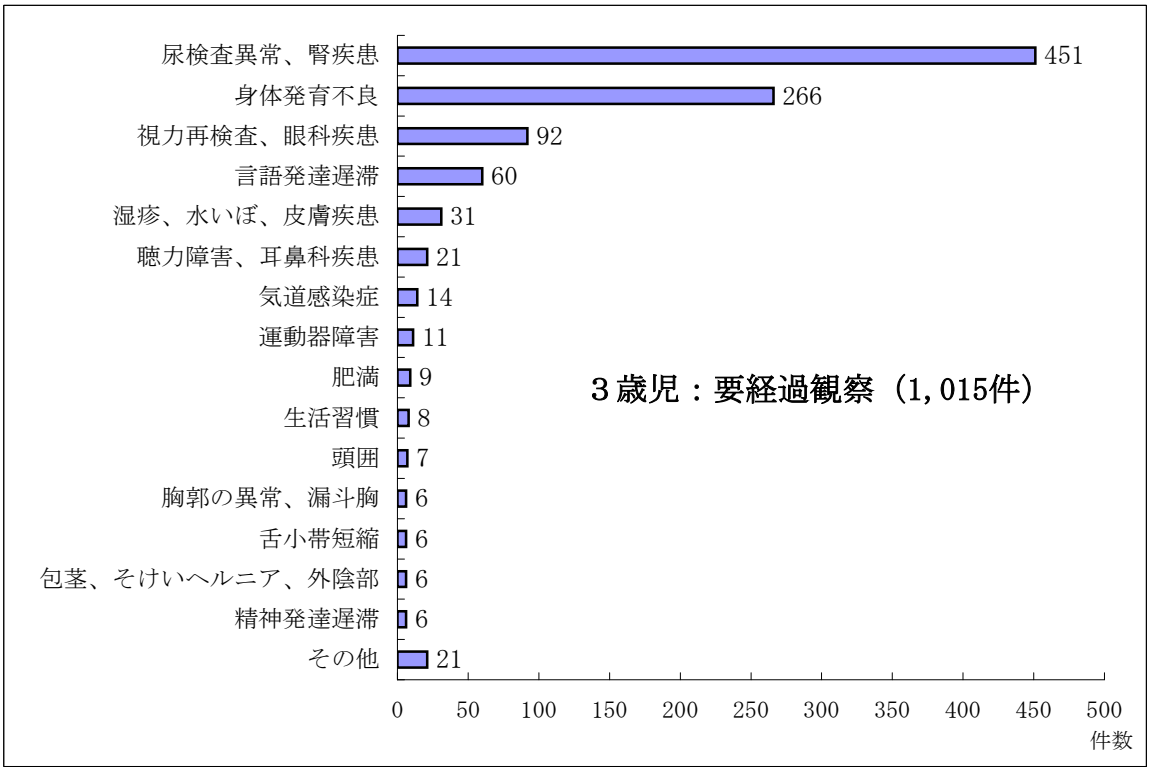
１０−１　要助言について

栄養が６１．０％（H17年度65.8%）、予防接種のすすめ３３．１％（H17年度21.6%）となっている。

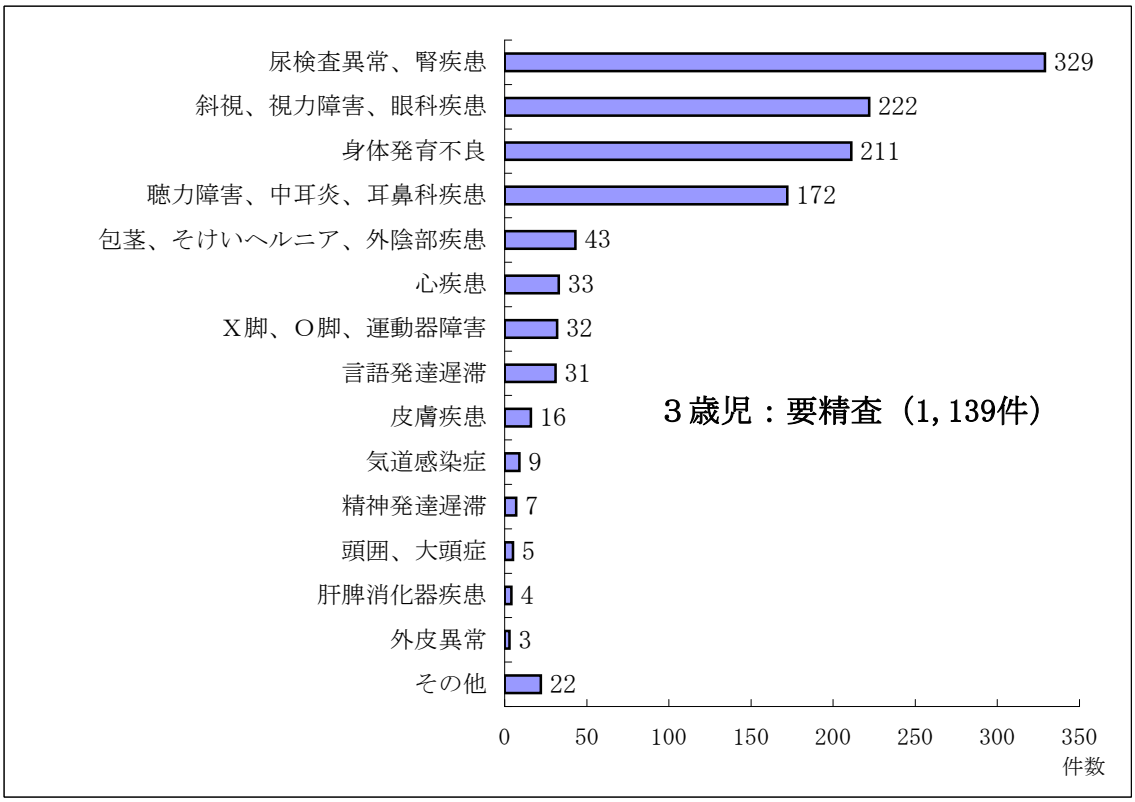


１０−２　要経過観察について

尿潜血と身体発育不良が目立つ。

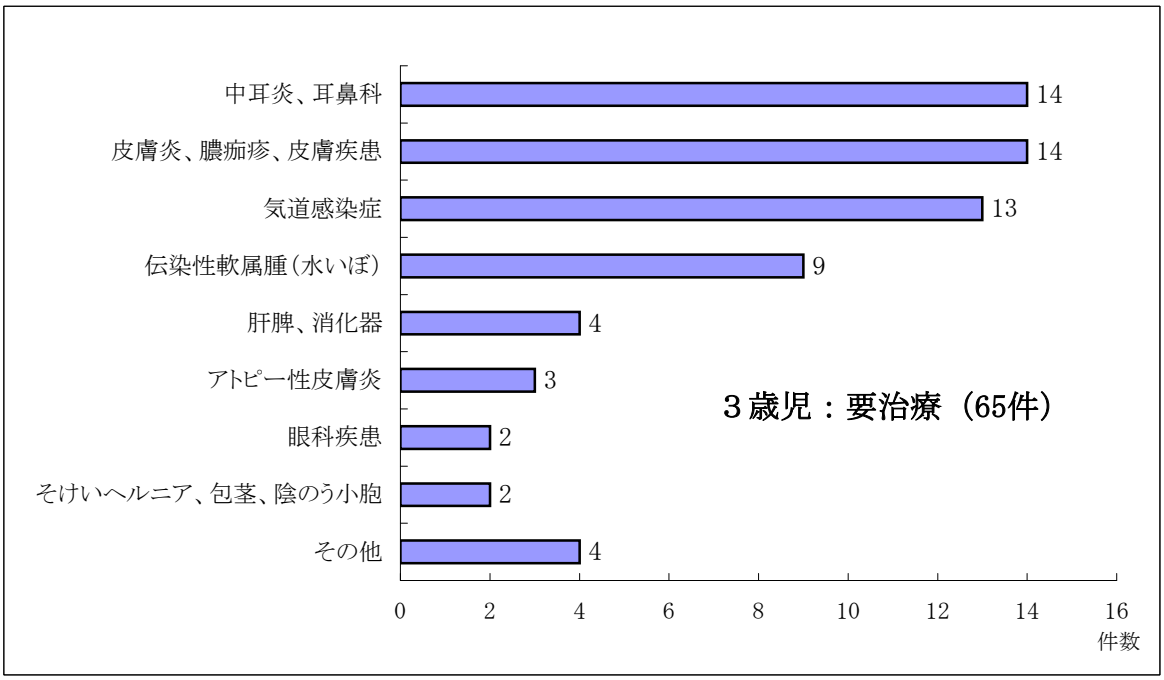


１０-３　要精密検査について



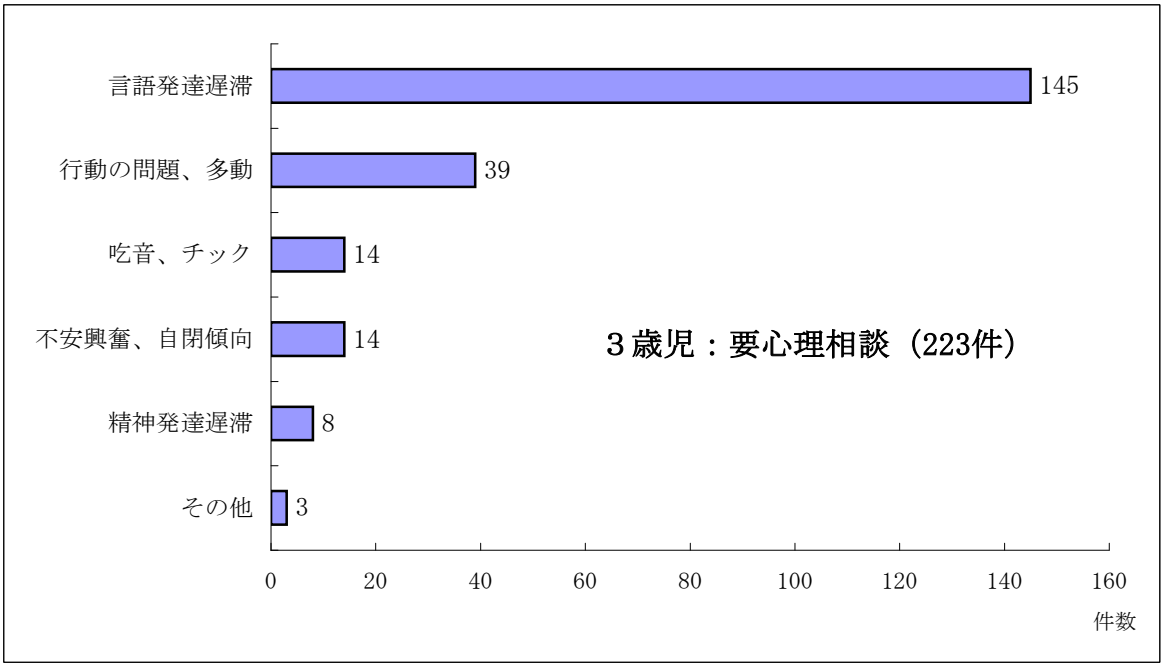
注）その他に含まれる判定内容は、統計資料 №. 44 を参照

１０-４　要治療について

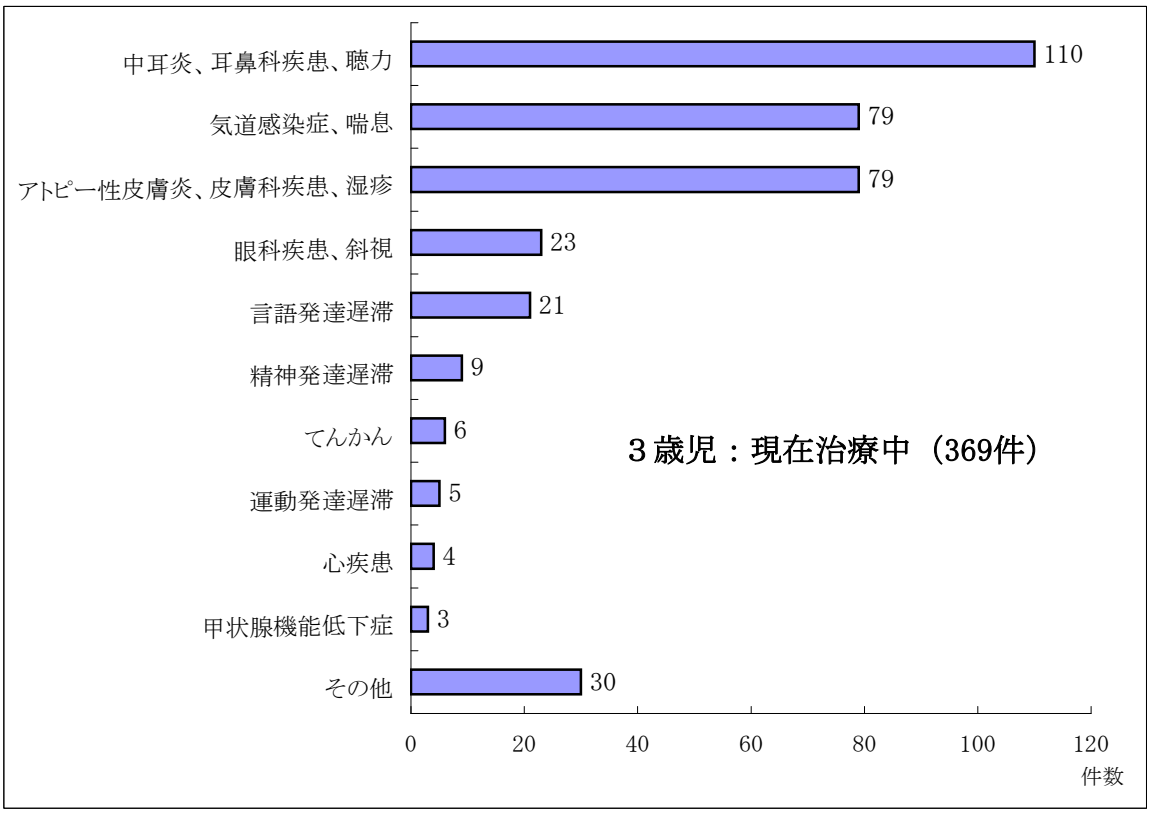


注）その他に含まれる判定内容は、統計資料 №. 44 を参照

１０-５　要心理相談について

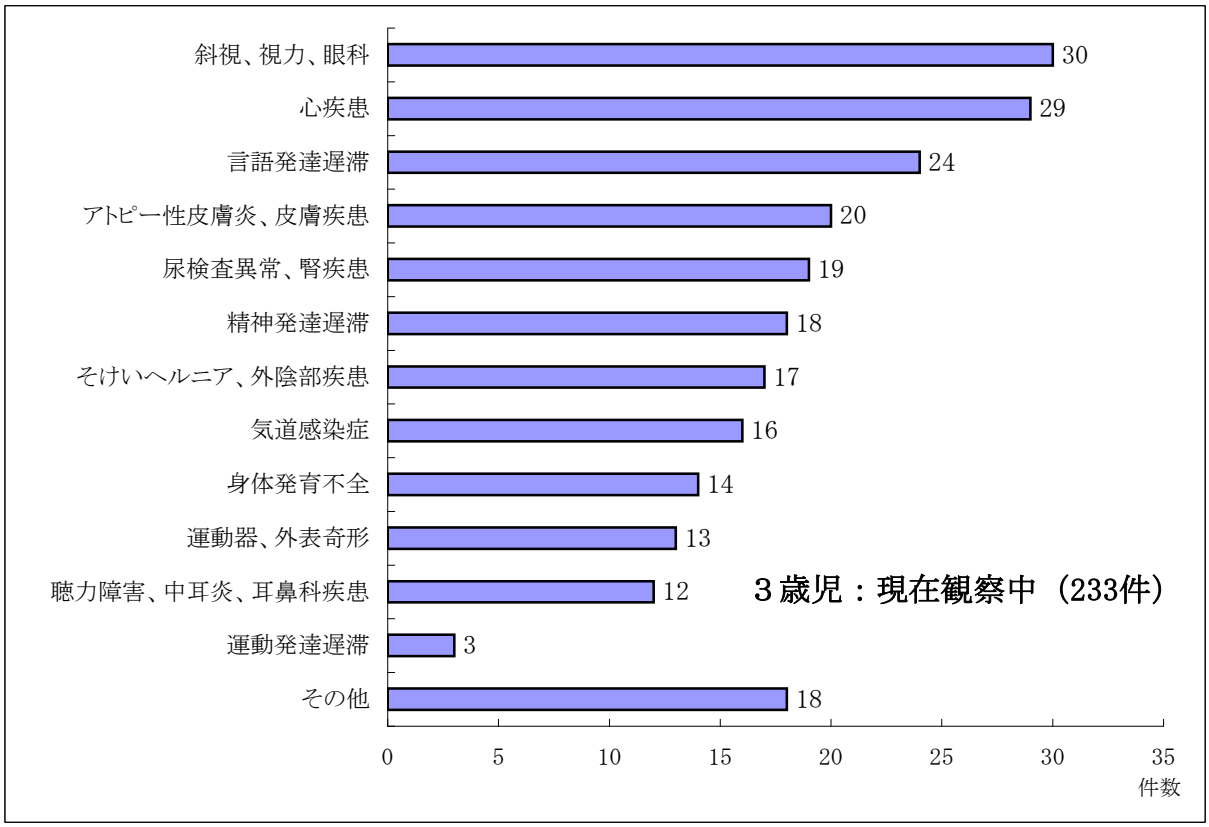


１０-６　現在治療中について



注）その他に含まれる判定内容は、統計資料 No. 44 を参照

１０-７　現在観察中について



注）その他に含まれる判定内容は、統計資料 №. 44 を参照

Ⅱ　歯科健診の部

受診状況

県内４１の全市町村において、平成１８年４月１日から平成１９年３月３１日までに歯科健診を受診した、１２，８６７人の口腔状況である。対象者数が１６，５８５人であることから、受診率は７７．６％（H17年度76.3%）であった。

受診月齢は、３歳６か月が最も多く２８．９％、ついで３歳７か月が１９．３％となっており、３歳５か月から７か月の受診が６２．７％を占めている。

（参照）統計資料 №. 46　年次資料 №. 23

３歳児健康診査月齢別受診状況（歯科）

単位：人

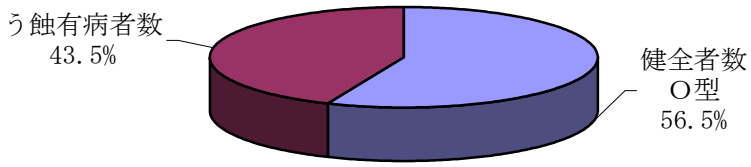
月齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総計
男	19	15	127	447	697	987	1,891	1,275	808	171	93	94	6,624
女	25	21	113	463	658	885	1,823	1,209	695	154	109	88	6,243
総計	44	36	240	910	1,355	1,872	3,714	2,484	1,503	325	202	182	12,867
%	0.3	0.3	1.9	7.1	10.5	14.5	28.9	19.3	11.7	2.5	1.6	1.4	100.0

１　う蝕有病者率とう蝕の型別分類

受診者の状況

単位：人

受診者数（%）	健全者数 O型	う蝕有病者数
12,867	7,266	5,601
100.0	56.5	43.5

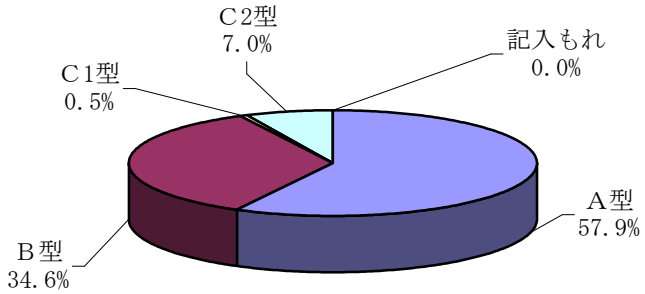


３歳児のう蝕有病者率は４３．５％と平成１７年度より２．０ポイント減少している。全国の状況は平成１７年度で２８．０％となっている。

う蝕有病者の型別分類

単位：人

う触有病者数（%）	A型	B型	C1型	C2型	記入もれ
5,601	3,241	1,937	29	392	2
100.0	57.9	34.6	0.5	7.0	0.0



型別分類での構成比は、平成１７年度に比べ、C型７．５％（C1およびC2型）が増加している（H17年度6.3%）。

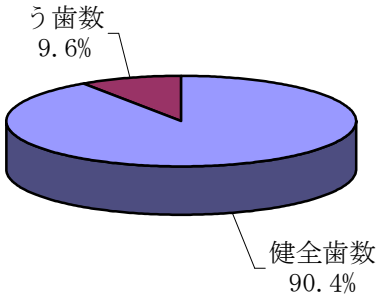
全国の状況（H17年度）は、A型が６１．９％と多く、B型３０．８％、C型７．１％であり、平成１６年度と同様の割合である。

（参照）統計資料 No. 46　年次資料 No. 24

２　う蝕有病歯率

単位：本

現在歯数（%）	健全歯数	う歯数
256,427	231,881	24,546
100.0	90.4	9.6



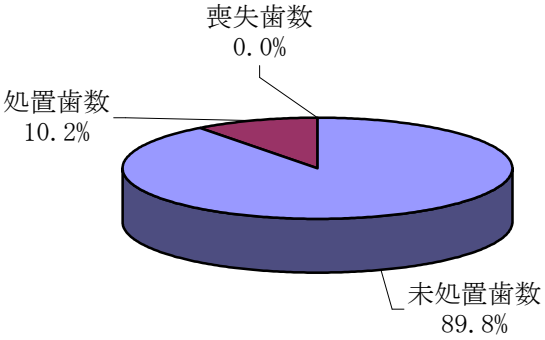
３歳児の口の中に萌出している歯のなかで、むし歯になっている歯の割合が９．６％（H17年度9.8%）と０．２ポイント減少した。

２０本の乳歯のうち、１人平均むし歯の数は、１．９本（H17年度2.0本）となっており、毎年少しずつ減少してきている。しかし、全国の平成１７年度におけるむし歯の平均数は１．１４本と、比較すると０．７６本のひらきがある。

う歯の内訳

単位：本

う歯数（%）	未処置歯数	処置歯数	喪失歯数
24,546	22,031	2,511	4
100.0	89.8	10.2	0.0



３歳児のむし歯のうち、処置済なのは１０．２％で、平成１７年度より０．７ポイント減少している。

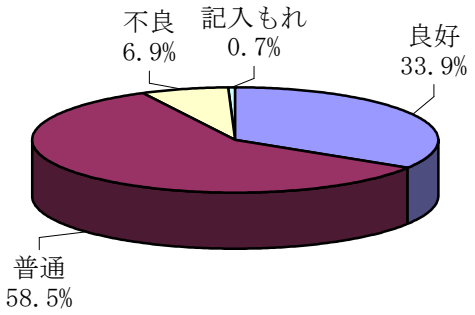
（参照）統計資料 №. 46

三歳児歯科

３　歯口清掃状態

単位：人

受診者数（%）	良好	普通	不良	記入もれ
12,867	4,366	7,525	890	86
100.0	33.9	58.5	6.9	0.7



歯口清掃状況は良好と普通で９２．４％となっている。

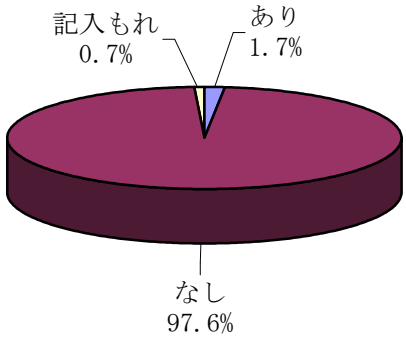
むし歯のない児は、約半数（48.9%）が良好である。

（参照）統計資料 №. 47

４　軟組織の疾患

単位：人

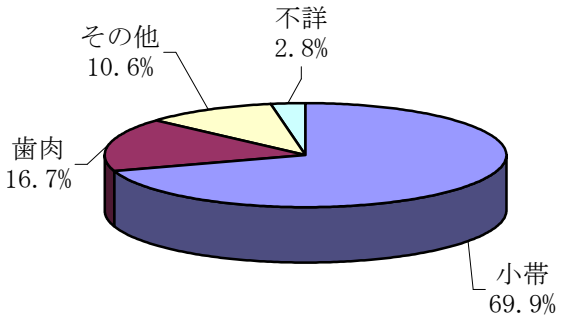
受診者数 (%)	あり	なし	記入もれ
12,867	216	12,558	93
100.0	1.7	97.6	0.7



軟組織の疾患分類

単位：人

計 (%)	小帯	歯肉	その他	不詳
216	151	36	23	6
100.0	69.9	16.7	10.6	2.8



軟組織の疾患は１．７％である（H17年度1.5%）。

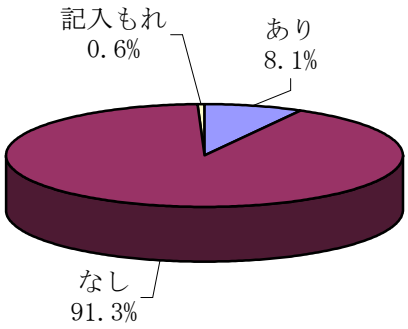
それを分類すると、舌小帯や上唇小帯の付着異常等が約７割を占めている。

（参照）統計資料 №. 47

5　不正咬合

単位：人

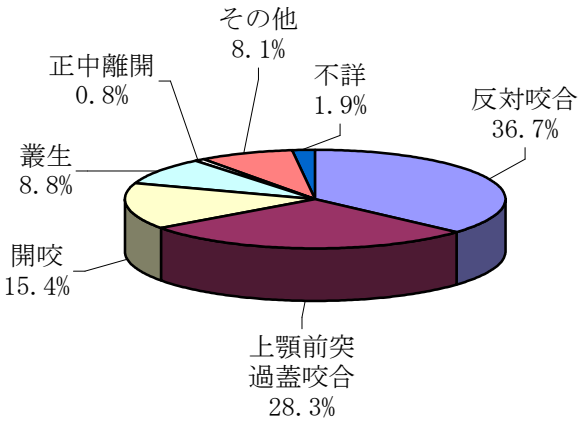
受診総数（%）	あり	なし	記入もれ
12,867	1,044	11,742	81
100.0	8.1	91.3	0.6



不正咬合の内訳

単位：人

計（%）	反対咬合	上顎前突過蓋咬合	開咬	叢生	正中離開	その他	不詳
1,044	383	295	161	92	8	85	20
100.0	36.7	28.3	15.4	8.8	0.8	8.1	1.9



不正咬合は、「あり」は８．１％である（H17年度7.7%）。

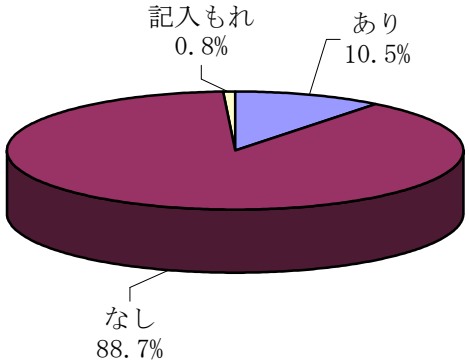
不正咬合の内訳の構成比は、平成１７年度と同じ傾向を示している。

（参照）統計資料 №. 47

6　口腔習癖

単位：人

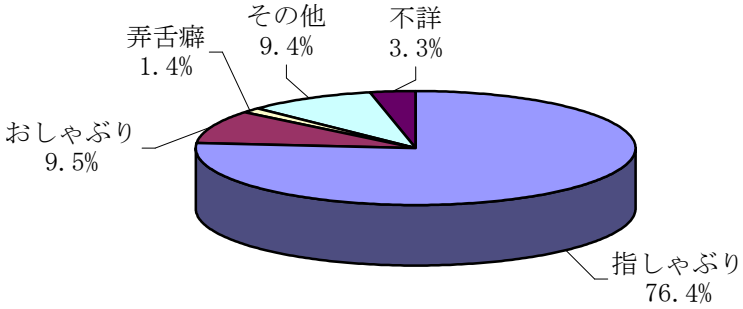
受診者数 (%)	あり	なし	記入もれ
12,867	1,351	11,416	100
100.0	10.5	88.7	0.8



習癖の内訳

単位：人

計 (%)	指しゃぶり	おしゃぶり	弄舌癖	その他	不詳
1,351	1,032	129	19	127	44
100.0	76.4	9.5	1.4	9.4	3.3



口腔習癖ありの割合は１０．５％（H17年度10.9%）と平成１７年度と同様である。

内訳として、おしゃぶりが減少し、指しゃぶりが増加している。

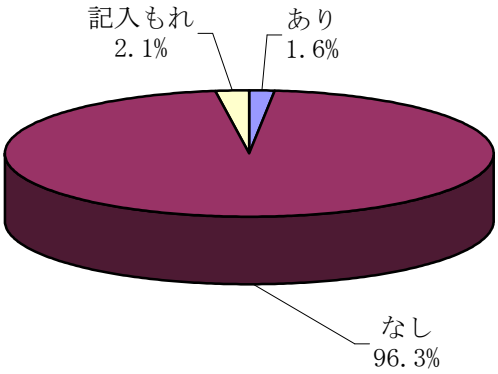
（参照）統計資料 №. 47

三歳児歯科

7　その他の異常

単位：人

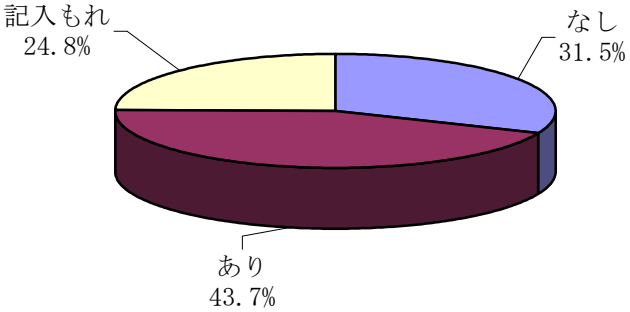
受診者数 (%)	あり	なし	記入もれ
12,867	201	12,390	276
100.0	1.6	96.3	2.1



8　母親のむし歯や抜いた歯について

単位：人

計 (%)	なし	あり	記入もれ
12,867	4,056	5,624	3,187
100.0	31.5	43.7	24.8



母と子のよい歯のコンクールの該当者をチェックするために、母親のむし歯の有無を問診項目として設けてある。

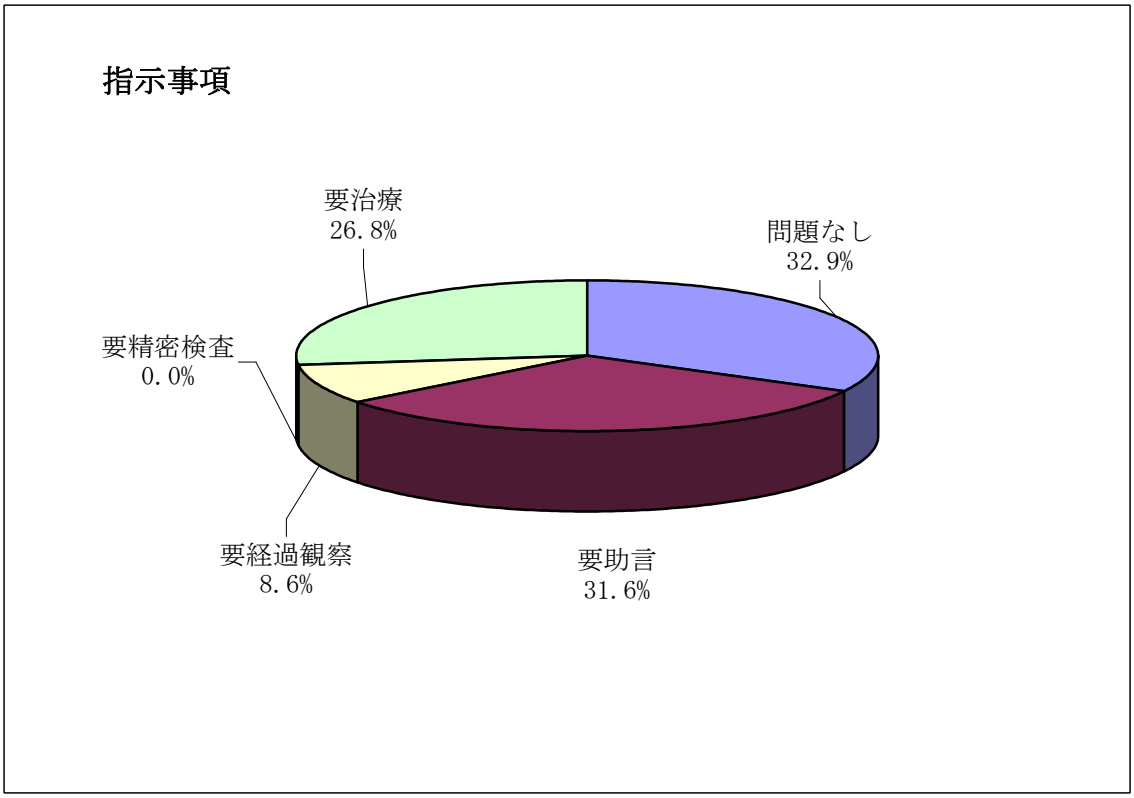
母親の半数近くがむし歯・抜いた歯をもっている。

（参照）統計資料 №. 47～48

９　指示事項

単位：人

受診者数（%）	問題なし	要助言	要経過観察	要精密検査	要治療
12,867	4,233	4,069	1,109	3	3,453
100.0	32.9	31.6	8.6	0.0	26.8



指示事項の内訳

１　問題なしは３２．９％（H17年度30.4%）で、年々増加している。

健全者数（むし歯なし＝Ｏ型）が７，２６６人の内、問題なし３，８０２人、残り３，４６４人は、むし歯はないが咬合その他の問題があると思われる。

２　要助言が全体の１／３であるが、その中で歯みがき指導関連が８２．７％を占める。

３　要経過観察では不正咬合、指しゃぶり、サホライド塗布などがあげられる。

４　要精密検査は３例で、舌小帯短縮が２例、顎関節症が１例となっている。

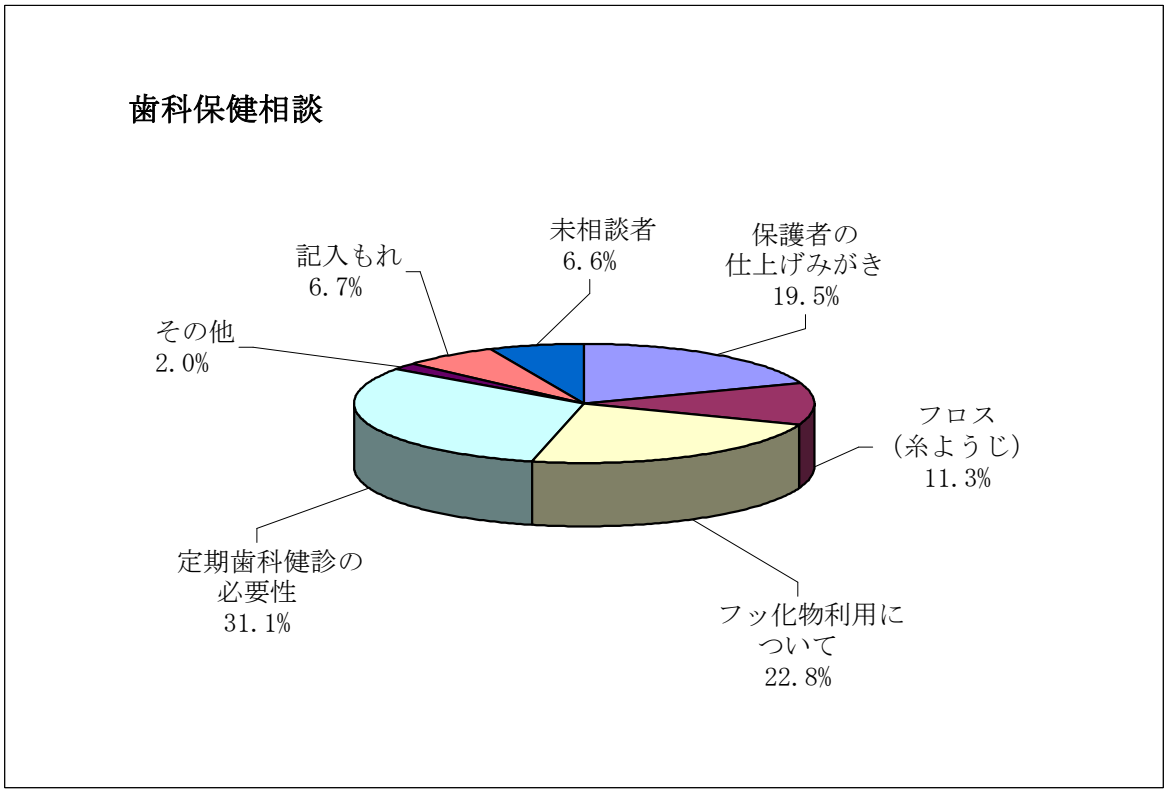
５　要治療の大部分は、むし歯の治療である。

（参照）統計資料 No. 48

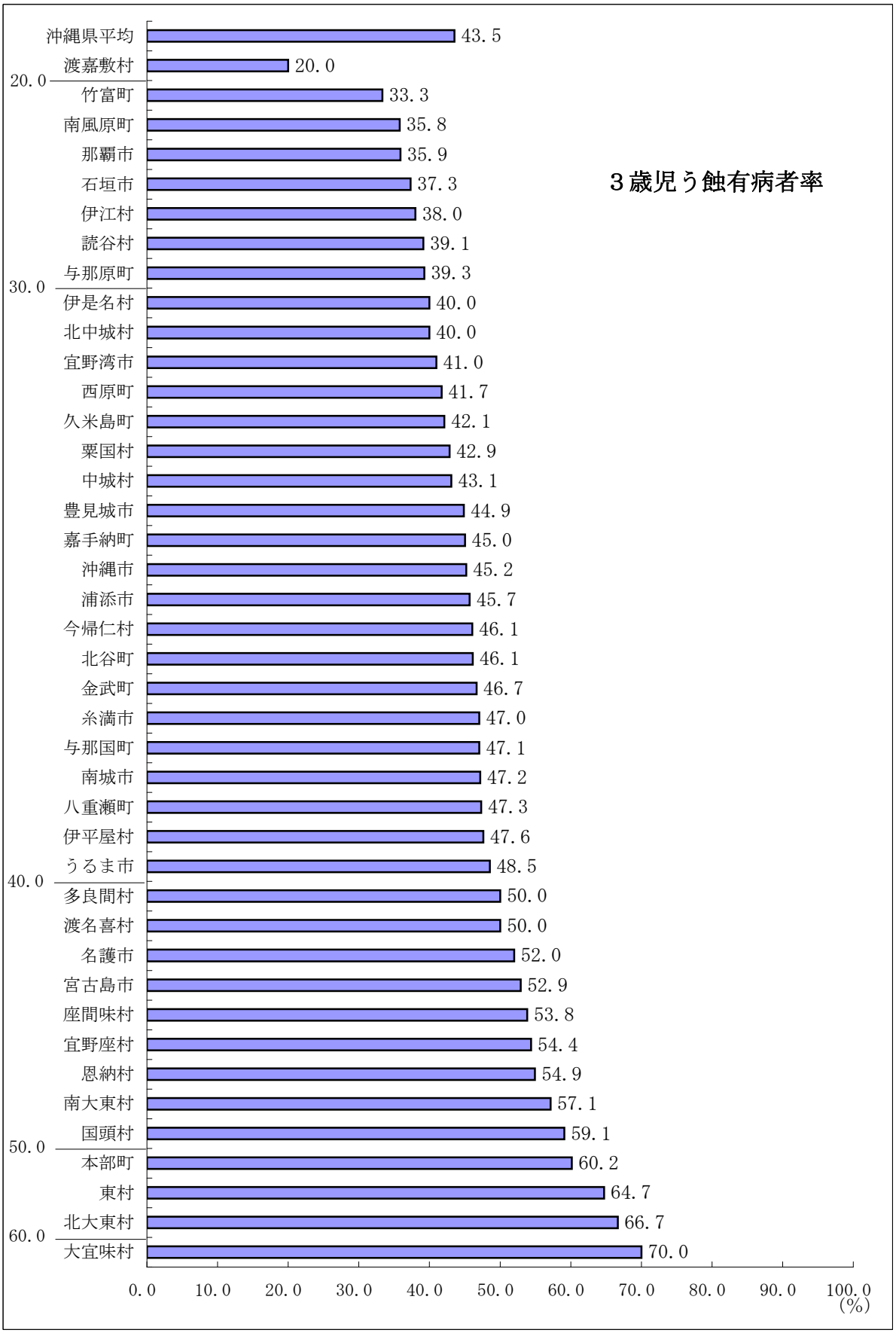
１０　歯科保健相談

相談項目を分類したものである。複数回答の場合は、相談項目の４、３、２、１、５の順で優先し、１人１項目選択とした。

項目	件数	%
保護者の仕上げみがき	2,502	19.5
フロス（糸ようじ）	1,458	11.3
フッ化物利用について	2,931	22.8
定期歯科健診の必要性	3,996	31.1
その他	258	2.0
記入もれ	868	6.7
未相談者	854	6.6
総計	12,867	100.0

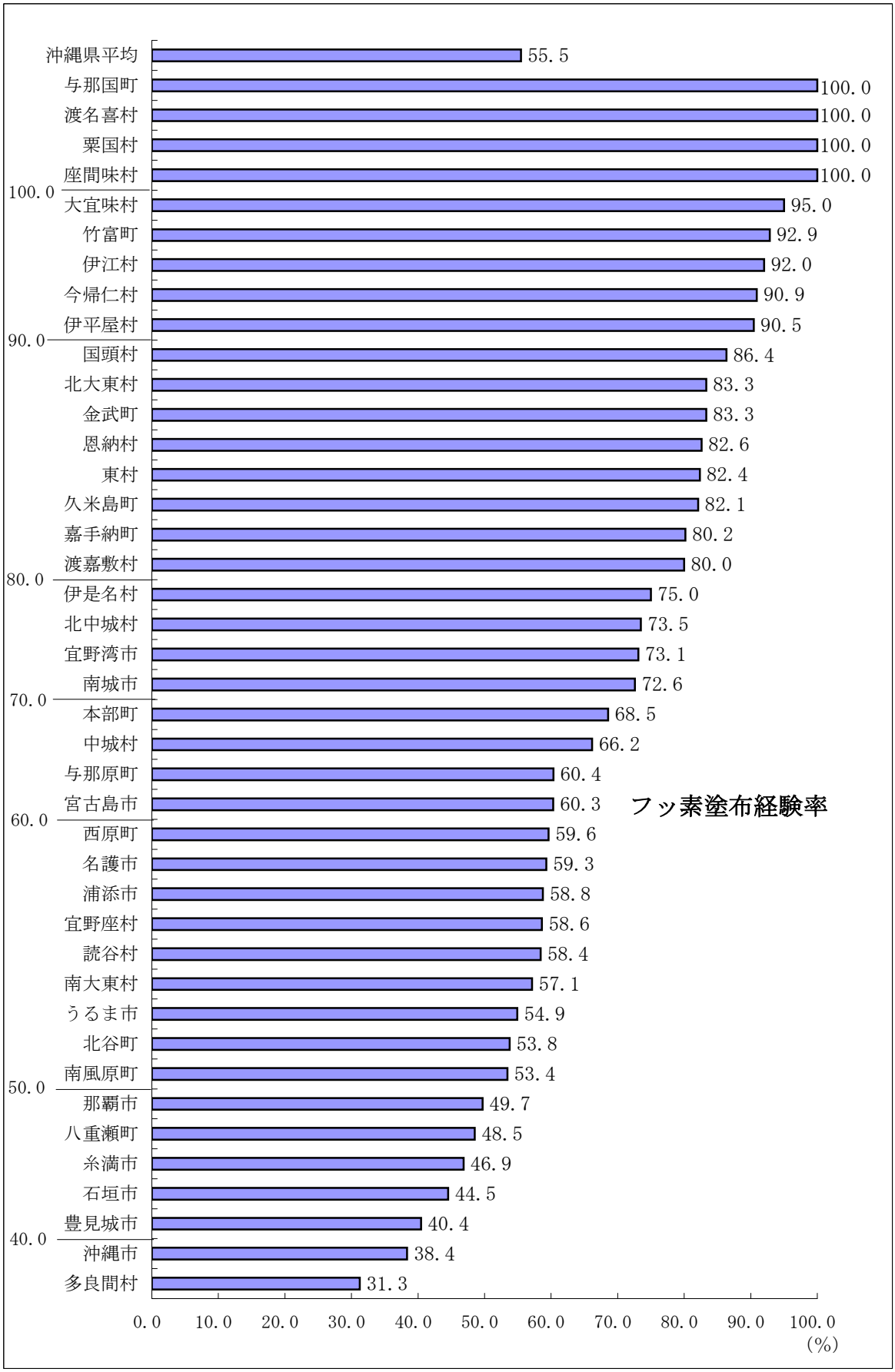


１１　３歳児う蝕有病者率



（参照）統計資料 No. 46
（参照）年次資料 No. 24

１２　フッ素塗布経験率



（参照）統計資料 No. 49　年次資料 No. 36

１３　生活習慣とむし歯

13-１　おやつの時間とむし歯の関係

おやつの時間を決めている児では、むし歯がない割合が高い。

単位：人

おやつの時間（記入もれ除く）	計	むし歯	
		あり	なし
決めている	7,942	3,060	4,882
	%	38.5	61.5
決めていない	4,376	2,285	2,091
	%	52.2	47.8
計	12,318	5,345	6,973

(P<0.001)

13-２　よく飲む飲み物とむし歯の関係

甘い飲み物を多く取る児では、むし歯がある割合が高い。

単位：人

よく飲む飲み物（記入もれ除く）	計	むし歯	
		あり	なし
甘い飲み物（ジュース、ｽﾎﾟｰﾂﾄﾞﾘﾝｸ等）	5,021	2,556	2,465
	%	50.9	49.1
甘くない飲み物（牛乳、お茶類等）	14,348	5,809	8,539
	%	40.5	59.5
計	19,369	8,365	11,004

※複数回答の集計

(P<0.001)

13-３　仕上げ磨きとむし歯の関係

仕上げ磨きをしている児は、むし歯がない割合が高い。

単位：人

仕上げ磨き（記入もれ除く）	計	むし歯	
		あり	なし
あり	11,465	4,741	6,724
	%	41.4	58.6
なし	1,203	731	472
	%	60.8	39.2
計	12,668	5,472	7,196

(P<0.001)

(付録)　　う蝕（むし歯）についての主な用語

1　う蝕の主な数値

(1) う蝕有病者率（%）＝ $\frac{\text{未処置歯・処置歯・喪失歯のいずれかを１歯以上もつ者の数}}{\text{被検者数}} \times 100$

(2) う蝕有病歯率（%）＝ $\frac{\text{未処置歯・処置歯・喪失歯の合計}}{\text{被検歯数}} \times 100$

(3) 一人平均萌出歯数（本）＝ $\frac{\text{被検者全員の健全歯・未処置歯・処置歯・喪失歯の合計}}{\text{被検者数}}$

(4) 一人平均う歯数（本）＝ $\frac{\text{被検者全員の未処置歯・処置歯・喪失歯の合計}}{\text{被検者数}}$

2　Ａ・Ｂ・Ｃ型別分類

(1) ３歳児健康診査

		判定区分	現症および予後の推測
O　型		う蝕がない	
A　型		上顎前歯部のみ、または臼歯部のみにう蝕がある	う蝕罹患型からみると、比較的程度の軽いものである。
B　型		臼歯部および上顎前歯部にう蝕がある	上下左右の臼歯部すべてにう蝕がある場合は、う蝕感受性がかなり高く将来C2型に移行する可能性が強い
C　型	C_1 型	下顎前歯部のみにう蝕がある	
	C_2 型	下顎前歯部を含む他の部位にう蝕がある	う蝕感受性はきわめて高い

(2) １歳６か月児健康診査

		判定区分	予後の推測
型	O_1 型	う蝕もなく、かつ口腔環境がよい（危険因子が少ない）	う蝕感受性は低いものと思われる
	O_2 型	う蝕はないが、口腔環境が悪い（危険因子が多い）	近い将来、う蝕発生の可能性が強いと思われる
A　型		上顎前歯部のみ、または臼歯部のみにう蝕がある	う蝕感受性は低い
B　型		臼歯部および上顎前歯部にう蝕がある	う蝕感受性は高く、広範性う蝕になる可能性もある
C　型		臼歯部および前歯部すべてにう蝕がある（下顎前歯部のみにう蝕を認める場合も含む）	う蝕感受性は著しく高く、広範性う蝕になる可能性が強い

＊O_1、O_2型の判定は、危険因子が多い場合をO_2　とする